

Ⅱ. 小学校児童家庭の調査結果

Ⅱ－１. 調査の概要

１. 調査の目的

小学校児童の保護者に対してアンケートを行うことにより、児童の生活実態や保護者の要望などを把握し、次期（平成 32 年度～平成 36 年度）「練馬区子ども・子育て支援事業計画」の策定の基礎資料とする。

２. 調査内容

- (1) 家族の状況について
- (2) 子育ての環境について
- (3) 保護者の就労状況について
- (4) 放課後の過ごし方について
- (5) 病気の際の対応について
- (6) 不定期に利用したり、宿泊を伴って利用する事業について
- (7) 安全、防犯対策について
- (8) 家庭での生活について
- (9) 食事・健康について
- (10) 地域との交流について
- (11) 子育て全般について

３. 調査設計

- (1) 調査地域
区全域
- (2) 調査対象
区内に居住する小学生児童の保護者
- (3) 標本数
3,000 件
- (4) 抽出方法
住民基本台帳登録者のうち、平成 30 年 10 月 1 日現在、6～12 歳の子どもを持つ保護者を無作為抽出(集計は学年(1～6年)で行う。)
- (5) 調査方法
郵送配付・郵送回収
- (6) 調査期間
平成 30 年 11 月 1 日～平成 30 年 11 月 15 日

4. 回収状況

1,780件 有効回答率 59.3%

5. 地区区分

調査結果の「居住地区」は、総合福祉事務所管轄で区分している。

地区	町名
練馬	旭丘、向山、小竹町、栄町、桜台、豊玉上、豊玉北、豊玉中、豊玉南、中村、中村北、中村南、貫井、練馬、羽沢
光が丘	春日町、高松、田柄、光が丘、旭町、土支田、錦、冰川台、平和台、早宮、北町
石神井	富士見台、谷原、高野台、南田中、下石神井、石神井町、三原台、上石神井、上石神井南町、石神井台、関町東、関町北、関町南、立野町
大泉	大泉学園町、大泉町、西大泉、西大泉町、東大泉、南大泉

6. 集計・分析にあたって

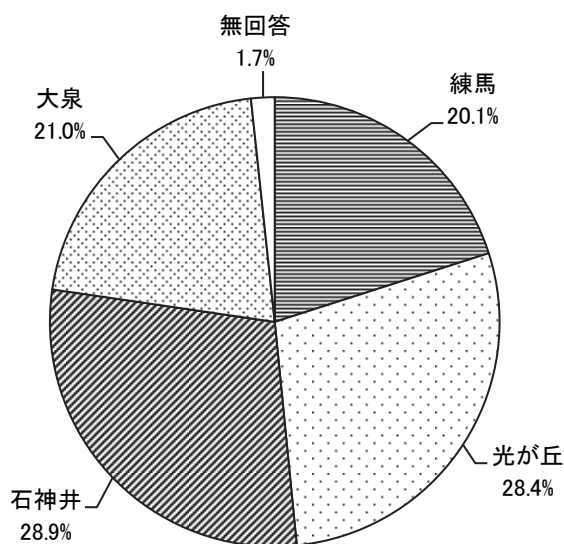
- ・回答は各質問の回答者数(n)を基数とした百分率(%)で示している。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合がある。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合がある。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計(全体)の有効回答数が合致しないことがある。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法である。
- ・調査結果を図表にて表示しているが、グラフ以外の表は、最も多い割合のものを■で網かけをしている(無回答を除く)。
- ・クロス分析において、回答者数の少ない属性についてのコメントは控えている場合がある。

Ⅱ－２． 調査結果の詳細

１． 家族の状況について

問１ あて名のお子さんがお住まいの町名をお答えください。(1つに○)

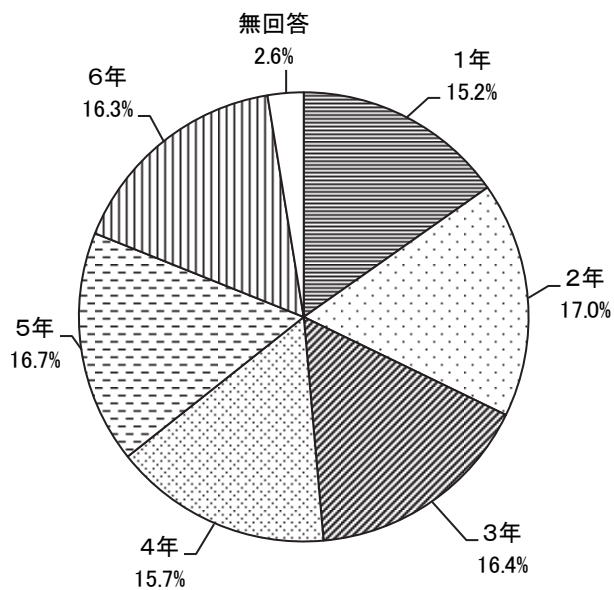
「石神井」(28.9%)が最も多く、「光が丘」(28.4%)、「大泉」(21.0%)、「練馬」(20.1%)と続く。



(n=1,780)

問２ あて名のお子さんの生年月を、() 内に数字でご記入ください。

「2年」(17.0%)が最も多く、「5年」(16.7%)、「3年」(16.4%)、「6年」(16.3%)、「4年」(15.7%)、「1年」(15.2%)と続く。

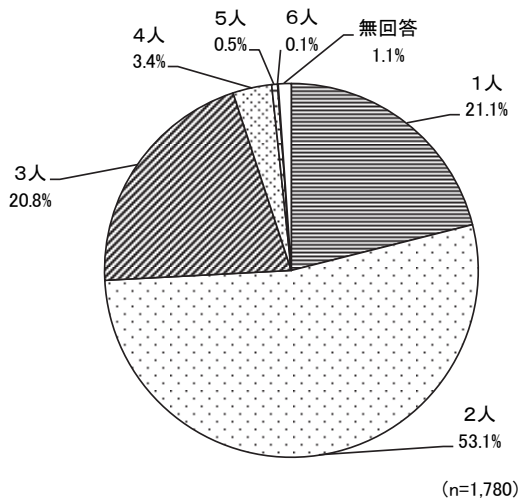


(n=1,780)

問3 あて名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。あて名のお子さんを含めた人数を（ ）内に数字でご記入ください。2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。

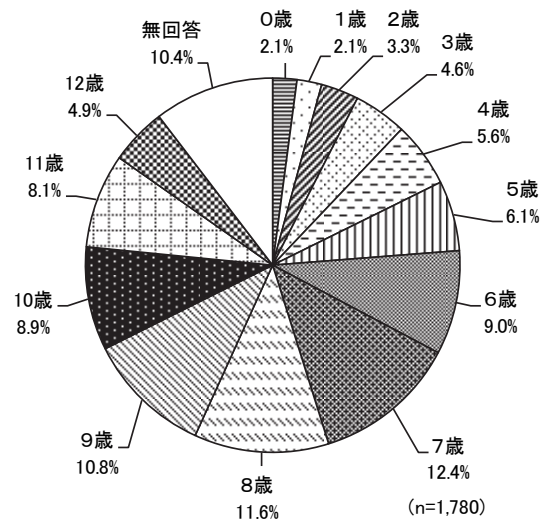
①きょうだい数

「2人」(53.1%)が最も多く、「1人」(21.1%)、「3人」(20.8%)と続く。平均は2.1人となっている。



②末子の年齢

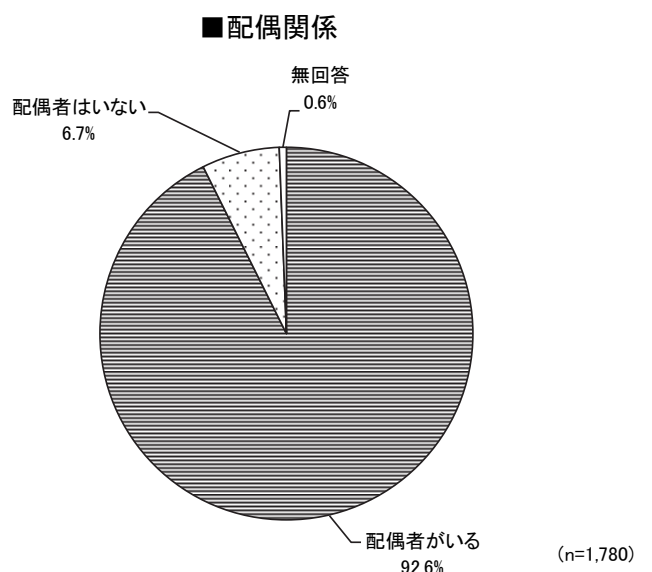
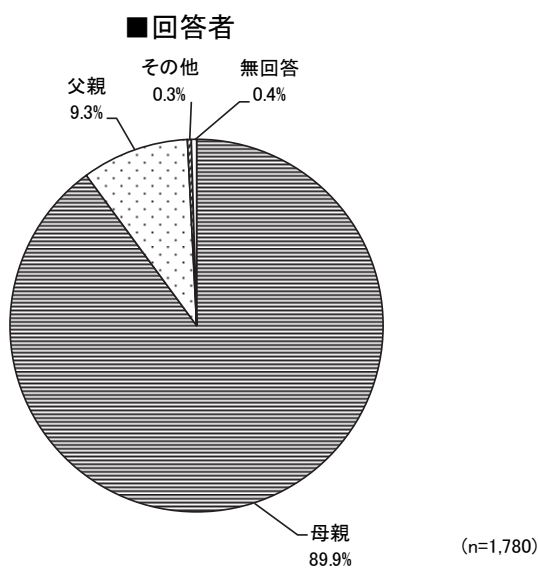
「7歳」(12.4%)が最も多く、「8歳」(11.6%)、「9歳」(10.8%)と続く。



問4 この調査票のご回答者はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。(1つに○)

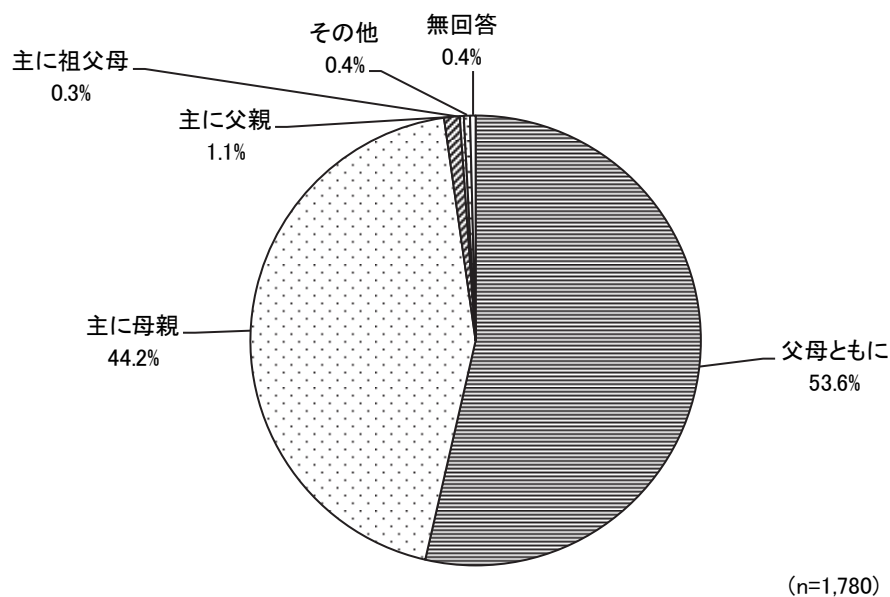
問5 この調査票のご回答者の配偶関係についてお答えください。(1つに○)

回答者は、「母親」(89.9%)、「父親」(9.3%)となっている。配偶関係は、「配偶者がいる」(92.6%)、「配偶者がいない」(6.7%)となっている。



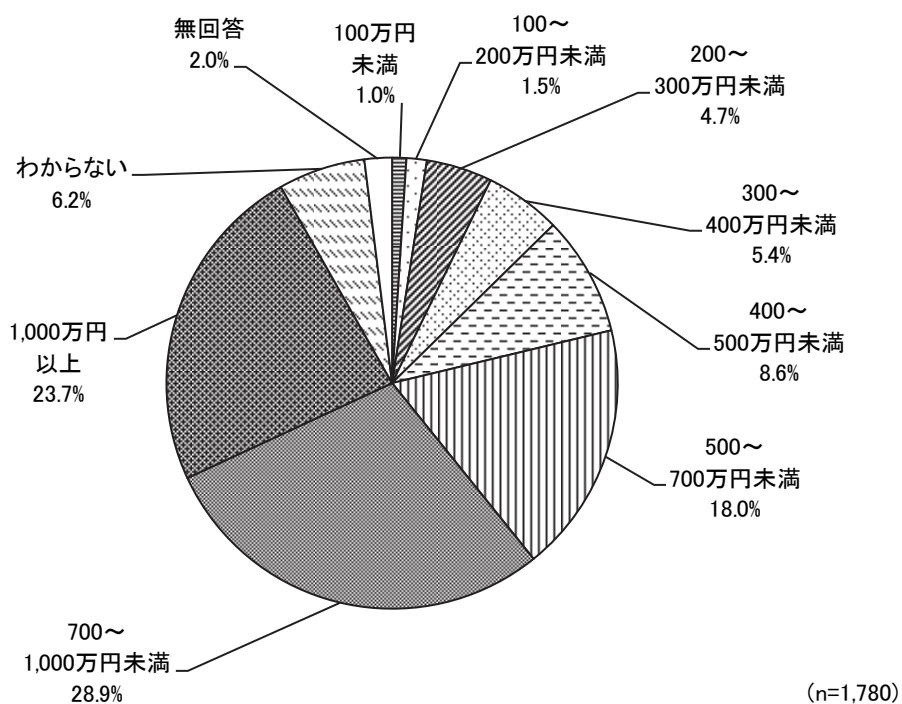
問6 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。
あて名のお子さんからみた関係でお答えください。（1つに○）

「父母ともに」（53.6%）が最も多く、「主に母親」（44.2%）、「主に父親」（1.1%）と続く。



問7 あて名のお子さんの世帯全体の昨年度の年収（税込み）は、仕事による収入と仕事外の収入を合わせて、おおよそどのくらいですか。（1つに○）

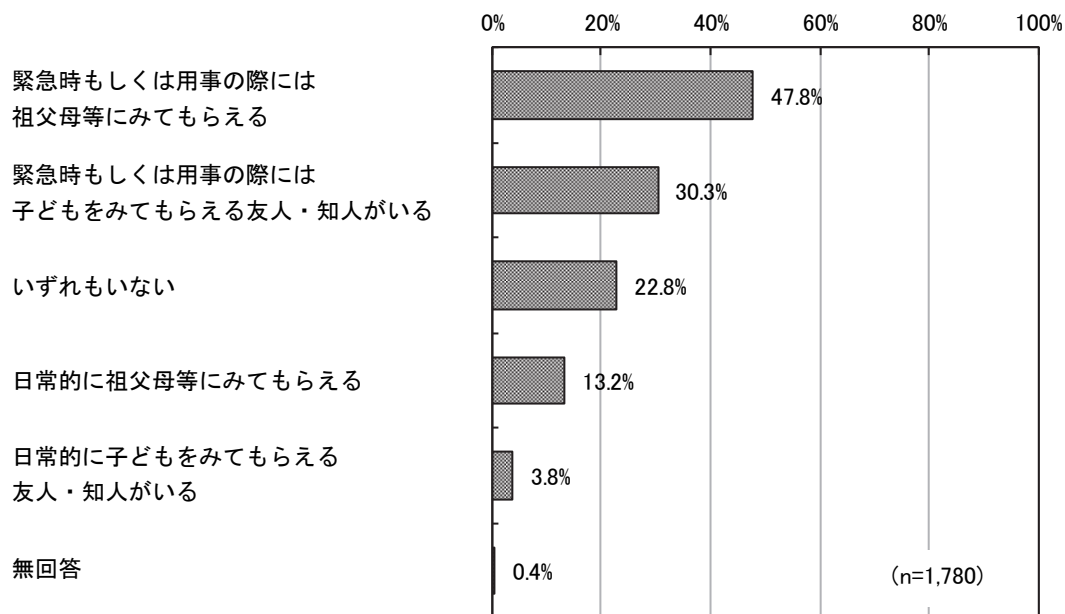
「700～1,000万円未満」（28.9%）が最も多く、「1,000万円以上」（23.7%）、「500～700万円未満」（18.0%）と続く。



2. 子育ての環境について

問8 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(いくつでも○)

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等にみてもらえる」(47.8%)が最も多く、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」(30.3%)、「いずれもない」(22.8%)と続く。



【学年別】

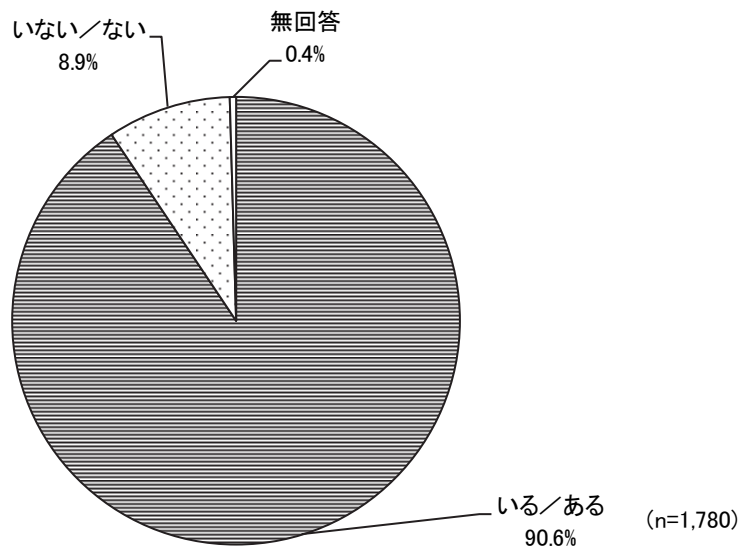
すべての学年で「緊急時もしくは用事の際には祖父母等にみてもらえる」が最も多くなっている。

単位：%

	合計	日常的に祖父母等にみてもらえる	緊急時もしくは用事の際には祖父母等にみてもらえる	日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	いずれもない	無回答
全体	1,780	13.2	47.8	3.8	30.3	22.8	0.4
1年	271	12.5	53.5	5.2	32.8	18.8	—
2年	302	12.6	50.3	4.6	28.5	23.8	0.3
3年	292	12.0	44.2	3.4	29.5	24.3	—
4年	280	11.4	51.1	0.7	29.6	23.2	0.4
5年	298	15.8	49.0	6.0	31.5	18.8	0.3
6年	291	15.8	38.8	3.4	32.6	27.1	—

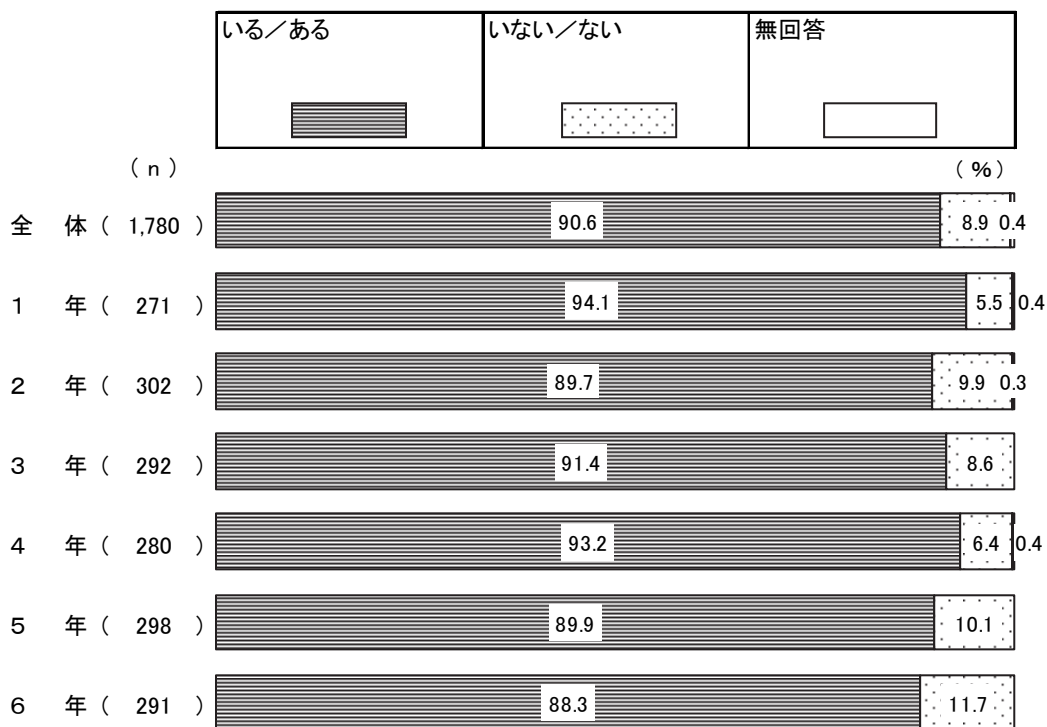
問9 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。（1つに○）

「いる／ある」（90.6%）、「いない／ない」（8.9%）となっている。



【学年別】

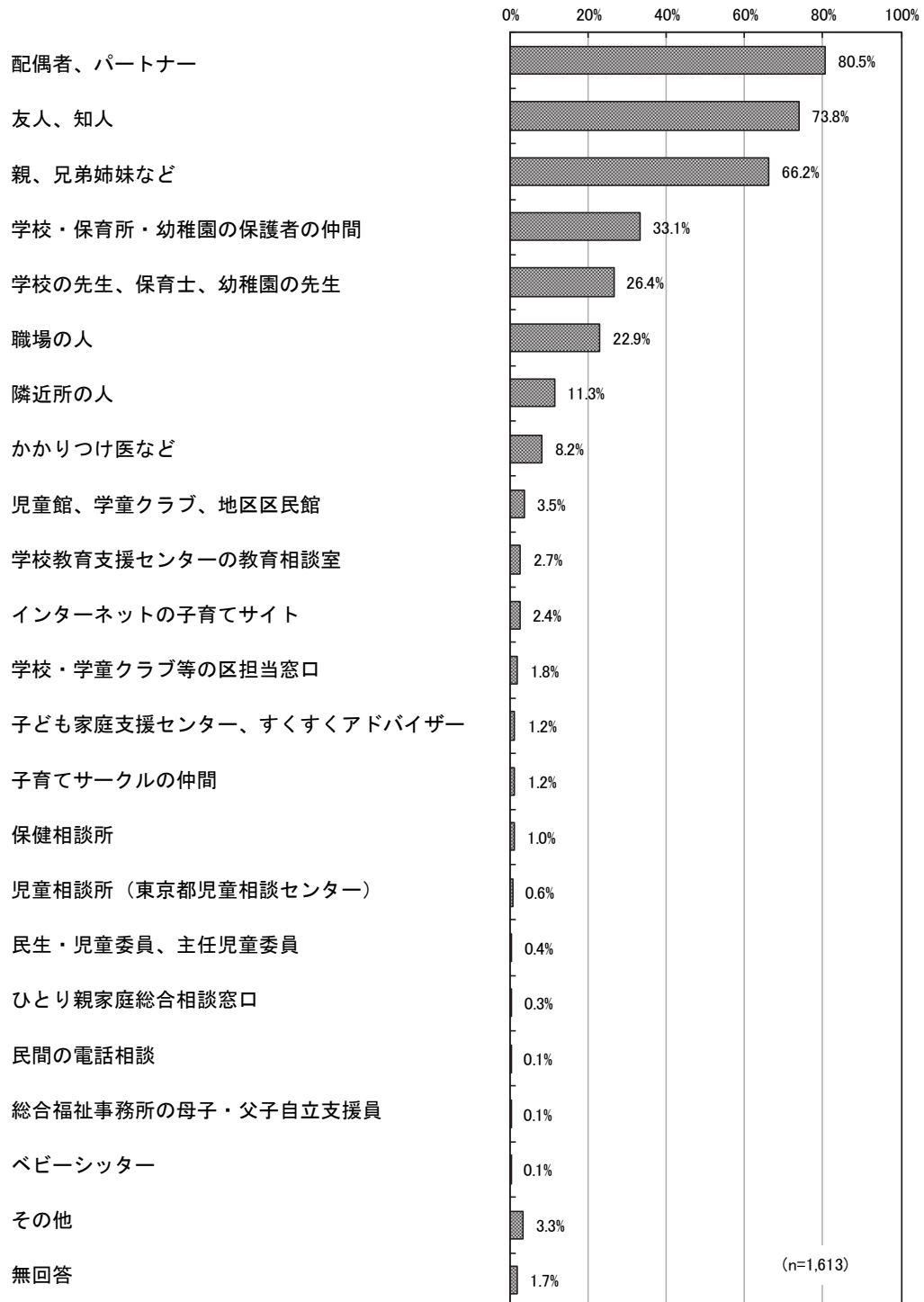
すべての学年で「いる／ある」が約9割となっている。



問10 問9で「1. いる／ある」を選んだ方にうかがいます。

お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる人は誰ですか。また、相談できる場所はどこですか。（いくつでも○）

「配偶者、パートナー」（80.5%）が最も多く、「友人、知人」（73.8%）、「親、兄弟姉妹など」（66.2%）、「学校・保育所・幼稚園の保護者の仲間」（33.1%）、「学校の先生、保育士、幼稚園の先生」（26.4%）と続く。



【学年別】

すべての学年で「配偶者、パートナー」が最も多く、7割以上となっている。

単位：％

	合 計	配偶者、 パートナー	親、兄弟姉 妹など	友人、知人	隣近所の人	職場の人	学校・保育 所・幼稚園 の保護者の 仲間	子育てサー クルの仲間	学校の先 生、保育 士、幼稚園 の先生
全体	5,529	80.5	66.2	73.8	11.3	22.9	33.1	1.2	26.4
1年	898	83.9	69.4	70.6	13.7	20.4	39.2	1.6	26.3
2年	988	82.3	63.8	76.0	13.3	24.7	40.6	—	30.6
3年	886	79.4	65.2	74.5	9.7	19.1	28.8	1.9	24.0
4年	923	85.8	67.8	73.2	8.4	28.7	33.3	0.8	29.9
5年	888	74.3	65.7	73.5	13.8	23.1	29.1	1.9	24.6
6年	845	77.8	67.7	75.1	8.6	22.2	28.0	0.8	23.7

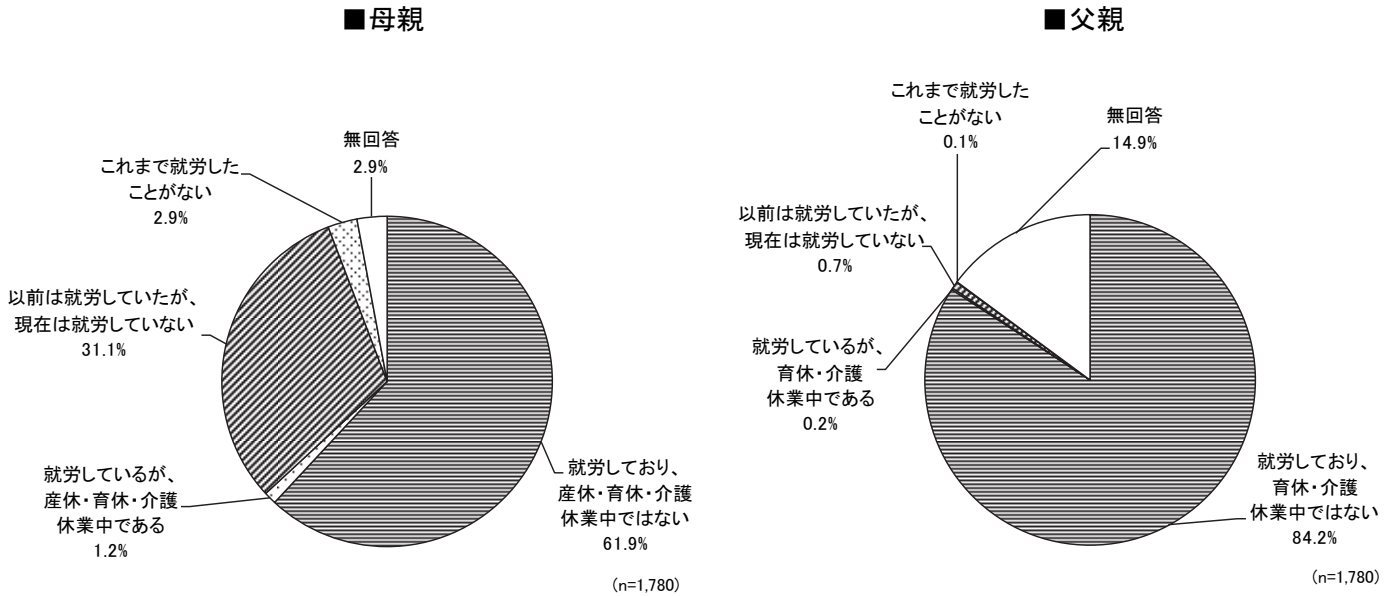
	かかりつけ 医など	学校・学童 クラブ等の 区担当窓口	子ども家庭 支援セン ター、すく すくアドバ イザー	児童館、学 童クラブ、 地区区民館	総合福祉事 務所の母 子・父子自 立支援員	ひとり親家 庭総合相談 窓口	民生・児童 委員、主任 児童委員	学校教育支 援センター の教育相談 室	保健相談所
全体	8.2	1.8	1.2	3.5	0.1	0.3	0.4	2.7	1.0
1年	7.1	1.6	2.0	5.1	—	0.4	0.4	2.4	0.4
2年	8.5	4.1	1.1	5.2	—	—	—	2.2	2.2
3年	8.6	1.9	1.5	4.1	—	0.4	0.7	3.0	1.9
4年	8.0	1.1	0.8	2.7	—	—	0.4	3.4	0.8
5年	6.0	0.7	1.5	3.0	—	0.4	0.7	3.7	0.4
6年	11.7	0.8	0.8	1.2	0.4	0.8	—	1.9	0.4

	児童相談所 (東京都児 童相談セン ター)	民間の電話 相談	ベビーシッ ター	インター ネットの子 育てサイト	その他	無回答
全体	0.6	0.1	0.1	2.4	3.3	1.7
1年	0.4	—	—	2.7	3.1	1.6
2年	0.4	0.4	0.4	3.3	3.3	2.2
3年	0.4	—	—	1.5	2.6	2.6
4年	—	—	—	3.1	4.6	0.8
5年	1.1	0.4	—	2.6	3.7	1.1
6年	1.2	—	—	1.2	2.7	1.9

3. 保護者の就労状況について

問 11 あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者を含む）についてうかがいます。

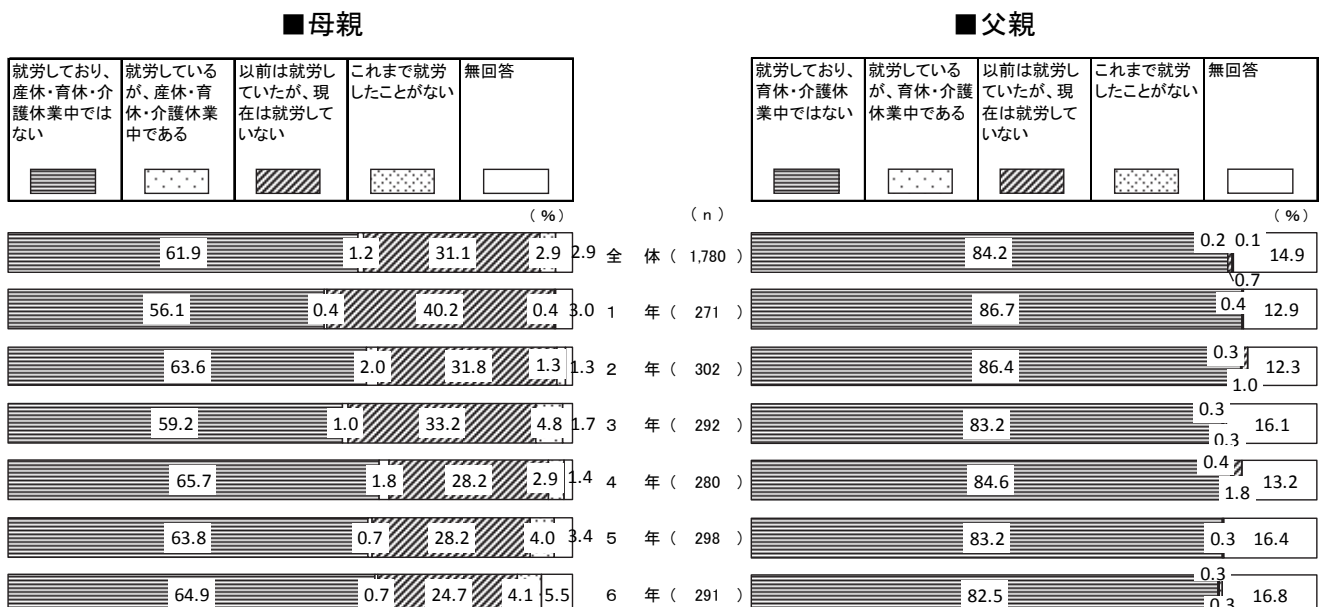
母親は、「就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」（61.9%）が最も多く、「以前は就労していたが、現在は就労していない」（31.1%）、「これまで就労したことがない」（2.9%）、「就労しているが、産休・育休・介護休業中である」（1.2%）と続く。父親は、「就労しており、育休・介護休業中ではない」（84.2%）が最も多くなっている。



【学年別】

母親は、すべての学年で「就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が最も多く、5割半ば以上となっている。

父親も、すべての学年で「就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が最も多く、8割以上となっている。



問12 問11の(1)母親または(2)父親で、「1.」または「2.」(就労している)を選んだ方にうかがいます。

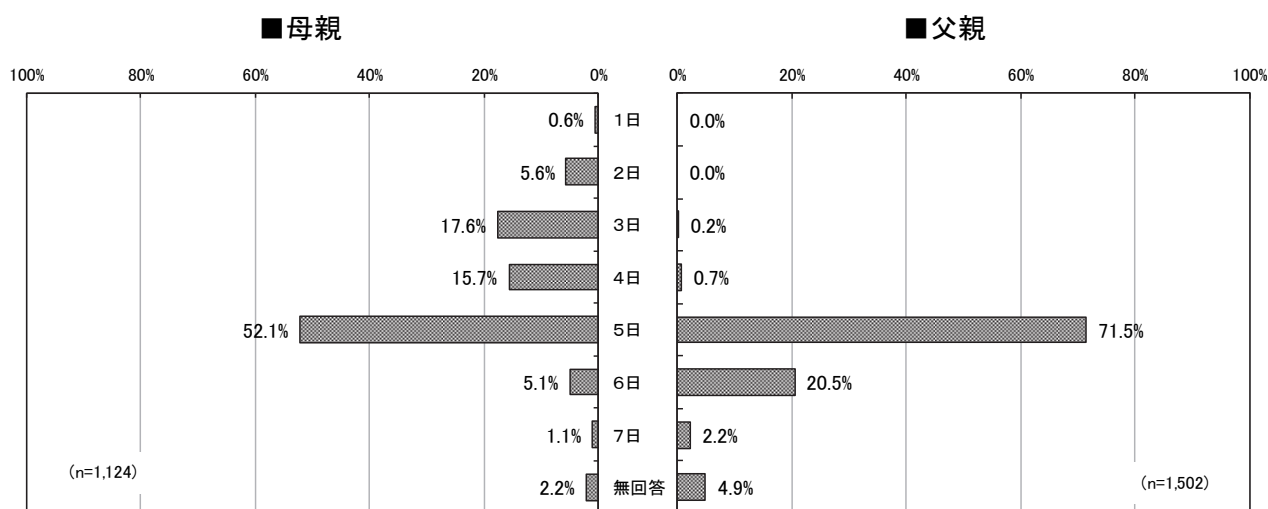
就労日数、就労時間(残業時間を含む)、就労形態についてお答えください。
就労日数や就労時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。

産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
日数と時間は()内に数字をご記入ください。就労形態は該当するものに○をつけてください。

就労形態が「その他」の場合は、()内に具体的な就労形態をご記入ください。

① 1週当たり就労日数

母親、父親ともに「5日」が最も多くなっている。



【全体・学年別 1週当たり平均就労日数】

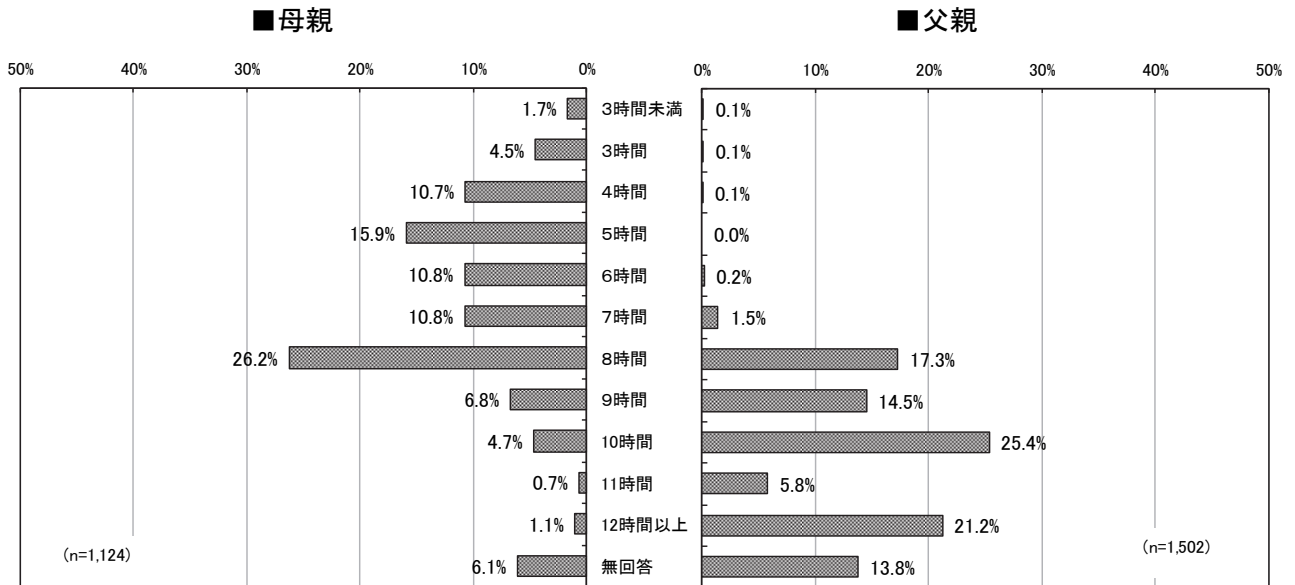
母親は、「1年」～「4年」(それぞれ4.4日)が最も多く、平均は4.4日となっている。

父親は、「1年」「3年」「4年」「6年」(それぞれ5.3日)が最も多く、平均は5.3日となっている。

	全体	1年	2年	3年	4年	5年	6年
母親	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.3	4.2
父親	5.3	5.3	5.2	5.3	5.3	5.2	5.3

② 1日当たり就労時間(残業時間を含む)

母親は、「8時間」(26.2%)が最も多く、「5時間」(15.9%)、「6時間」「7時間」(それぞれ10.8%)、「4時間」(10.7%)と続く。父親は、「10時間」(25.4%)が最も多く、「12時間以上」(21.2%)、「8時間」(17.3%)、「9時間」(14.5%)と続く。



【全体・学年別 1日当たり平均就労時間】

母親は、「4年」(6.8時間)が最も多く、平均は6.6時間となっている。

父親は、「1年」「3年」(それぞれ10.3時間)が最も多く、平均は10.1時間となっている。

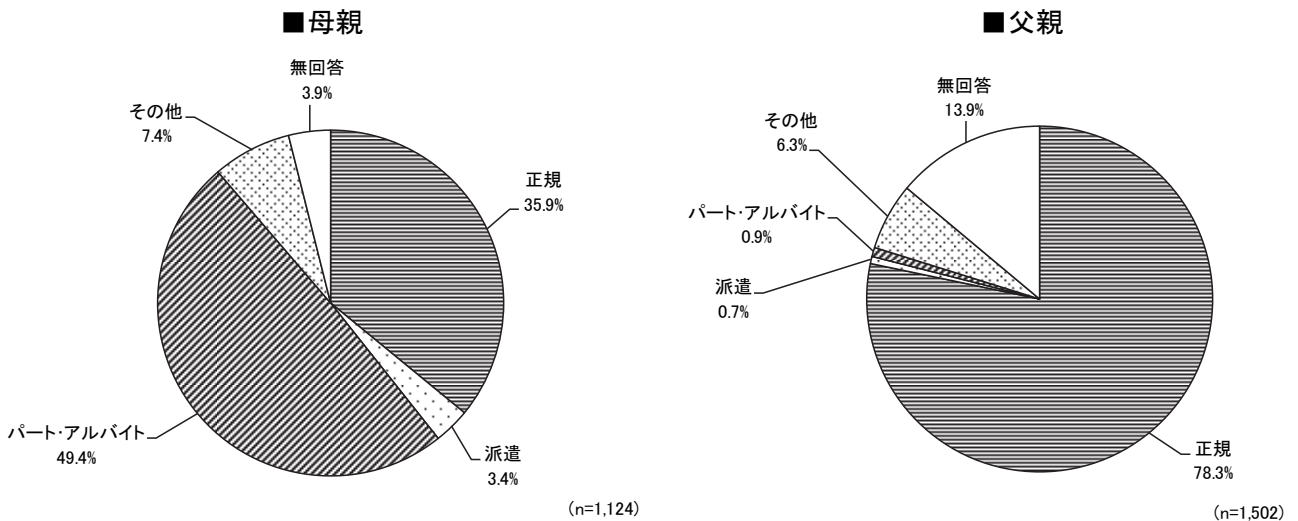
単位：時間

	全体	1年	2年	3年	4年	5年	6年
母親	6.6	6.6	6.7	6.6	6.8	6.5	6.4
父親	10.1	10.3	10.2	10.3	9.9	10.1	10.0

③就労形態

母親は、「パート・アルバイト」(49.4%)が最も多く、「正規」(35.9%)、「派遣」(3.4%)と続く。

父親は、「正規」(78.3%)が最も多く、「パート・アルバイト」(0.9%)、「派遣」(0.7%)と続く。

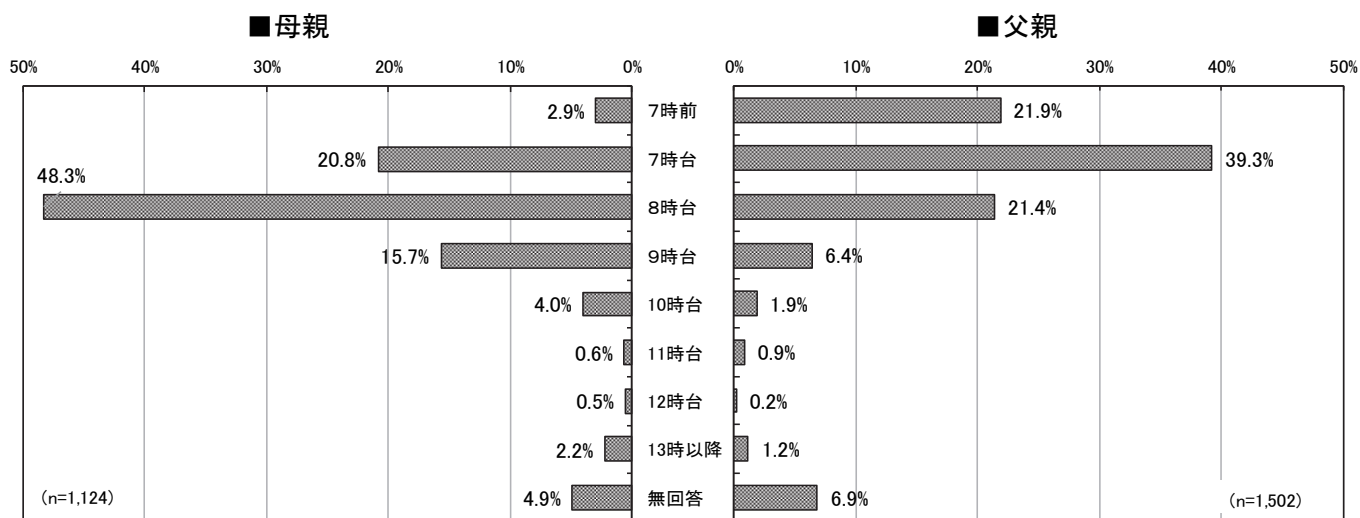


問 13 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は（ ）内に 24 時間制でご記入ください（例：8 時 30 分～18 時 30 分）。

①家を出る時刻

母親は、「8 時台」(48.3%)が最も多く、「7 時台」(20.8%)、「9 時台」(15.7%)と続く。平均は 8 時 29 分となっている。

父親は、「7 時台」(39.3%)が最も多く、「7 時前」(21.9%)、「8 時台」(21.4%)と続く。平均は 7 時 35 分となっている。



【全体・学年別 家を出る平均時刻】

母親は、「2 年」(8 時 18 分)が最も早く、「6 年」(8 時 41 分)が最も遅くなっている。
 父親は、「2 年」「3 年」(それぞれ 7 時 30 分)が最も早く、「4 年」(7 時 44 分)が最も遅くなっている。

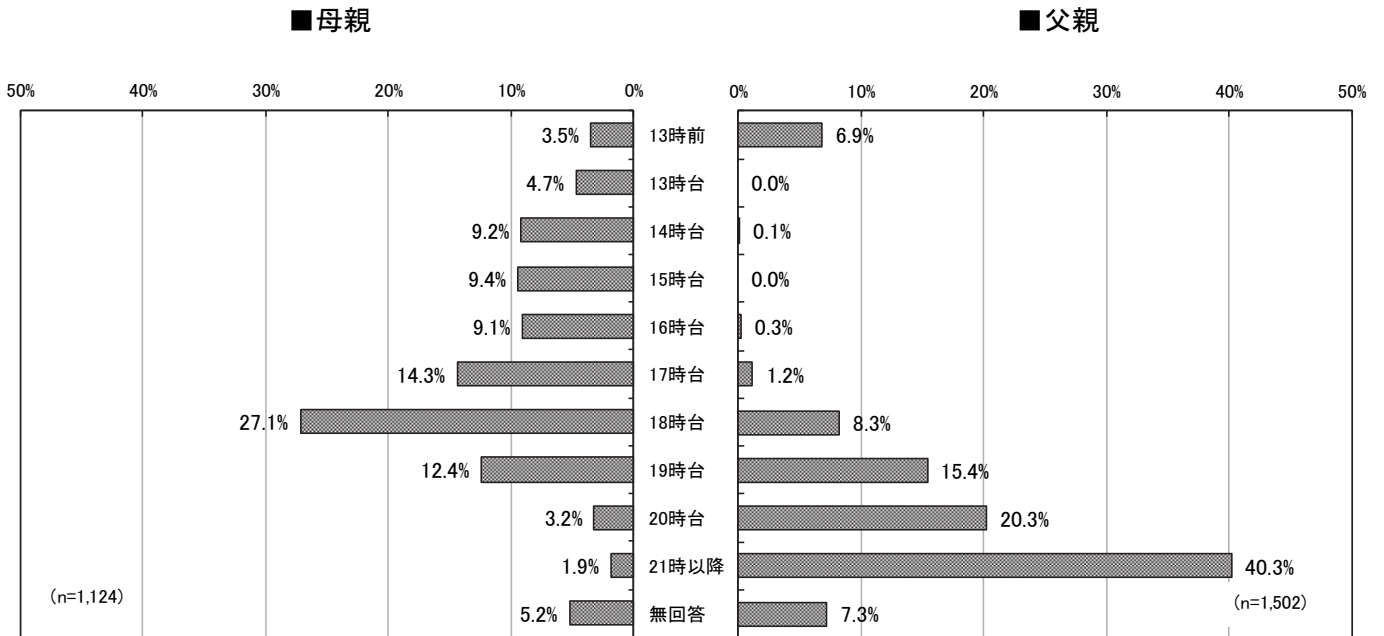
単位：時間

	全体	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
母親	8 時 29 分	8 時 34 分	8 時 18 分	8 時 25 分	8 時 30 分	8 時 30 分	8 時 41 分
父親	7 時 35 分	7 時 36 分	7 時 30 分	7 時 30 分	7 時 44 分	7 時 32 分	7 時 37 分

②帰宅時刻

母親は、「18時台」(27.1%)が最も多く、「17時台」(14.3%)、「19時台」(12.4%)と続く。平均は16時58分となっている。

父親は、「21時以降」(40.3%)が最も多く、「20時台」(20.3%)、「19時台」(15.4%)と続く。平均は19時07分となっている。



【全体・学年別 平均帰宅時刻】

母親は、「5年」(16時47分)が最も早く、「4年」(17時10分)が最も遅くなっている。

父親は、「4年」(18時32分)が最も早く、「6年」(19時35分)が最も遅くなっている。

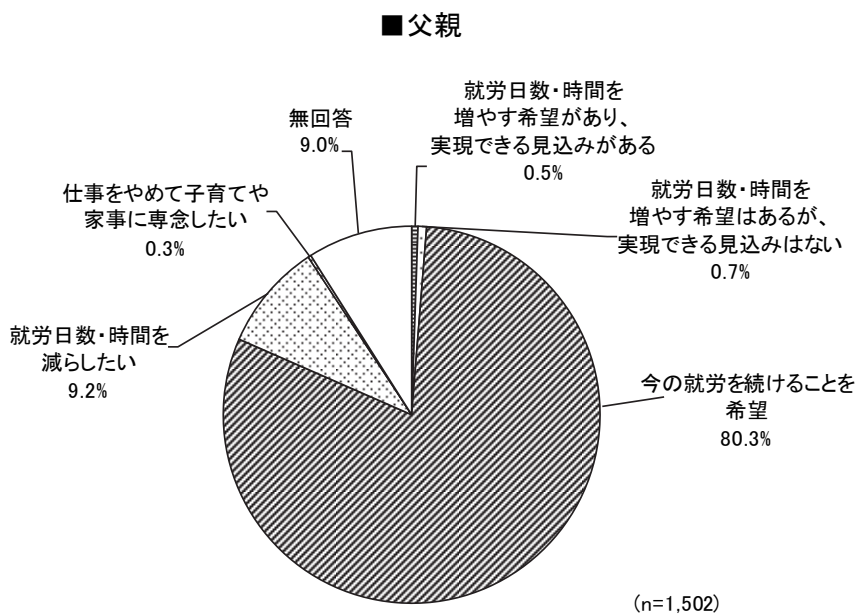
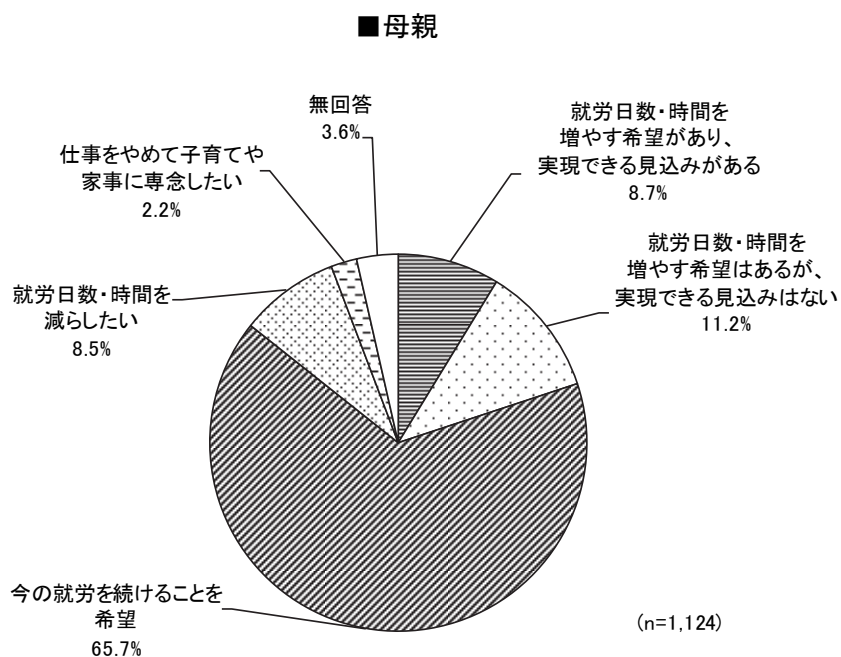
単位：時間

	全体	1年	2年	3年	4年	5年	6年
母親	16時58分	17時04分	16時57分	16時55分	17時10分	16時47分	16時52分
父親	19時07分	18時49分	19時01分	19時24分	18時32分	19時32分	19時35分

問 14 今後、就労状況を変更する希望はありますか。あてはまる番号1つに○をつけ、
 () 内に数字をご記入ください。

母親は、「今の就労を続けることを希望」(65.7%)が最も多く、「就労日数・時間を増やす希望はあるが、実現できる見込みはない」(11.2%)、「就労日数・時間を増やす希望があり、実現できる見込みがある」(8.7%)と続く。

父親は、「今の就労を続けることを希望」(80.3%)が最も多く、「就労日数・時間を減らしたい」(9.2%)、「就労日数・時間を増やす希望はあるが、実現できる見込みはない」(0.7%)と続く。



【学年別】

母親は、すべての学年で「今の就労を続けることを希望」が最も多く、6割以上となっている。父親も、すべての学年で「今の就労を続けることを希望」が最も多く、約8割となっている。

■母親

単位：%

	合 計	就労日数・ 時間を増やす 希望があり、 実現できる 見込みがある	就労日数・ 時間を増やす 希望はある が、実現でき る見込みはな い	今の就労を 続けることを 希望	就労日数・ 時間を減らし たい	仕事をやめて 子育てや家事 に専念したい	無回答
全体	1,124	8.7	11.2	65.7	8.5	2.2	3.6
1年	153	5.9	11.1	68.0	11.8	2.0	1.3
2年	198	8.1	9.6	64.1	12.1	2.0	4.0
3年	176	10.8	8.5	67.6	6.8	1.7	4.5
4年	189	10.6	11.1	69.8	4.8	1.1	2.6
5年	192	7.3	12.5	65.6	7.3	4.2	3.1
6年	191	9.4	15.7	61.3	6.8	2.6	4.2

■父親

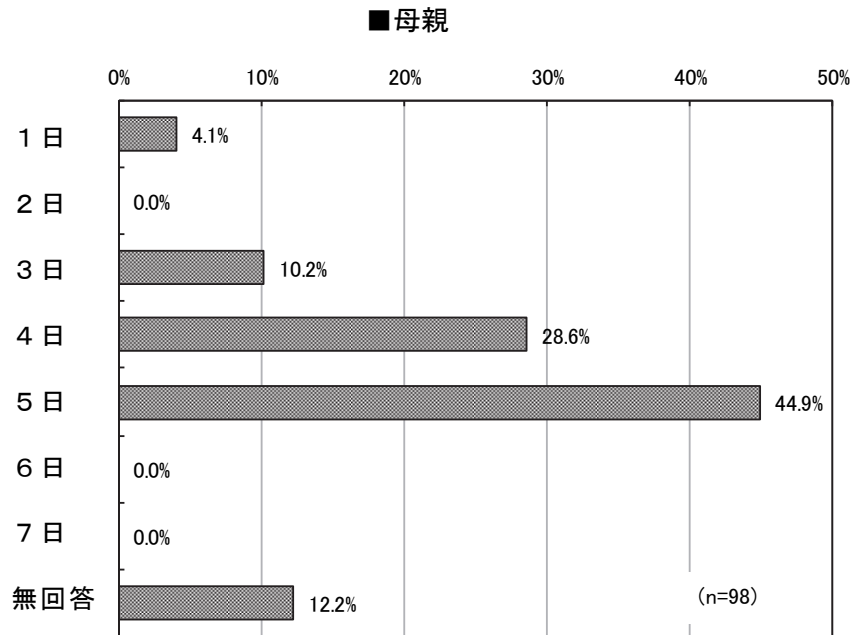
単位：%

	合 計	就労日数・ 時間を増やす 希望があり、 実現できる 見込みがある	就労日数・ 時間を増やす 希望はある が、実現でき る見込みはな い	今の就労を 続けることを 希望	就労日数・ 時間を減らし たい	仕事をやめて 子育てや家事 に専念したい	無回答
全体	1,502	0.5	0.7	80.3	9.2	0.3	9.0
1年	235	1.3	1.3	80.9	8.1	—	8.5
2年	262	0.8	0.8	78.2	10.7	0.8	8.8
3年	244	0.4	—	78.3	11.5	—	9.8
4年	238	0.4	0.4	79.0	10.5	0.4	9.2
5年	248	—	0.8	81.9	8.9	—	8.5
6年	240	0.4	0.8	84.2	5.8	0.4	8.3

＜就労日数・時間を増やす希望があり、実現できる見込みがある＞

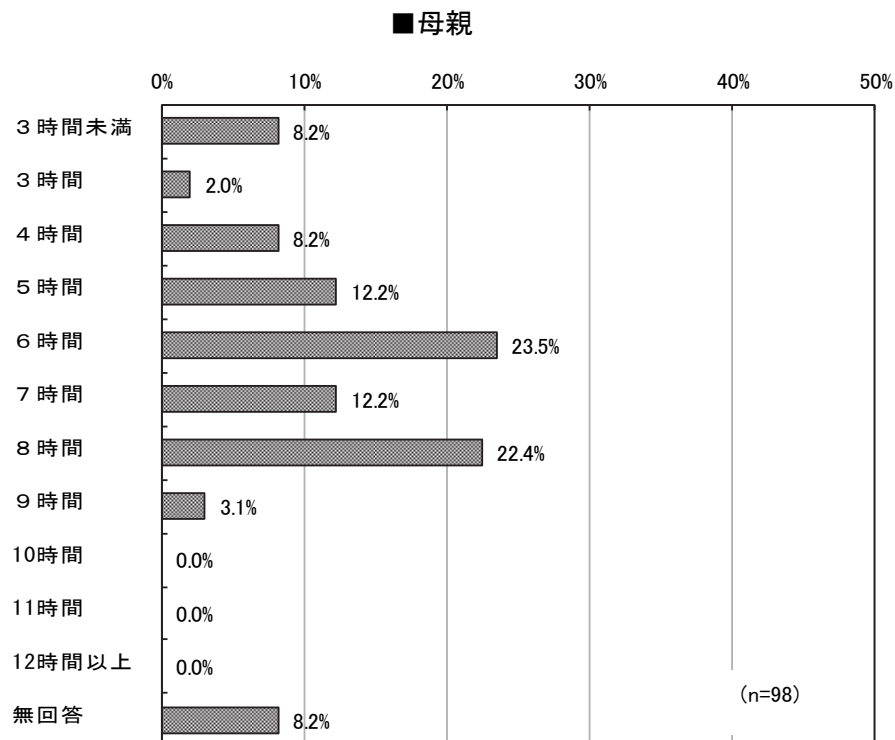
【増加後の日数等 1週当たり日数】

母親は、「5日」(44.9%)が最も多く、平均は4.2日となっている。父親は、「5日」「6日」(それぞれ3件)が最も多く、平均は5.5日となっている(無回答2件)。



【増加後の日数等 1日当たり時間】

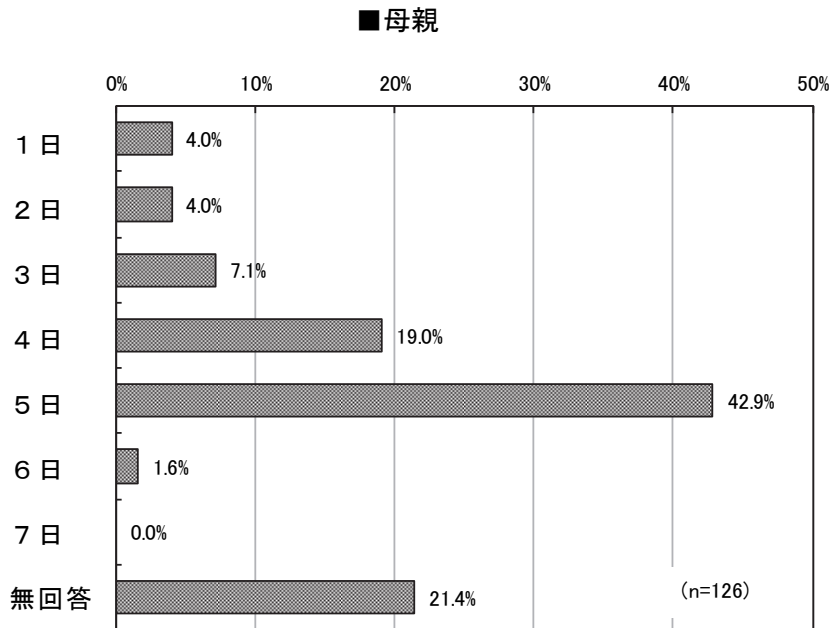
母親は、「6時間」(23.5%)が最も多く、「8時間」(22.4%)、「5時間」「7時間」(それぞれ12.2%)と続く。平均は5.9時間となっている。父親は、「3時間未満」「10時間」(それぞれ2件)が最も多く、「7時間」「8時間」「9時間」(それぞれ1件)と続く。平均は6.7時間となっている(無回答1件)。



<就労日数・時間を増やす希望があるが、実現できる見込みはない>

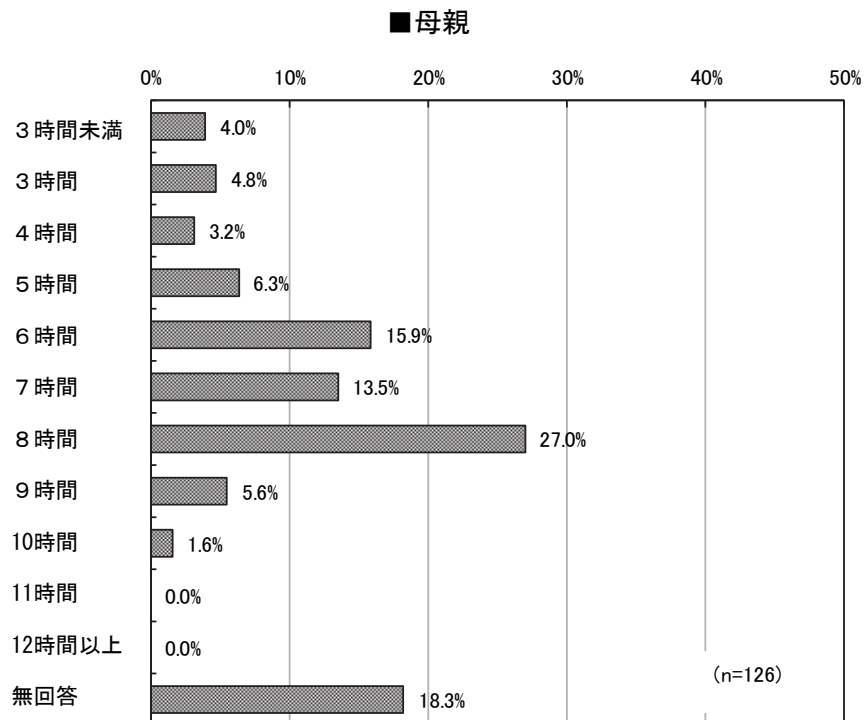
【増加後の日数等 1週当たり日数】

母親は、「5日」(42.9%)が最も多く、平均は4.2日となっている。父親は、「6日」(5件)が最も多く、平均は5.6日となっている(無回答3件)。



【増加後の日数等 1日当たり時間】

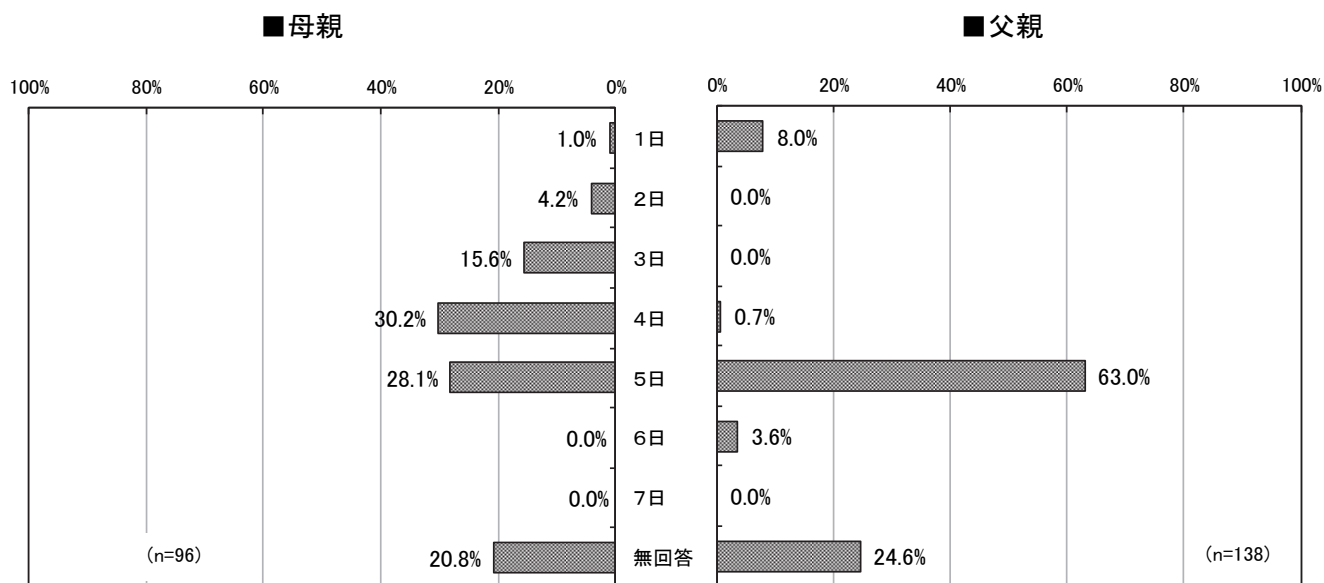
母親は、「8時間」(27.0%)が最も多く、「6時間」(15.9%)、「7時間」(13.5%)と続く。平均は6.6時間となっている。父親は、「7時間」「9時間」「10時間」がそれぞれ2件となっており、平均は8.2時間となっている。



<就労日数・時間を減らしたい>

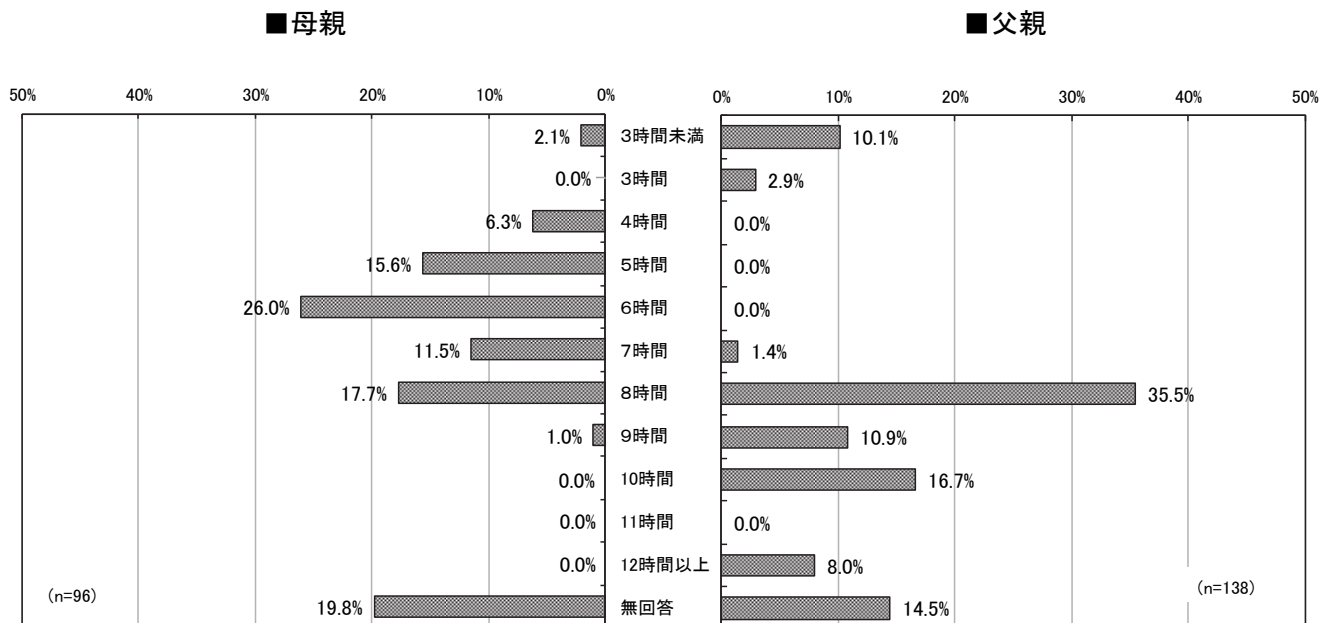
【減少後の日数等 1週当たり日数】

母親は、「4日」(30.2%)が最も多く、平均は4.0日となっている。父親は「5日」(63.0%)が最も多く、平均は4.6日となっている。



【減少後の日数等 1日当たり時間】

母親は、「6時間」(26.0%)が最も多く、「8時間」(17.7%)、「5時間」(15.6%)と続く。平均は6.2時間となっている。父親は、「8時間」(35.5%)が最も多く、「10時間」(16.7%)、「9時間」(10.9%)と続く。平均は8.0時間となっている。



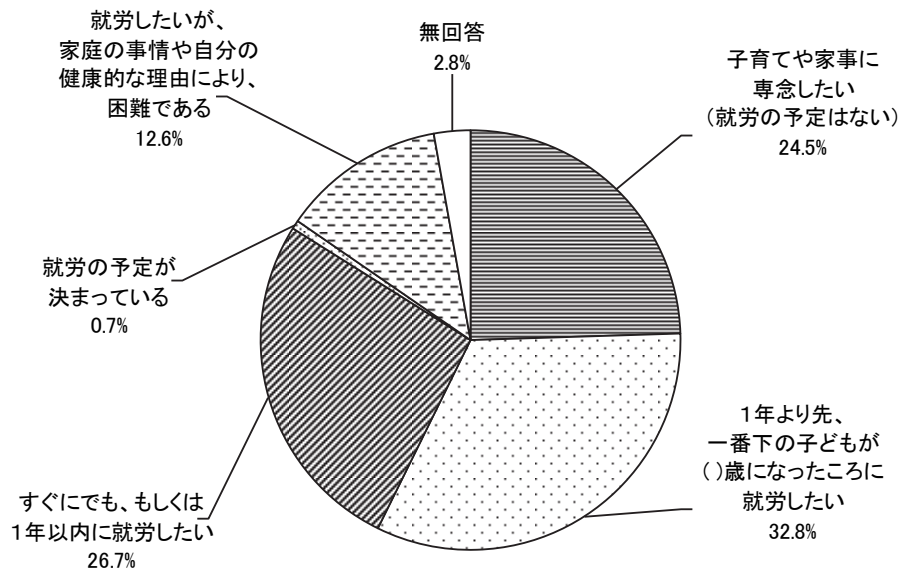
問15 問11の(1)母親または(2)父親で、「3. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「4. これまで就労したことがない」を選んだ方にうかがいます。

今後、就労したい希望はありますか。あてはまる番号1つに○をつけ、日数と時間等は()内に数字をご記入ください。就労形態は該当するものに○をつけてください。就労形態が「その他」の場合は、()内に具体的な就労形態をご記入ください。

母親は、「1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい」(32.8%)が最も多く、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」(26.7%)、「子育てや家事に専念したい(就労の予定はない)」(24.5%)と続く。

父親は、「就労したいが、家庭の事情や自分の健康的な理由により、困難である」(6件)が最も多く、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」(4件)、「子育てや家事に専念したい(就労の予定はない)」(2件)と続く。

■ 母親



(n=604)

【学年別(母親)】

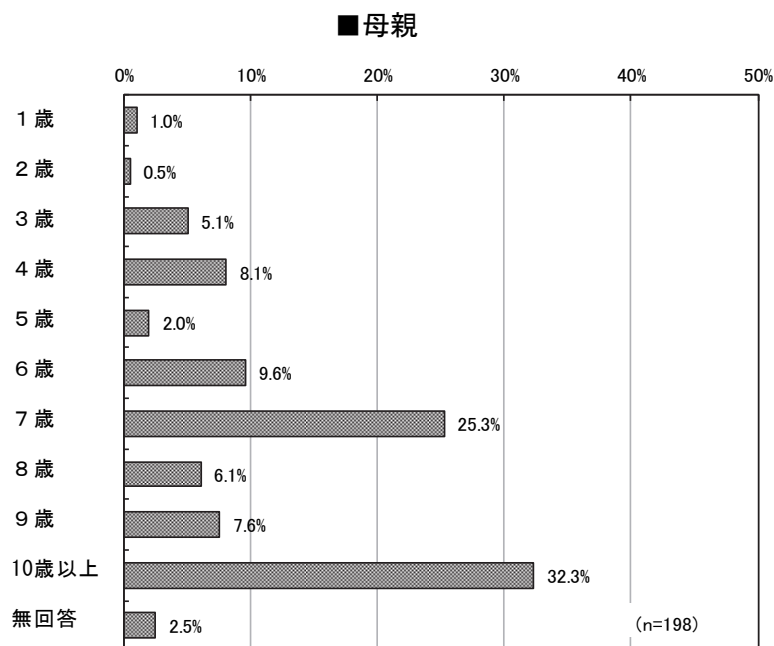
“1年”～“3年”で「1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい」が“4年”～“6年”と比べて多い傾向がみられる。

単位：%

	合計	子育てや家事に専念したい (就労の予定はない)	1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい	すぐにも、もしくは1年以内に就労したい	就労の予定が決まっている	就労したいが、家庭の事情や自分の健康的な理由により、困難である	無回答
全体	604	24.5	32.8	26.7	0.7	12.6	2.8
1年	110	22.7	46.4	21.8	2.7	5.5	0.9
2年	100	23.0	41.0	25.0	—	7.0	4.0
3年	111	19.8	37.8	21.6	—	18.0	2.7
4年	87	26.4	21.8	33.3	—	13.8	4.6
5年	96	27.1	29.2	29.2	—	14.6	—
6年	84	26.2	19.0	33.3	1.2	15.5	4.8

＜1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい＞

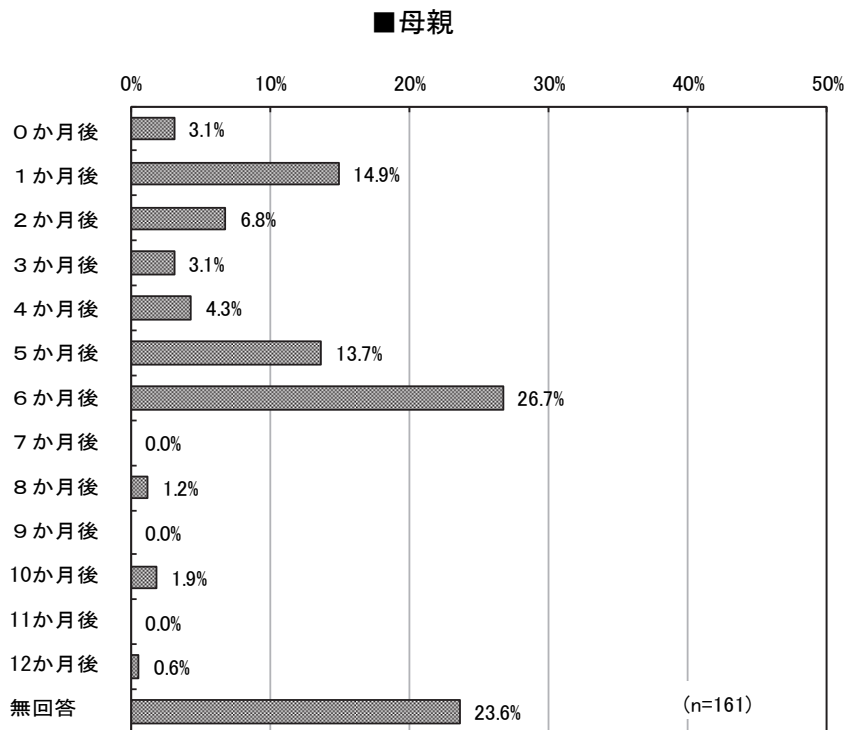
母親は、「10歳以上」(32.3%)が最も多く、「7歳」(25.3%)、「6歳」(9.6%)と続く。



<すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい>

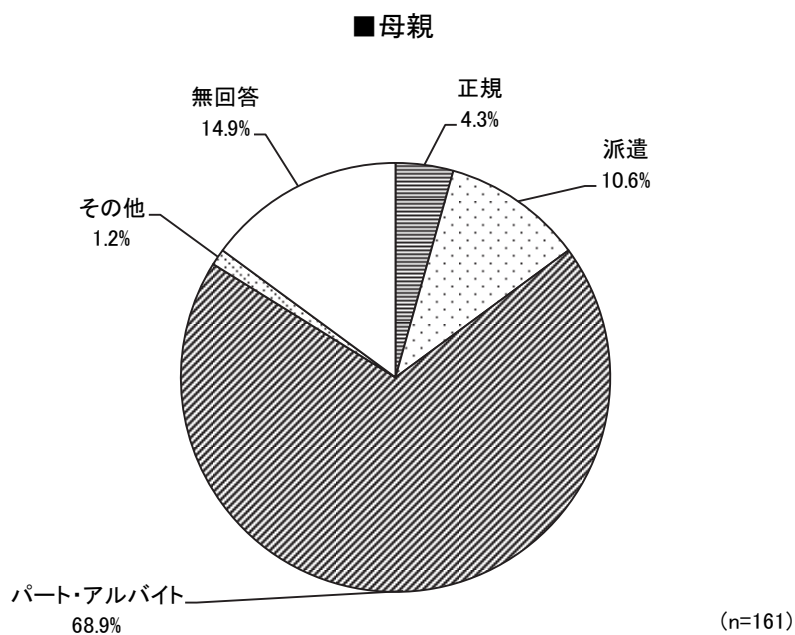
【希望時期】

母親は、「6か月後」(26.7%)が最も多く、「1か月後」(14.9%)、「5か月後」(13.7%)と続く。
 父親は、「0か月後」「1か月後」「2か月後」「6か月後」がそれぞれ1件となっている。



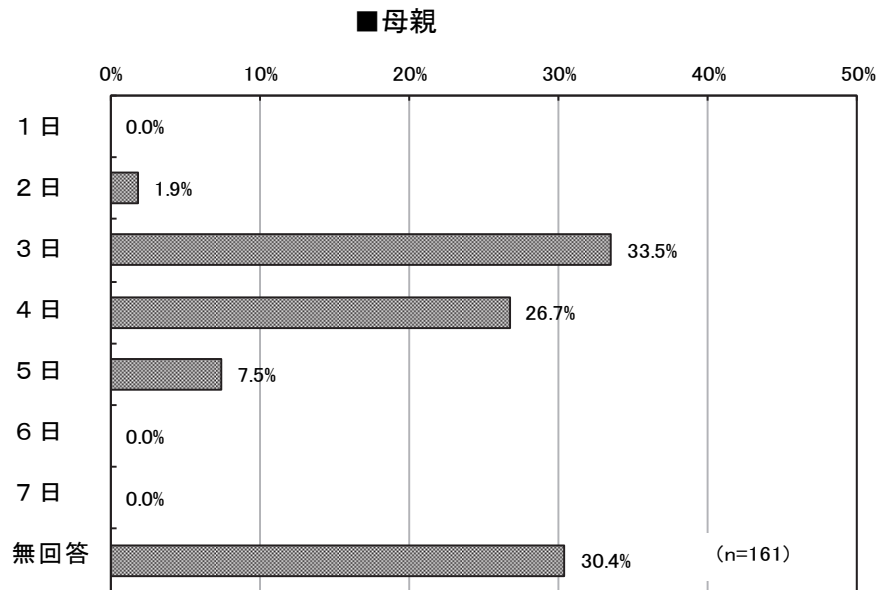
【希望する就労形態】

母親は、「パート・アルバイト」(68.9%)が最も多く、「派遣」(10.6%)、「正規」(4.3%)と続く。
 父親は、「正規」が3件となっている。



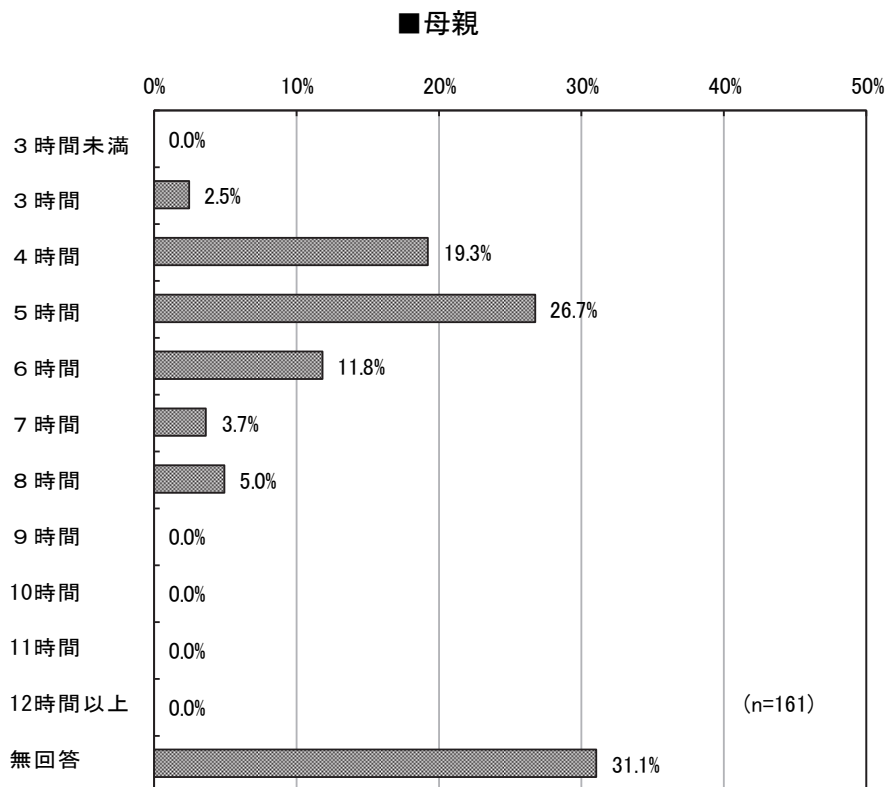
【1週当たり希望日数】

母親は、「3日」(33.5%)が最も多く、「4日」(26.7%)、「5日」(7.5%)と続く。
父親は、「5日」が3件となっている。



【1日当たり希望時間】

母親は、「5時間」(26.7%)が最も多く、「4時間」(19.3%)、「6時間」(11.8%)と続く。
父親は、「8時間」(2件)、「7時間」(1件)となっている。



<就労の予定が決まっている>

【開始時期】

母親は、「2018年10月」「2018年11月」「2018年12月」「2019年4月」がそれぞれ1件となっている。

【1週当たり日数】

母親は、「2日」「3日」「4日」「5日」がそれぞれ1件となっている。

【1日当たり時間】

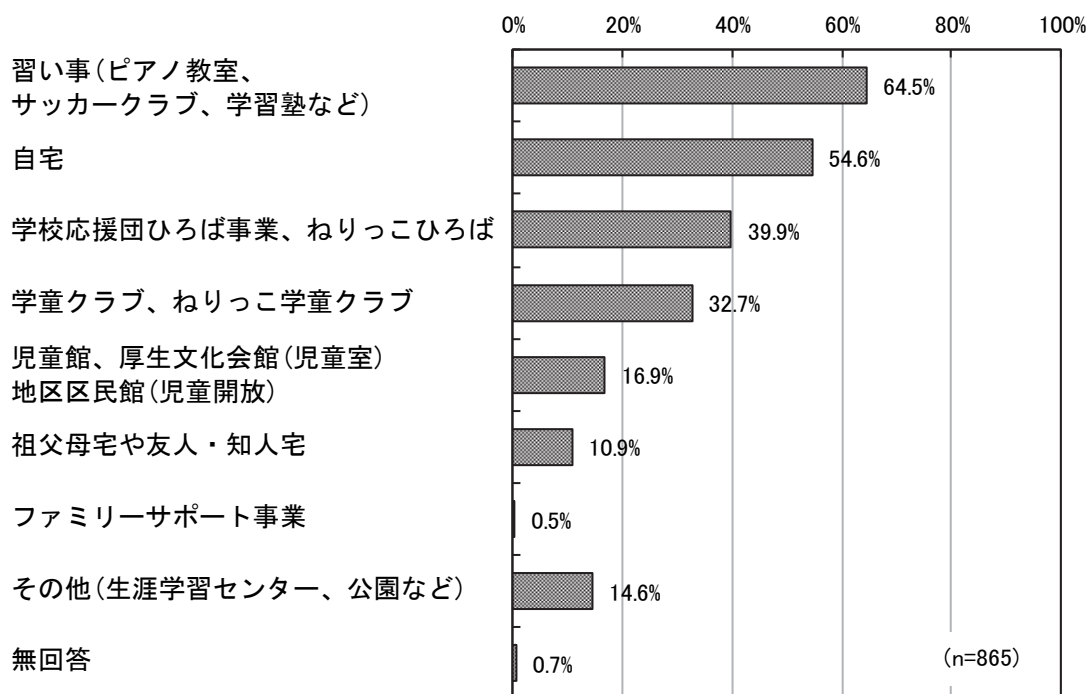
母親は、「4時間」(2件)が最も多く、「5時間」「8時間」(それぞれ1件)と続く。

4. 放課後の過ごし方について

問 16 あて名のお子さんを、放課後（平日の小学校終了後）の時間にどのような場所で過ごさせたいですか。あてはまる番号すべてに○をつけ、希望する日数をご記入ください。①は、お子さんが低学年（1～3年生）の方のみお答えください。②はすべての方がお答えください。
 「学童クラブ」の場合は、利用を希望する時間も（ ）内に 24 時間制でご記入ください。（例：19 時）

①小学校低学年（1～3年生）のとき ※お子さんが低学年（1～3年生）の方のみ回答

「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」(64.5%)が最も多く、「自宅」(54.6%)、「学校応援団ひろば事業、ねりっこひろば」(39.9%)、「学童クラブ、ねりっこ学童クラブ」(32.7%)と続く。



【学年別】

すべての学年で「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が最も多く、6割以上となっている。

単位：%

	合計	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	児童館、厚生文化会館(児童室)、地区区民館(児童開放)	学校応援団ひろば事業、ねりっこひろば	学童クラブ、ねりっこ学童クラブ	ファミリーサポート事業	その他(生涯学習センター、公園など)	無回答
全体	865	54.6	10.9	64.5	16.9	39.9	32.7	0.5	14.6	0.7
1年	271	51.3	8.9	64.9	13.3	44.3	37.6	1.1	11.1	0.7
2年	302	55.0	10.9	60.6	16.6	40.7	34.4	0.3	17.5	—
3年	292	57.2	12.7	68.2	20.5	34.9	26.4	—	14.7	1.4

【母親の就労状況別】

すべての就労状況で「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が最も多く、“以前は就労していたが、現在は就労していない”“これまで就労したことがない”では約8割となっている。

単位：％

	合 計	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	児童館、厚生文化会館（児童室）、地区区民館（児童開放）	学校応援団ひろば事業、ねりっこひろば	学童クラブ、ねりっこ学童クラブ	ファミリーサポート事業	その他（生涯学習センター、公園など）	無回答
全体	865	54.6	10.9	64.5	16.9	39.9	32.7	0.5	14.6	0.7
就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	517	41.8	8.9	53.6	16.8	32.5	48.0	0.8	11.2	0.4
就労しているが、産休・育休・介護休業中である	10	50.0	20.0	50.0	20.0	40.0	50.0	—	10.0	—
以前は就労していたが、現在は就労していない	302	76.8	14.2	84.1	15.9	53.0	7.3	—	20.9	0.7
これまで就労したことがない	19	68.4	10.5	78.9	36.8	47.4	5.3	—	10.5	—

【居住地区別】

すべての居住地区で「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が最も多く、6割以上となっている。

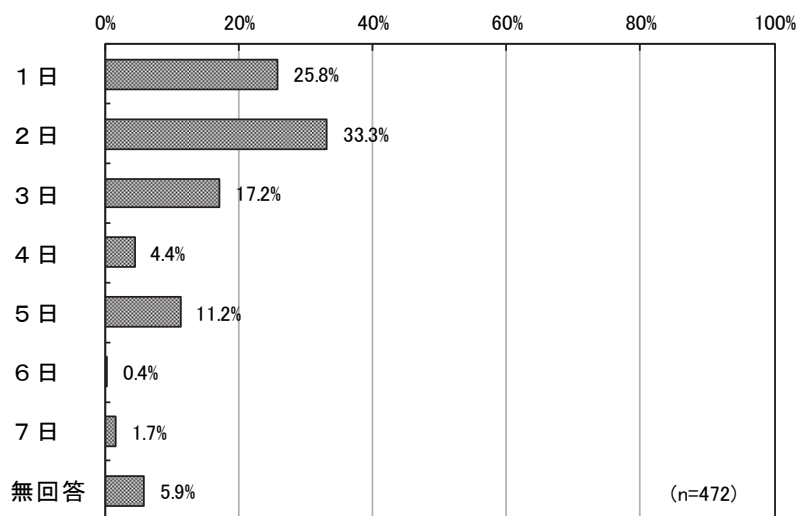
単位：％

	合 計	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	児童館、厚生文化会館（児童室）、地区区民館（児童開放）	学校応援団ひろば事業、ねりっこひろば	学童クラブ、ねりっこ学童クラブ	ファミリーサポート事業	その他（生涯学習センター、公園など）	無回答
全体	865	54.6	10.9	64.5	16.9	39.9	32.7	0.5	14.6	0.7
練馬	180	57.2	10.0	61.7	12.8	37.2	32.2	0.6	13.9	0.6
光が丘	239	53.6	10.9	62.3	19.2	40.2	38.9	0.4	13.8	—
石神井	267	57.7	10.9	68.9	15.0	40.8	30.7	0.4	15.7	0.7
大泉	169	49.7	11.2	63.3	20.1	41.4	27.8	0.6	14.8	1.2

○希望する1週当たり日数

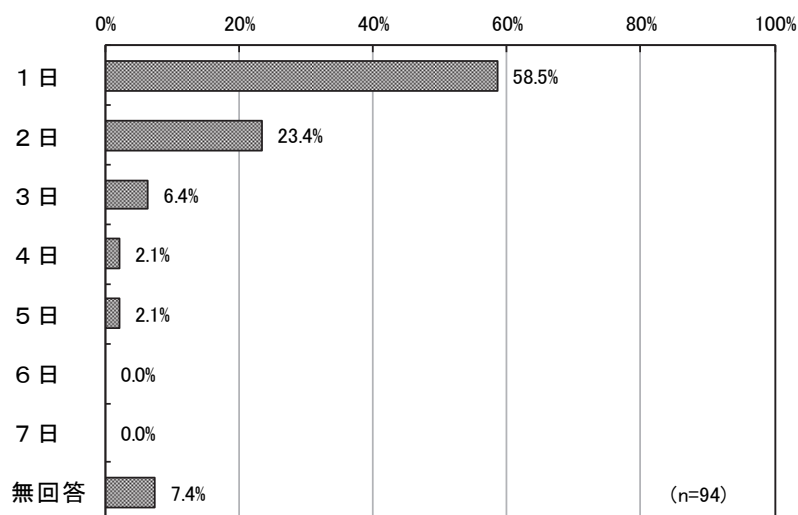
・自宅

「2日」(33.3%)が最も多く、「1日」(25.8%)、「3日」(17.2%)と続く。平均は2.5日となっている。



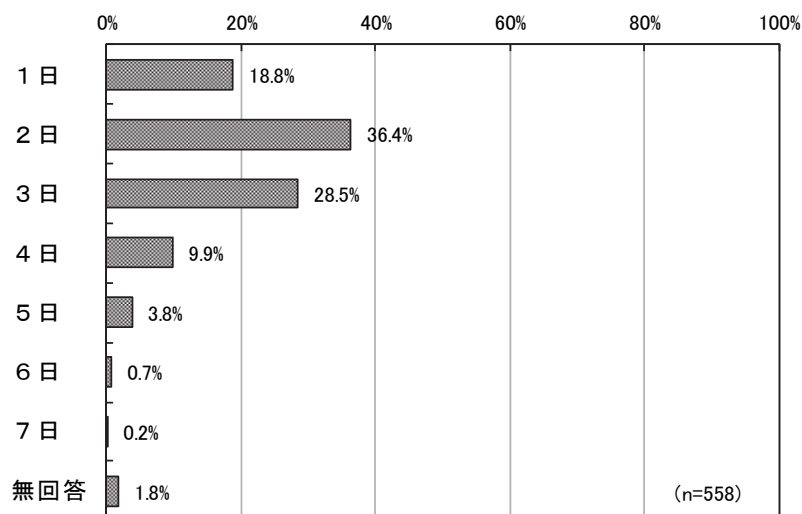
・祖父母宅や友人・知人宅

「1日」(58.5%)が最も多く、「2日」(23.4%)、「3日」(6.4%)と続く。平均は1.6日となっている。



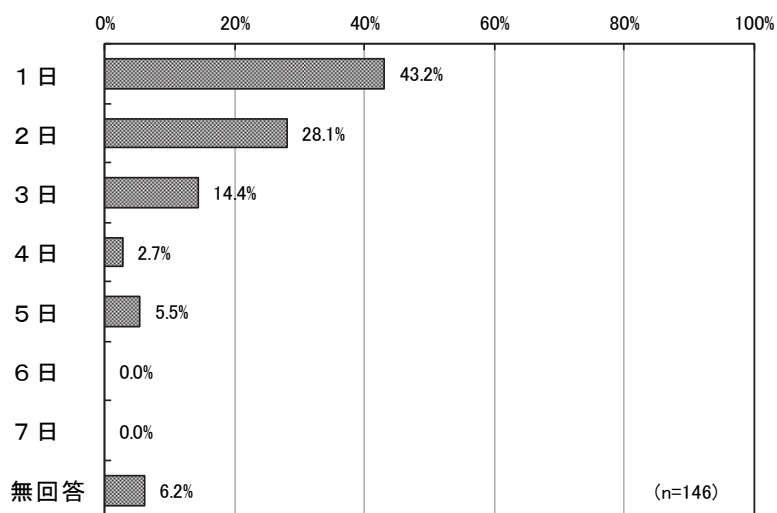
・習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）

「2日」(36.4%)が最も多く、「3日」(28.5%)、「1日」(18.8%)と続く。平均は2.5日となっている。



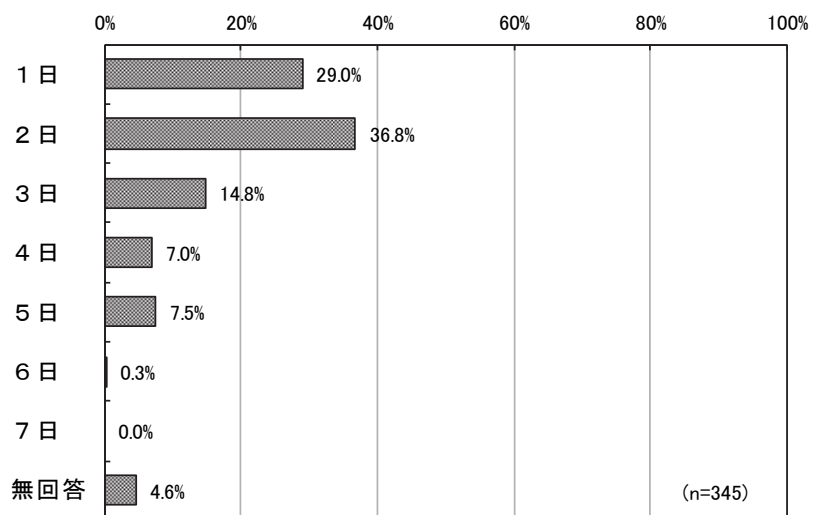
・児童館、厚生文化会館（児童室）、地区区民館（児童開放）

「1日」(43.2%)が最も多く、「2日」(28.1%)、「3日」(14.4%)と続く。平均は1.9日となっている。



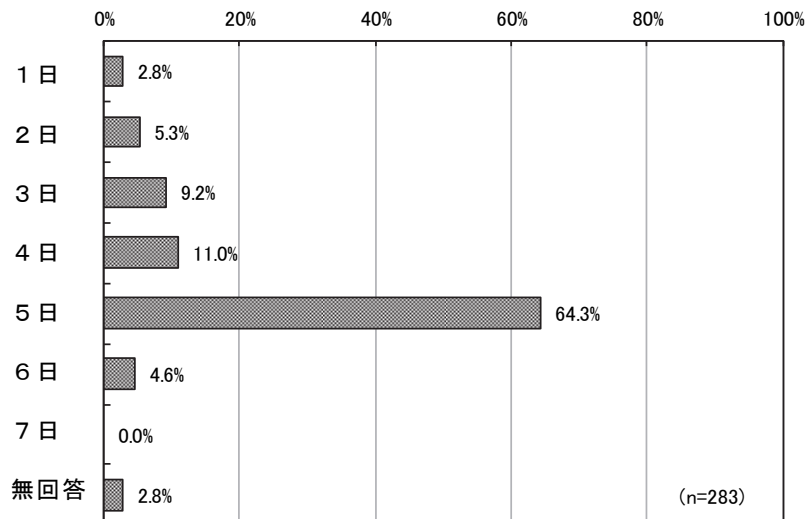
・学校応援団ひろば事業、ねりっこひろば

「2日」(36.8%)が最も多く、「1日」(29.0%)、「3日」(14.8%)と続く。平均は2.2日となっている。



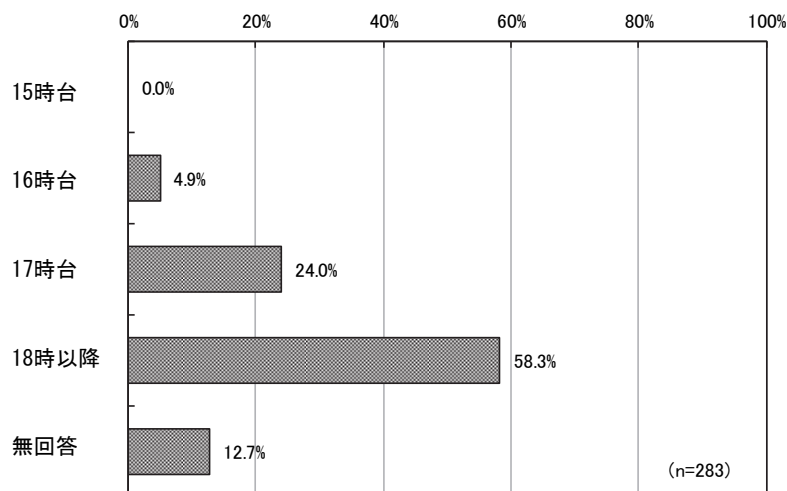
・学童クラブ、ねりっこ学童クラブ

「5日」(64.3%)が最も多く、「4日」(11.0%)、「3日」(9.2%)と続く。平均は4.5日となっている。



【利用希望時間「下校から（ ）時まで」】

「18時以降」(58.3%)が最も多く、「17時台」(24.0%)、「16時台」(4.9%)と続く。平均は17時50分となっている。

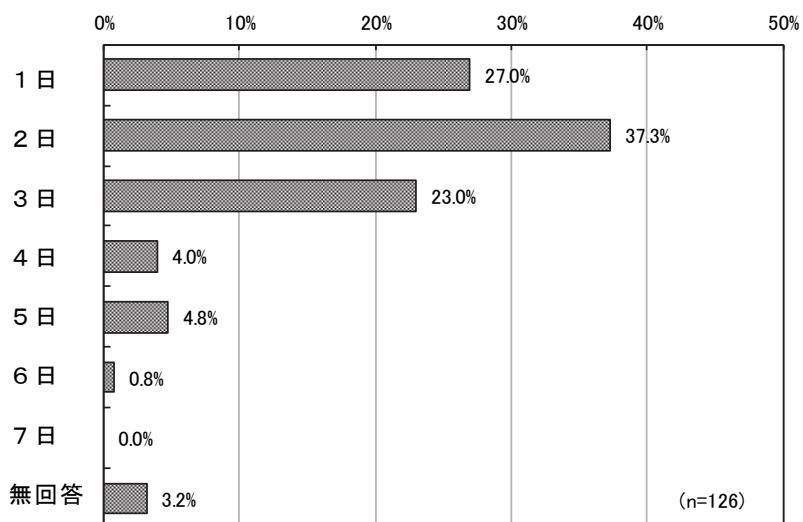


・ファミリーサポート事業

「1日」(3件)が最も多く、「2日」(1件)と続く。

・その他（生涯学習センター、公園など）

「2日」(37.3%)が最も多く、「1日」(27.0%)、「3日」(23.0%)と続く。平均は2.2日となっている。



【学年別 小学校低学年の放課後に過ごさせたい場所の1週当たり平均日数】

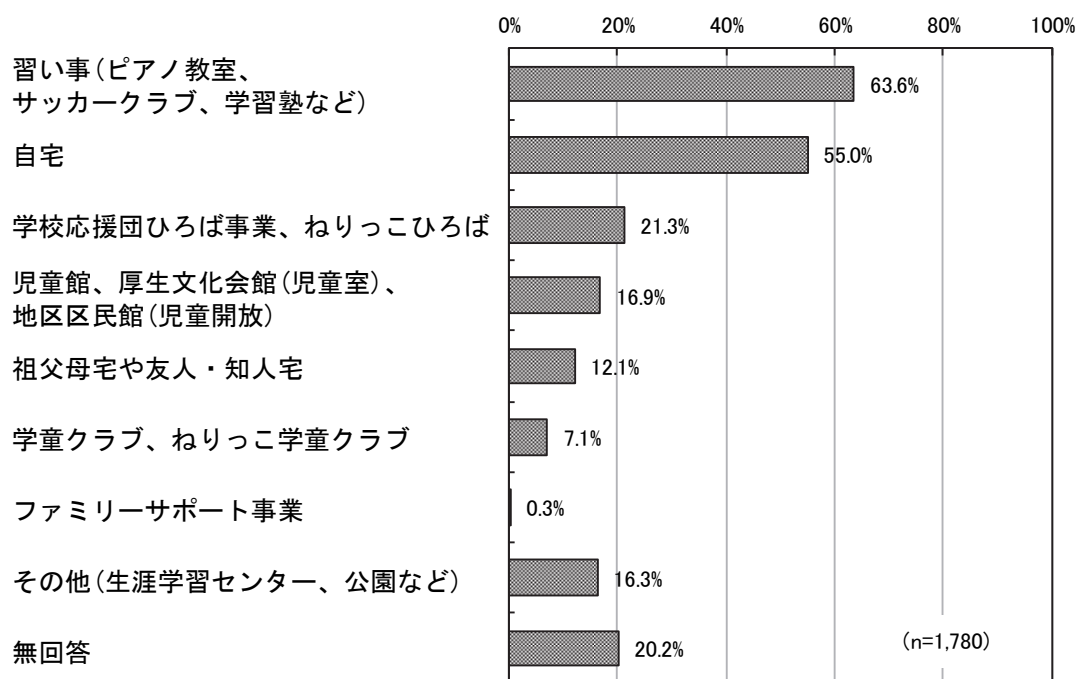
すべての学年で「学童クラブ、ねりっこ学童クラブ」が多く、4日以上となっている。

単位：日

	自宅	祖父母宅 や友人・ 知人宅	習い事 (ピアノ教室、サッカー クラブ、 学習塾など)	児童館、 厚生文化 会館(児 童室)、 地区区 民館(児 童開放)	学校応援 団ひろば 事業、ね りっこひ ろば	学童クラ ブ、ねり っこ学童 クラブ	ファミリ ーサポ ート事 業	その他 (生涯学 習セン ター、 公園 など)
全体	2.5	1.6	2.5	1.9	2.2	4.5	1.3	2.2
1年	2.5	1.6	2.3	2.1	2.3	4.5	1.0	2.3
2年	2.5	1.5	2.5	2.0	2.3	4.5	2.0	2.2
3年	2.5	1.5	2.5	1.8	2.1	4.3	—	2.3

②小学校高学年（4～6年生）のとき ※すべての方が回答

「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」(63.6%)が最も多く、「自宅」(55.0%)、「学校応援団ひろば事業、ねりっこひろば」(21.3%)と続く。



【学年別】

すべての学年で「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が最も多く、5割から8割となっており、学年が上がるにつれて多くなる傾向がみられる。また、学年が上がるにつれて「自宅」が多くなる傾向がみられる。

単位：％

	合 計	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	児童館、厚生文化会館（児童室）、地区区民館（児童開放）	学校応援団ひろば事業、ねりっこひろば	学童クラブ、ねりっこ学童クラブ	ファミリーサポート事業	その他（生涯学習センター、公園など）	無回答
全体	1,780	55.0	12.1	63.6	16.9	21.3	7.1	0.3	16.3	20.2
1年	271	34.3	5.2	50.9	12.9	25.1	11.4	0.4	11.1	42.1
2年	302	40.1	10.3	49.3	13.6	24.8	8.6	0.3	12.3	37.4
3年	292	38.7	7.9	50.3	15.4	17.8	6.8	—	11.0	39.4
4年	280	68.6	14.3	75.4	22.1	26.8	8.2	0.4	21.8	1.1
5年	298	71.8	18.8	80.5	17.4	20.1	4.0	0.3	21.1	0.7
6年	291	74.9	15.8	75.9	20.3	13.4	3.4	0.7	22.0	0.3

【母親の就労状況別】

すべての就労状況で「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が最も多くなっている。

単位：％

	合 計	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	児童館、厚生文化会館（児童室）、地区区民館（児童開放）	学校応援団ひろば事業、ねりっこひろば	学童クラブ、ねりっこ学童クラブ	ファミリーサポート事業	その他（生涯学習センター、公園など）	無回答
全体	1,780	55.0	12.1	63.6	16.9	21.3	7.1	0.3	16.3	20.2
就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	1,102	53.8	12.3	63.2	18.2	21.1	8.8	0.4	15.6	18.5
就労しているが、産休・育休・介護休業中である	22	54.5	18.2	59.1	22.7	31.8	9.1	—	13.6	22.7
以前は就労していたが、現在は就労していない	553	57.3	11.6	66.4	15.9	22.6	3.8	0.4	18.1	22.8
これまで就労したことがない	51	56.9	15.7	68.6	9.8	15.7	2.0	—	21.6	15.7

【居住地区別】

すべての居住地区で「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が最も多く、6割以上となっている。

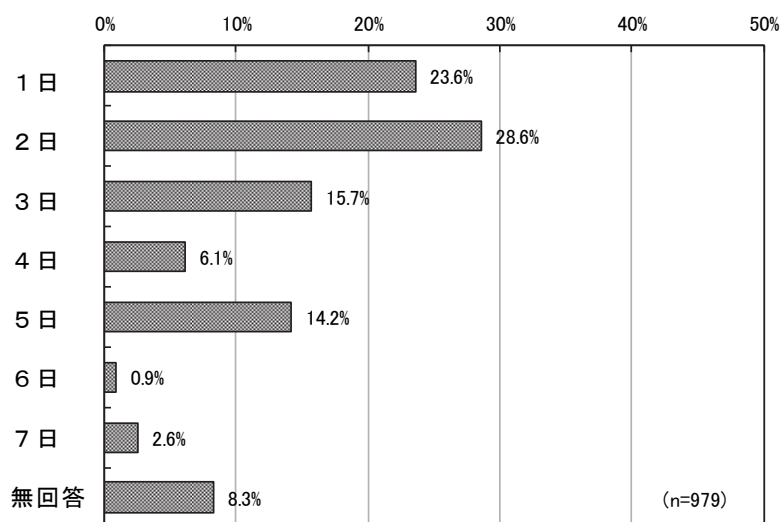
単位：%

	合計	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	児童館、厚生文化会館（児童室）、地区区民館（児童開放）	学校応援団ひろば事業、ねりっこひろば	学童クラブ、ねりっこ学童クラブ	ファミリーサポート事業	その他（生涯学習センター、公園など）	無回答
全体	1,780	55.0	12.1	63.6	16.9	21.3	7.1	0.3	16.3	20.2
練馬	357	54.1	11.5	66.4	10.9	21.6	6.7	0.3	14.6	21.8
光が丘	505	54.1	11.3	62.0	22.2	20.6	8.3	0.4	17.8	19.6
石神井	514	54.9	10.5	64.2	15.0	20.6	6.6	0.4	14.8	20.6
大泉	374	57.5	16.3	62.6	17.9	22.7	6.1	0.3	17.6	18.4

○希望する1週当たり日数

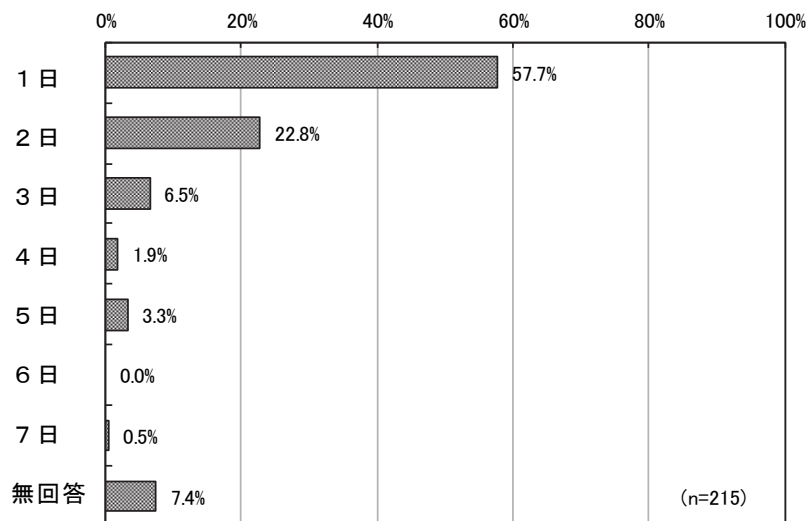
・自宅

「2日」（28.6%）が最も多く、「1日」（23.6%）、「3日」（15.7%）と続く。平均は2.7日となっている。



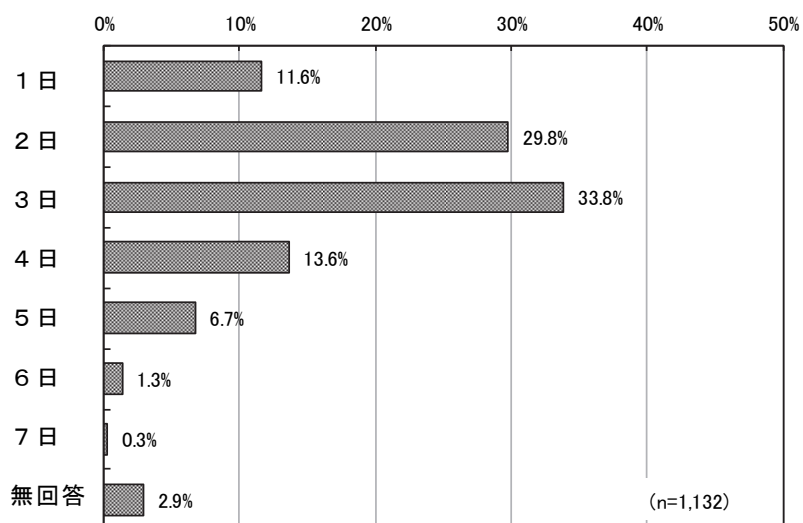
・祖父母宅や友人・知人宅

「1日」(57.7%)が最も多く、「2日」(22.8%)、「3日」(6.5%)と続く。平均は1.6日となっている。



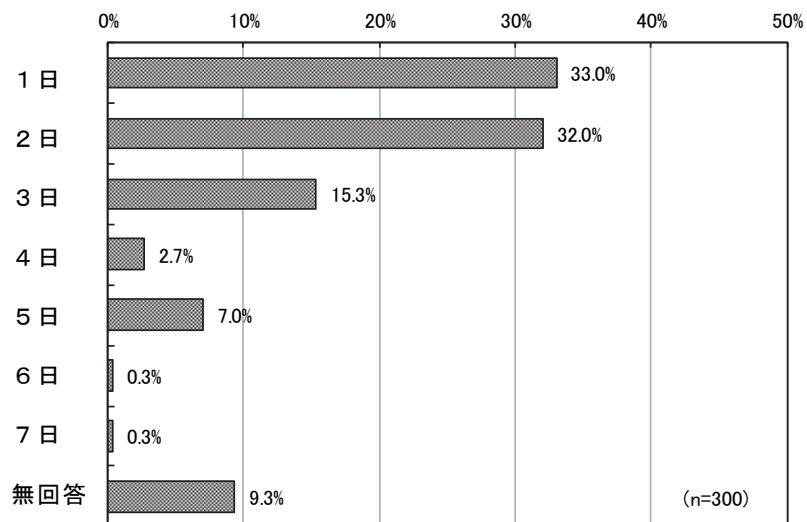
・習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）

「3日」(33.8%)が最も多く、「2日」(29.8%)、「4日」(13.6%)と続く。平均は2.8日となっている。



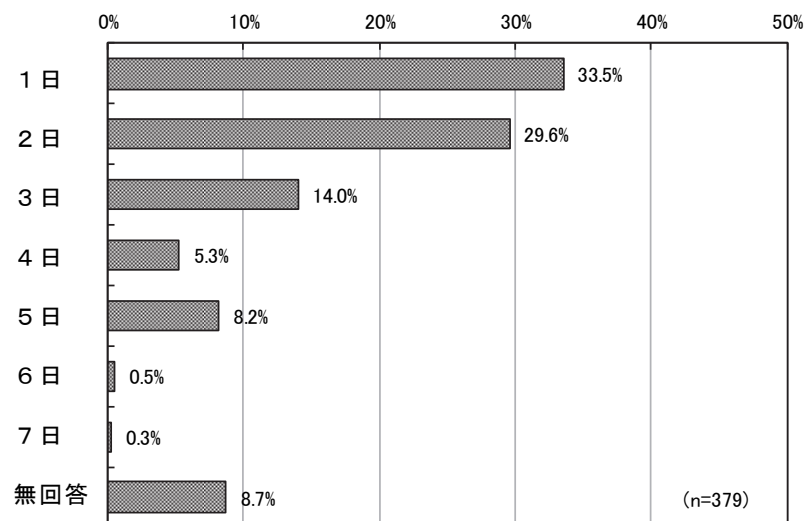
・児童館、厚生文化会館（児童室）、地区区民館（児童開放）

「1日」(33.0%)が最も多く、「2日」(32.0%)、「3日」(15.3%)と続く。平均は2.1日となっている。



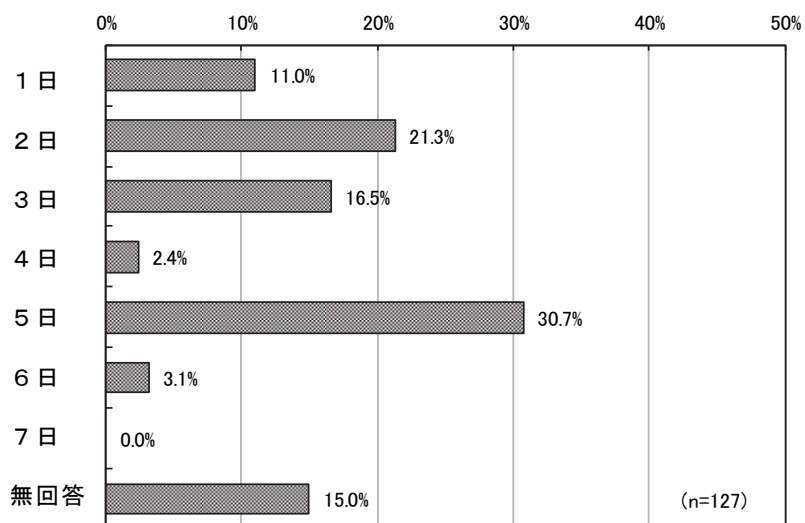
・学校応援団ひろば事業、ねりっこひろば

「1日」(33.5%)が最も多く、「2日」(29.6%)、「3日」(14.0%)と続く。平均は2.2日となっている。



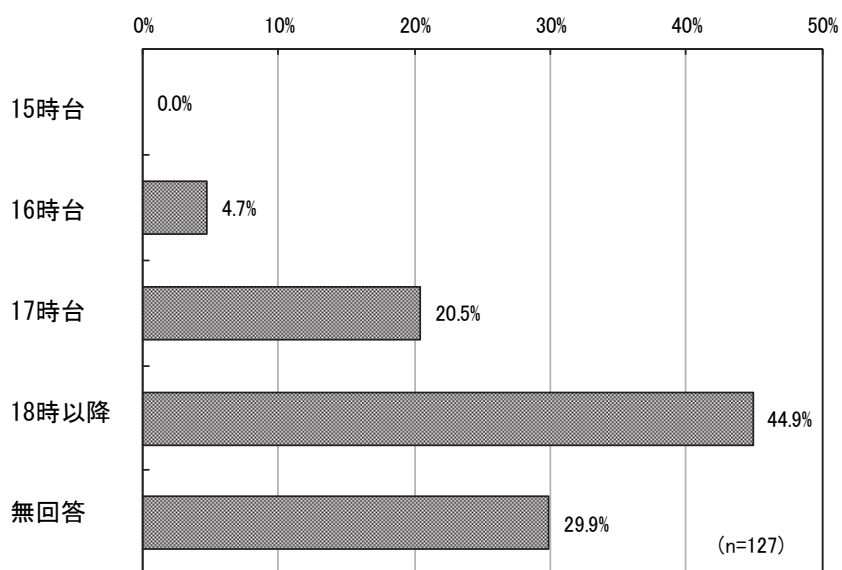
・学童クラブ、ねりっこ学童クラブ

「5日」(30.7%)が最も多く、「2日」(21.3%)、「3日」(16.5%)と続く。平均は3.4日となっている。



【利用希望時間「下校から（ ）時まで」】

「18時以降」(44.9%)が最も多く、「17時台」(20.5%)、「16時台」(4.7%)と続く。平均は17時50分となっている。

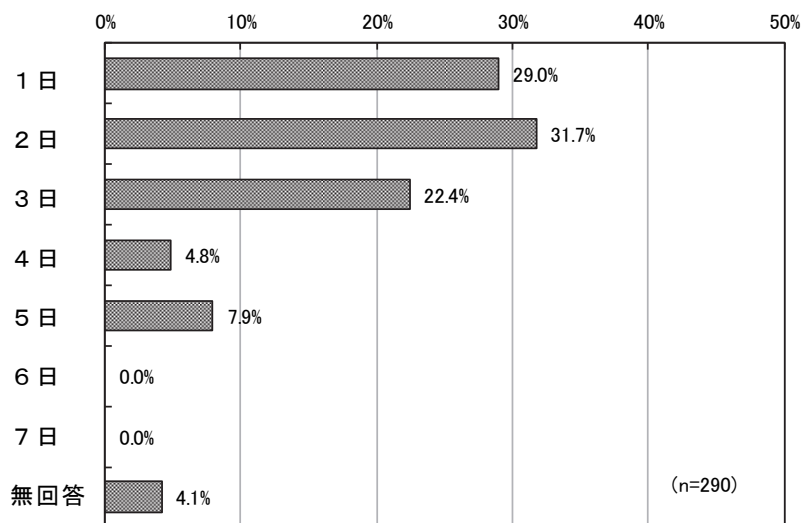


・ファミリーサポート事業

「1日」(2件)が最も多く、「3日」「4日」(それぞれ1件)と続く。

・その他（生涯学習センター、公園など）

「2日」(31.7%)が最も多く、「1日」(29.0%)、「3日」(22.4%)と続く。平均は2.3日となっている。



【学年別 小学校高学年の放課後に過ごさせたい場所の1週当たり平均日数】

すべての学年で「学童クラブ、ねりっこ学童クラブ」が多く、3日以上となっている。

単位：日

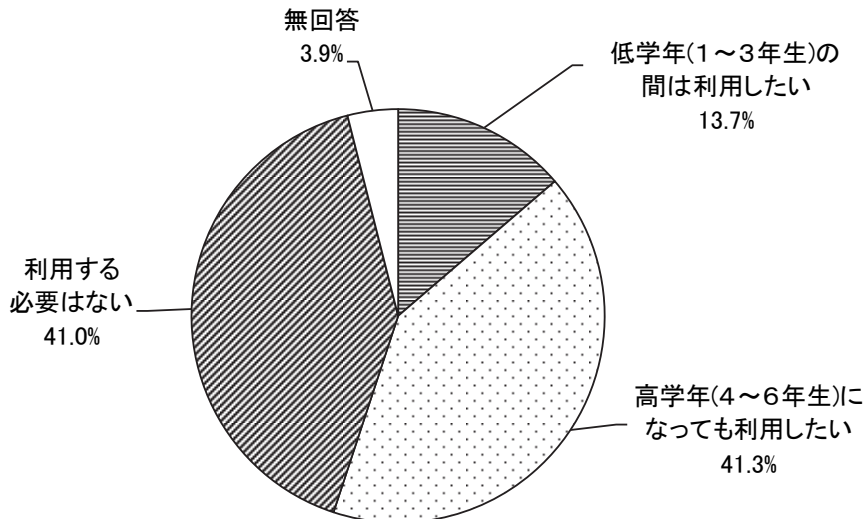
	自宅	祖父母宅 や友人・ 知人宅	習い事 (ピアノ教 室、サッカ ークラブ、 学習塾な ど)	児童館、 厚生文化 会館(児 童室)、地 区区民館 (児童開 放)	学校応援 団ひろば 事業、ね りっこひ ろば	学童クラ ブ、ねり っこ学童 クラブ	ファミリ ーサポ ート事 業	その他 (生涯学 習センタ ー、公園 など)
全体	2.7	1.6	2.8	2.1	2.2	3.4	2.3	2.3
1年	2.4	1.3	2.6	2.2	2.1	3.7	1.0	2.3
2年	2.4	1.3	2.8	2.1	2.4	3.5	0.0	2.1
3年	2.3	1.9	2.9	1.9	2.0	3.1	0.0	1.9
4年	2.8	1.8	2.6	2.1	2.2	3.2	4.0	2.4
5年	2.8	1.5	2.9	2.5	2.1	3.3	0.0	2.3
6年	3.0	1.7	2.9	2.1	2.3	3.1	2.0	2.5

問17 問16の(1)または(2)で、「5. 学校応援団ひろば事業、ねりっこひろば」を選んだ方にうかがいます。

土曜日と夏休みなどの長期休業期間に、ひろば事業を利用したいですか。(それぞれ1つに○)

①土曜日

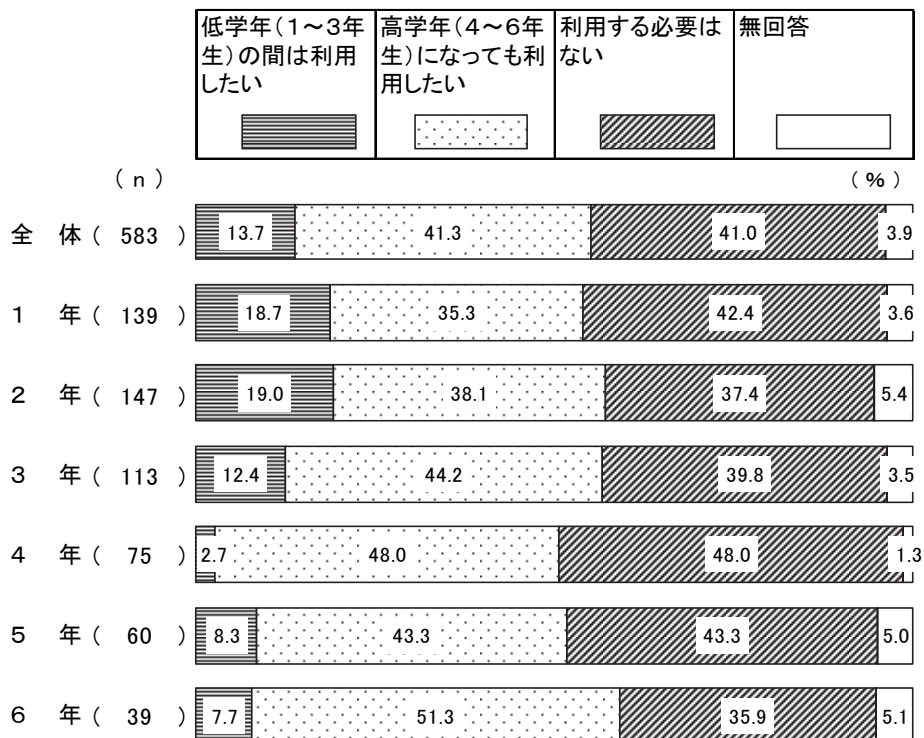
「低学年(1～3年生)の間は利用したい」「高学年(4～6年生)になっても利用したい」を合わせて『利用したい』と回答した人は55.0%となっている。



(n=583)

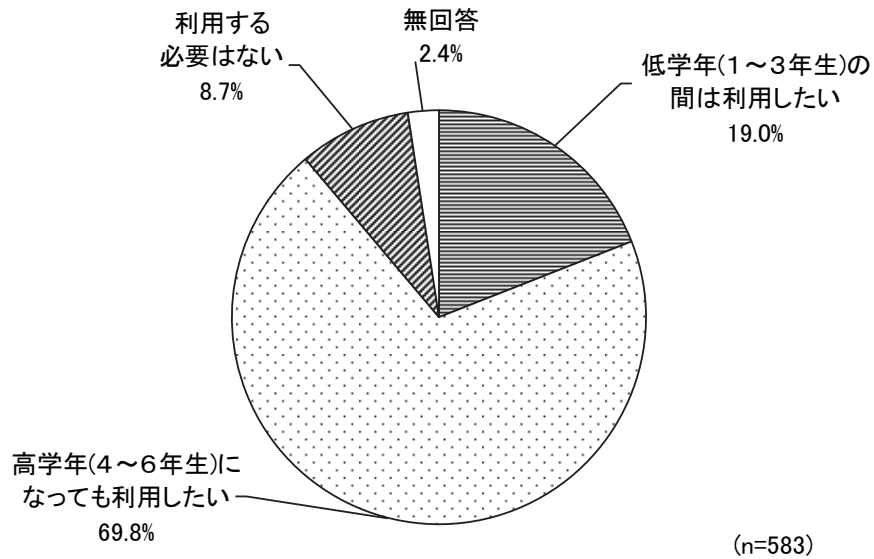
【学年別】

学年が上がるにつれて「高学年(4～6年生)になっても利用したい」が多くなる傾向がみられる。



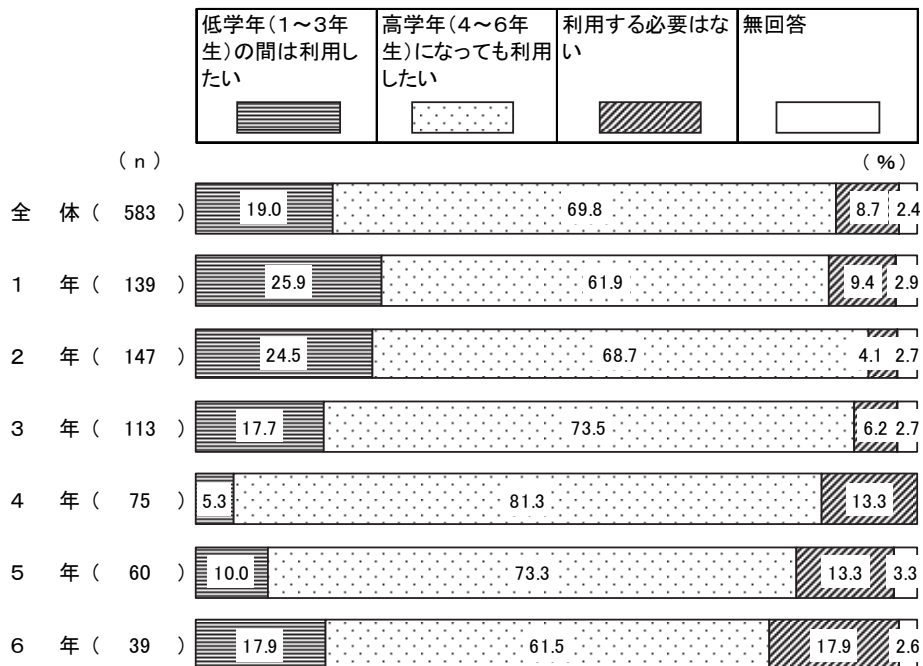
②夏休みなどの長期休業期間

「低学年（1～3年生）の間は利用したい」「高学年（4～6年生）になっても利用したい」を合わせて『利用したい』と回答した人は88.8%となっている。



【学年別】

すべての学年で「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が最も多く、6割以上となっている。



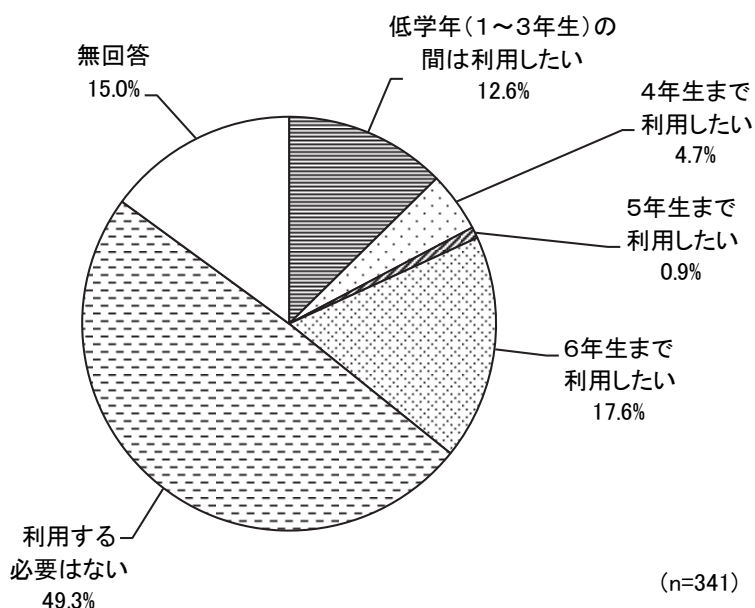
問18 問16の(1)または(2)で、「6. 学童クラブ、ねりっこ学童クラブ」を選んだ方にうかがいます。

土曜日、日曜日・祝日、夏休みなどの長期休業期間に、学童クラブを利用したいですか。(それぞれ1つに○)

また、利用したい時間帯を()内に24時間制でご記入ください(例: 8時~19時)。なお、事業の利用には、原則として月額5,500円の保育料がかかります。

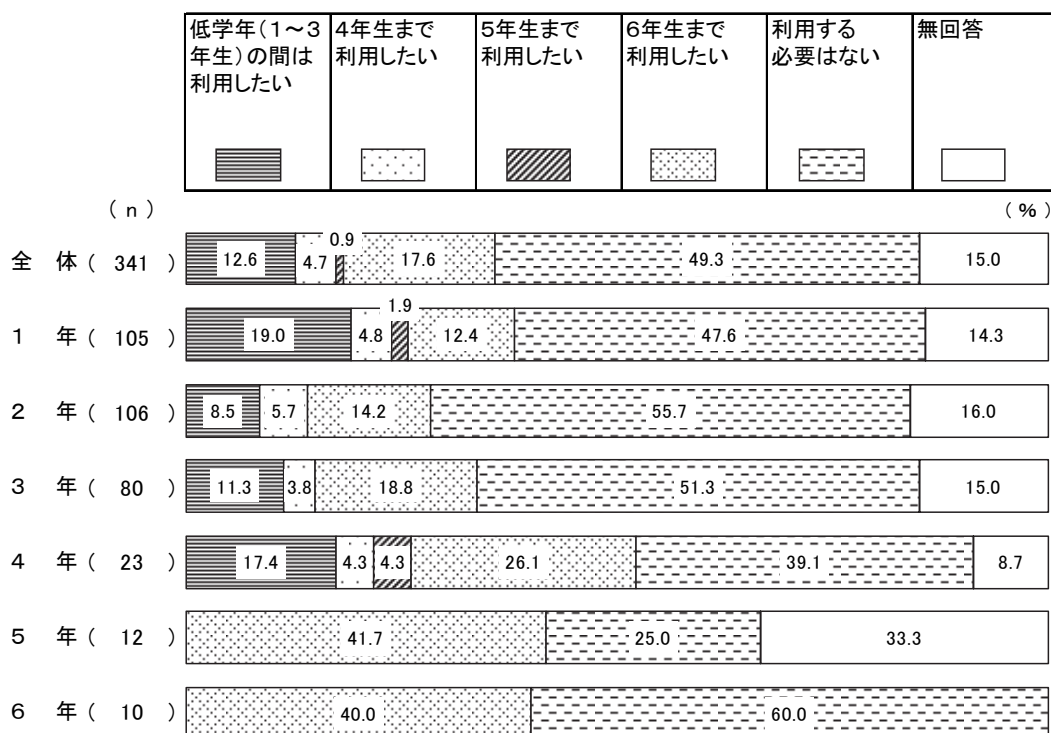
①土曜日

「利用する必要はない」(49.3%)が最も多く、「6年生まで利用したい」(17.6%)、「低学年(1~3年生)の間は利用したい」(12.6%)と続く。



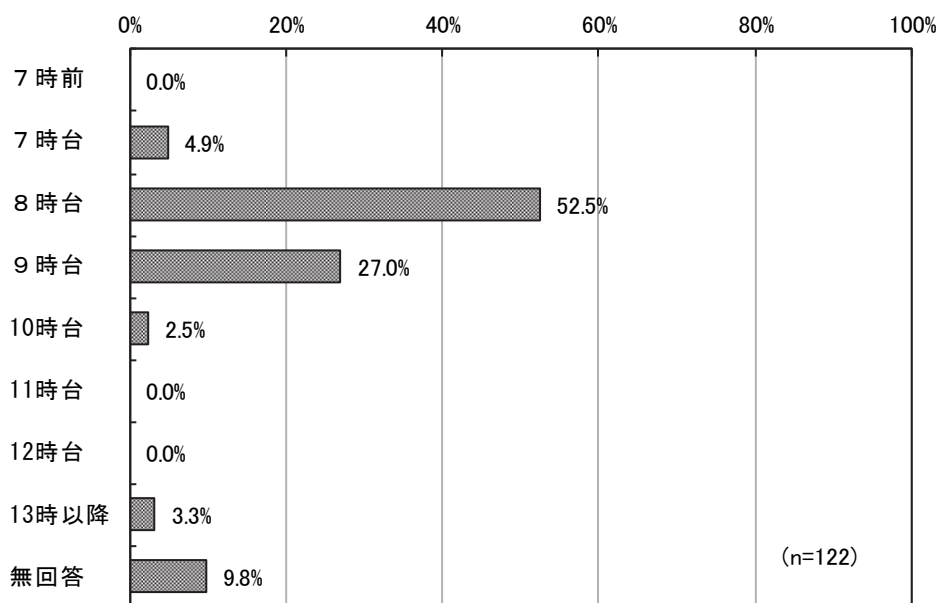
【学年別】

“1年”～“3年”では「利用する必要はない」が4割以上となっている。



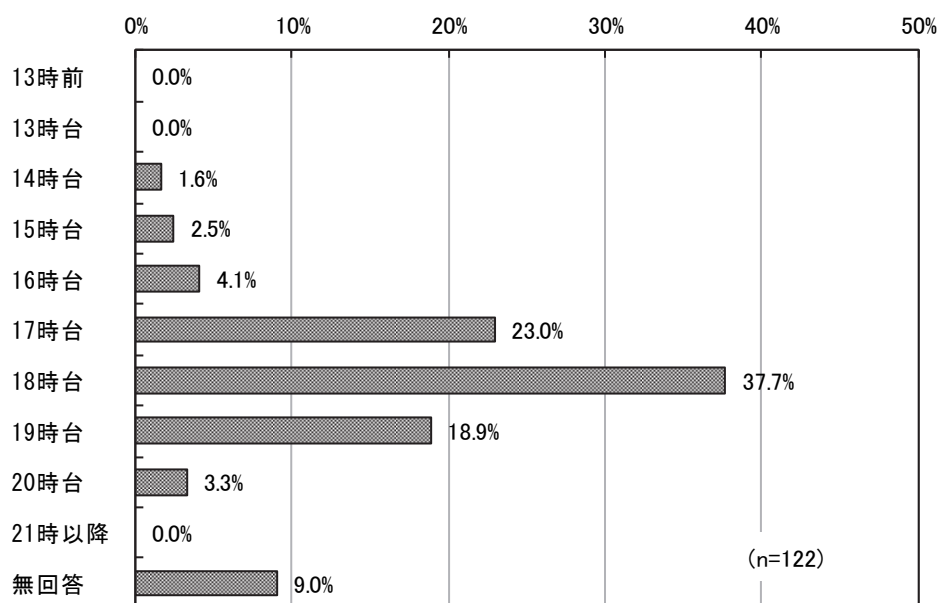
【利用したい時間帯 開始時刻】

「8時台」(52.5%)が最も多く、「9時台」(27.0%)、「7時台」(4.9%)と続く。



【利用したい時間帯 終了時刻】

「18時台」(37.7%)が最も多く、「17時台」(23.0%)、「19時台」(18.9%)と続く。



【学年別 利用したい時間帯の平均開始時刻と平均終了時刻】

平均開始時刻は、「4年」(8時00分)が最も早く、「6年」(9時45分)が最も遅くなっている。

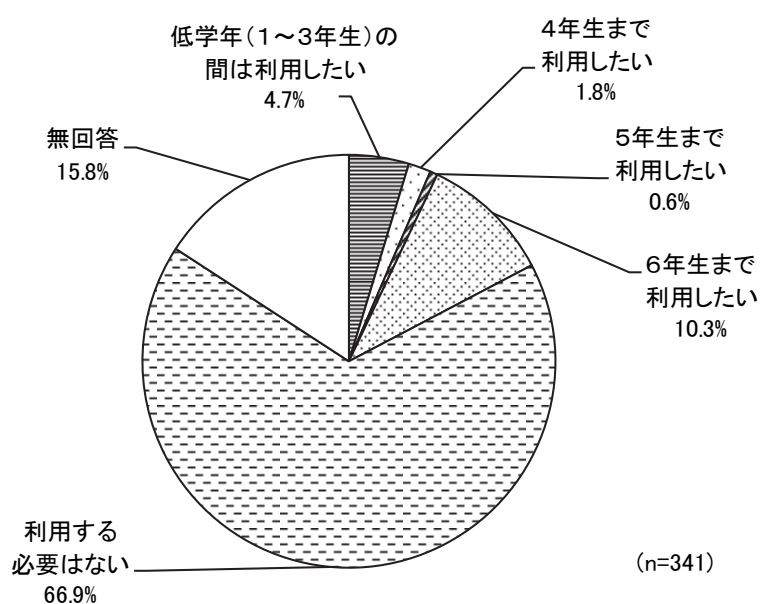
平均終了時刻は、「5年」(17時15分)が最も早く、「2年」(18時04分)が最も遅くなっている。

単位：時間

	全体	1年	2年	3年	4年	5年	6年
平均開始時刻	8時32分	8時21分	8時33分	8時33分	8時00分	9時15分	9時45分
平均終了時刻	17時47分	17時43分	18時04分	17時46分	17時27分	17時15分	18時00分

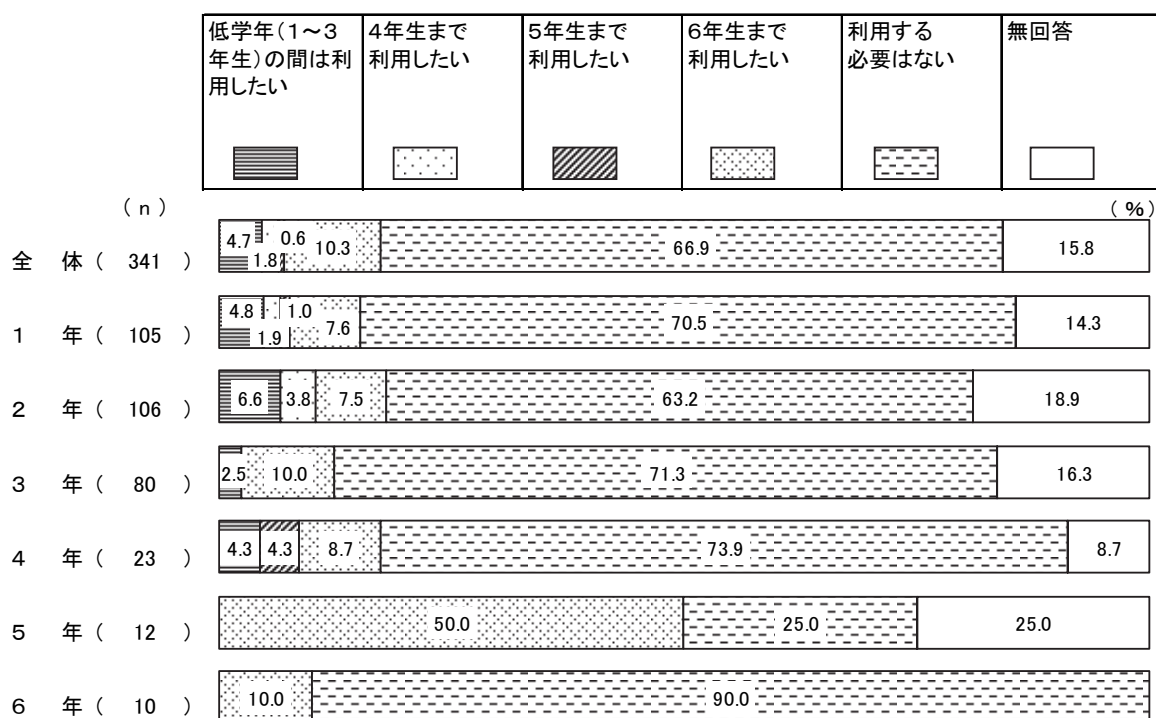
②日曜日・祝日

「利用する必要はない」(66.9%)が最も多く、「6年生まで利用したい」(10.3%)、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」(4.7%)と続く。



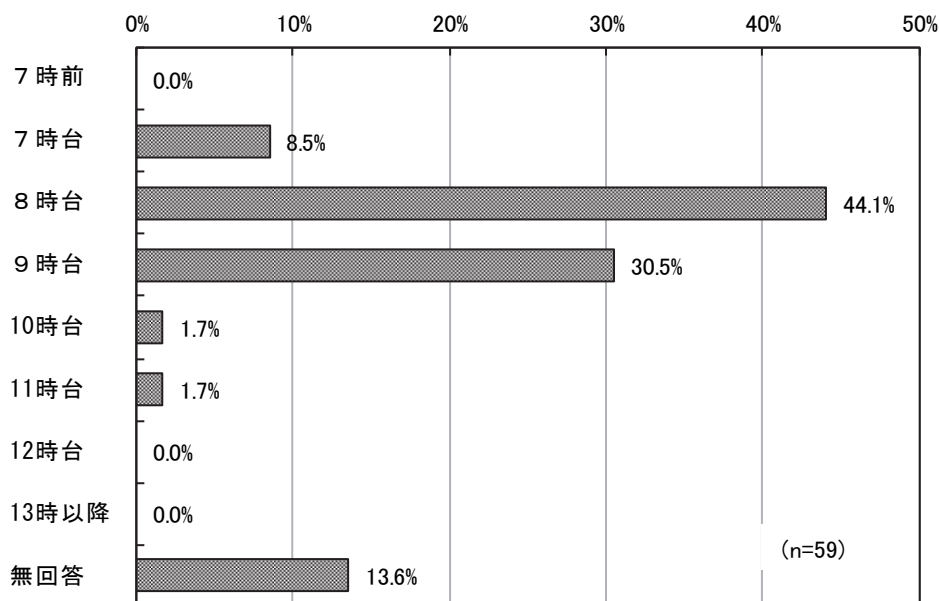
【学年別】

“1年”～“4年”では「利用する必要はない」が6割以上となっている。



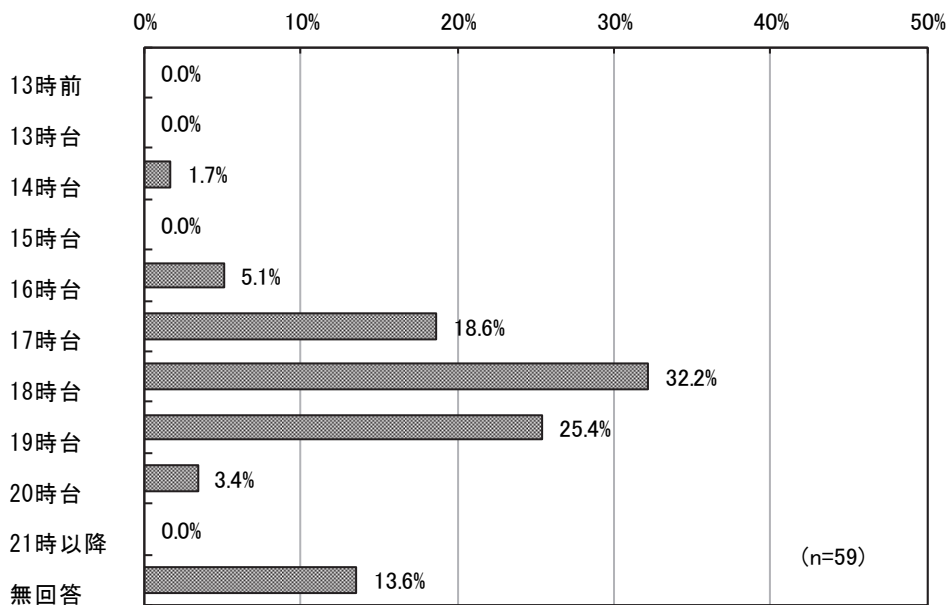
【利用したい時間帯 開始時刻】

「8時台」(44.1%)が最も多く、「9時台」(30.5%)、「7時台」(8.5%)と続く。



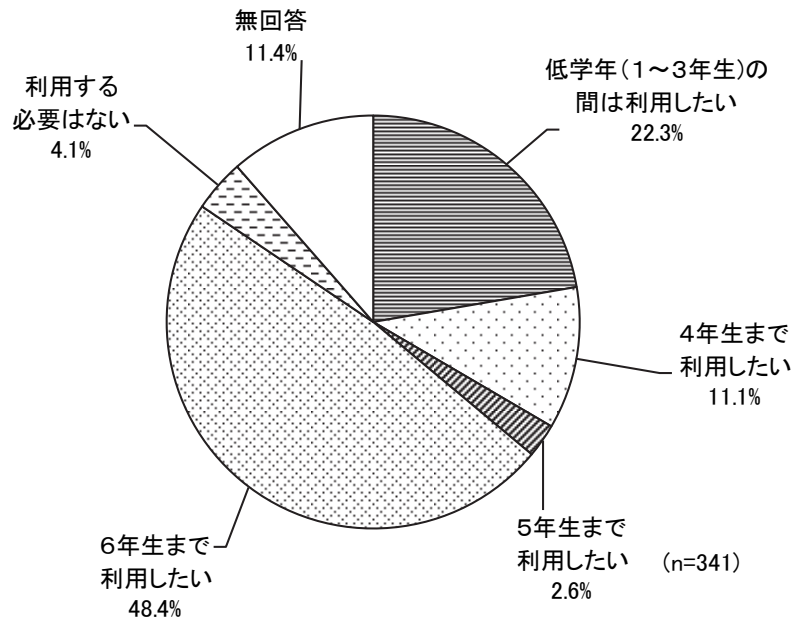
【利用したい時間帯 終了時刻】

「18時台」(32.2%)が最も多く、「19時台」(25.4%)、「17時台」(18.6%)と続く。



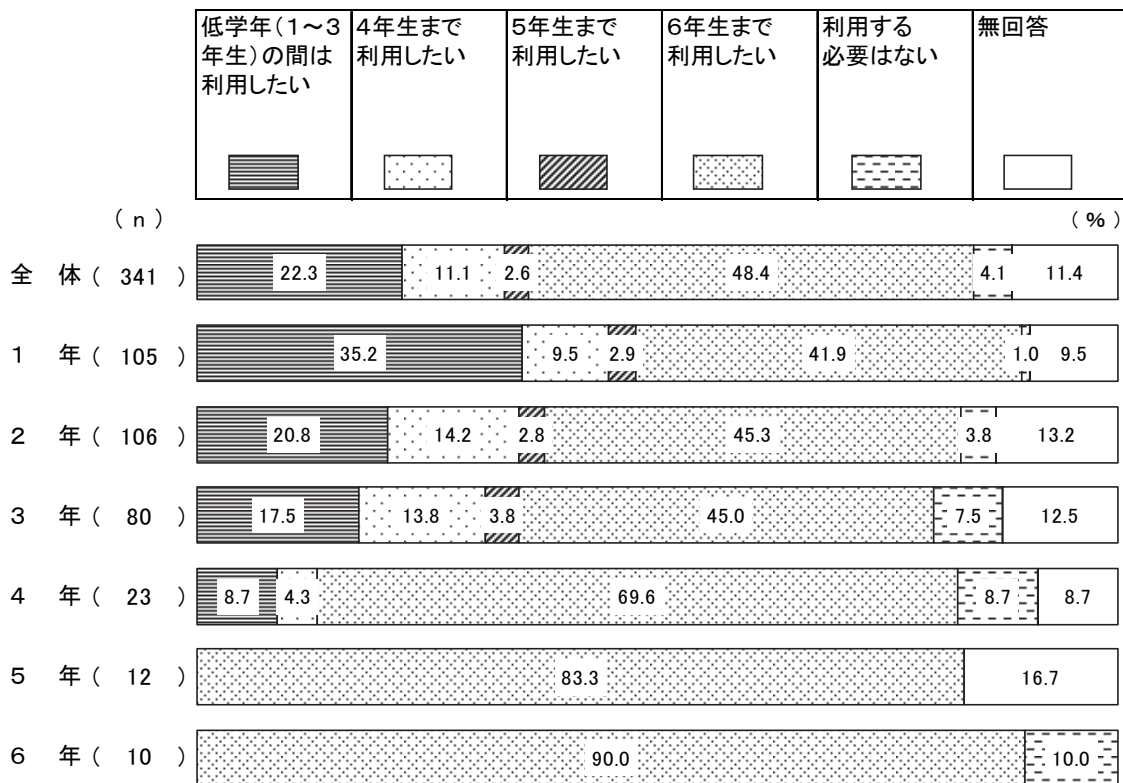
③夏休みなどの長期休業期間

「6年生まで利用したい」(48.4%)が最も多く、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」(22.3%)、「4年生まで利用したい」(11.1%)と続く。



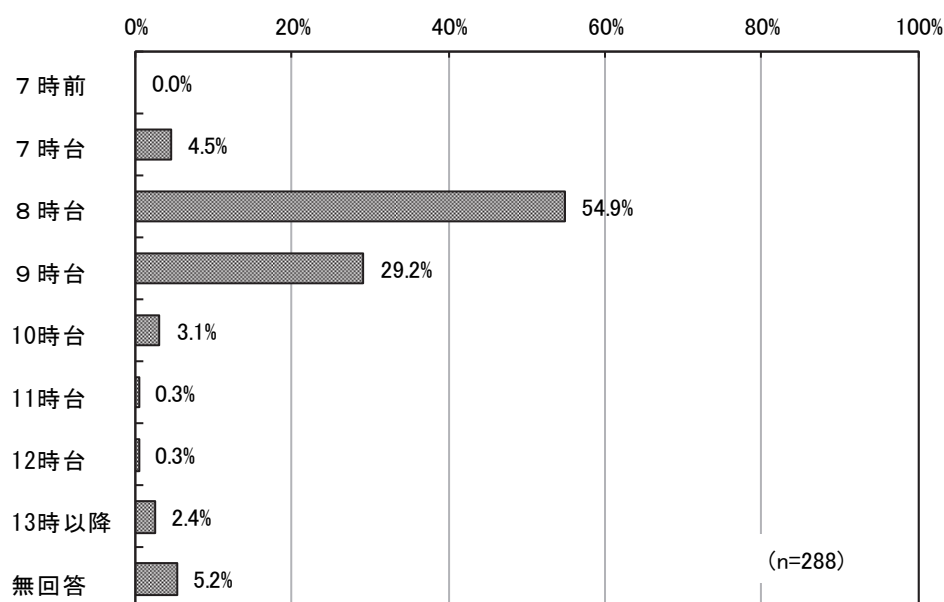
【学年別】

“1年”～“3年”では「低学年(1～3年生)の間は利用したい」が2割弱から3割半ばとなっている。また、学年が上がるにつれて「6年生まで利用したい」が多くなる傾向がみられる。



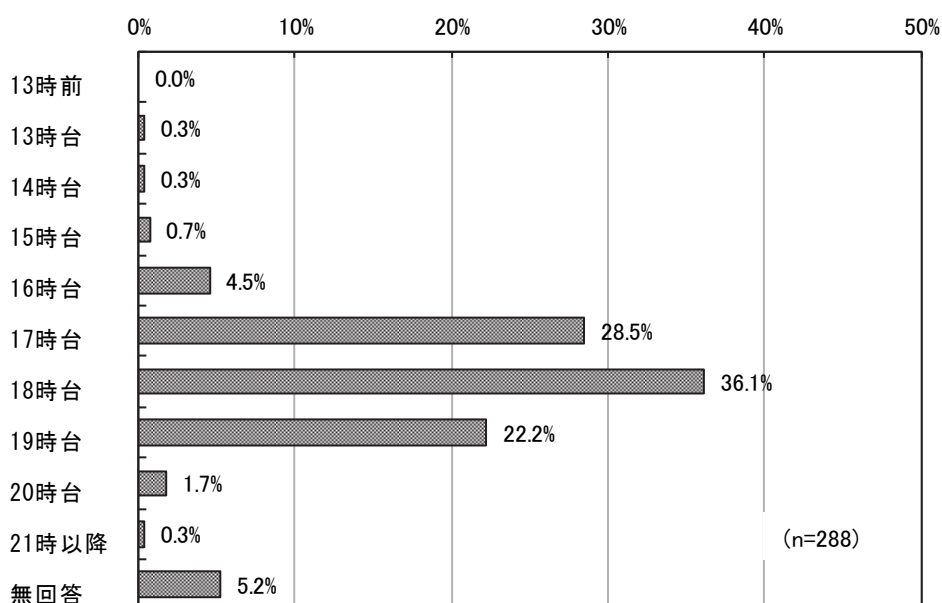
【利用したい時間帯 開始時刻】

「8時台」(54.9%)が最も多く、「9時台」(29.2%)、「7時台」(4.5%)と続く。



【利用したい時間帯 終了時刻】

「18時台」(36.1%)が最も多く、「17時台」(28.5%)、「19時台」(22.2%)と続く。



【学年別 利用したい時間帯の平均開始時刻と平均終了時刻】

平均開始時刻は、「1年」(8時22分)が最も早く、「6年」(9時07分)が最も遅くなっている。

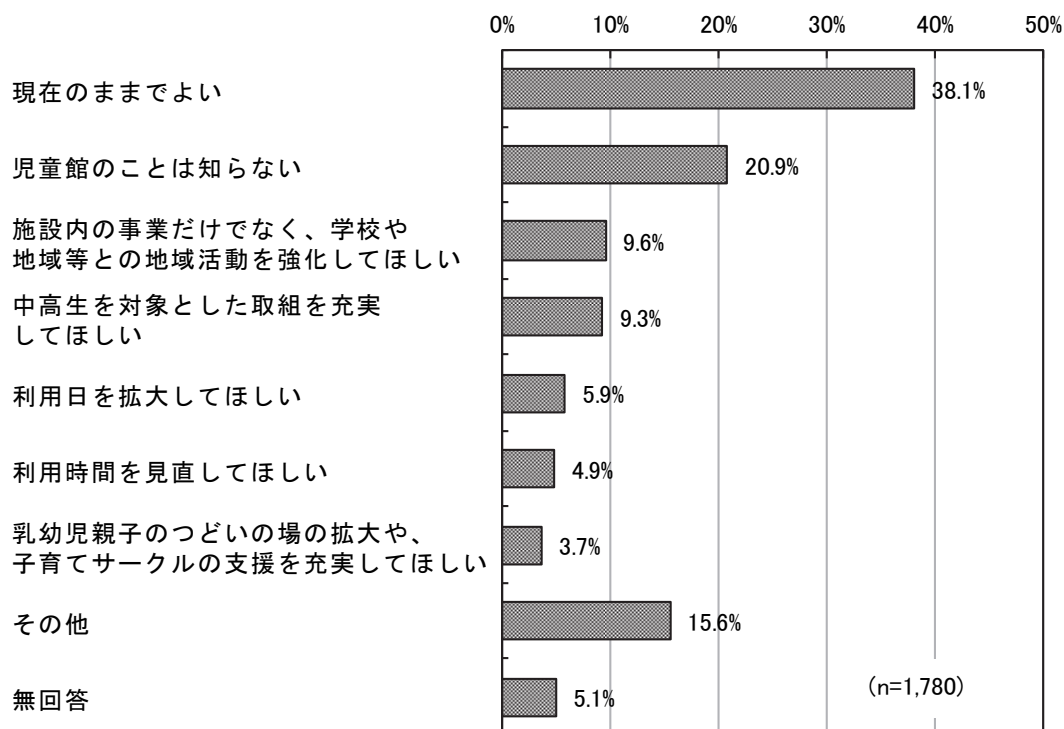
平均終了時刻は、「6年」(17時30分)が最も早く、「2年」(17時55分)が最も遅くなっている。

単位：時間

	全体	1年	2年	3年	4年	5年	6年
平均開始時刻	8時30分	8時22分	8時33分	8時27分	8時44分	8時46分	9時07分
平均終了時刻	17時50分	17時53分	17時55分	17時46分	17時34分	17時46分	17時30分

問 19 児童館に対して、あなたはどのように感じていますか（3つまで〇）

「現在のままでよい」（38.1%）が最も多く、「児童館のことは知らない」（20.9%）、「施設内の事業だけでなく、学校や地域等との地域活動を強化してほしい」（9.6%）と続く。



【学年別】

すべての学年で「現在のままでよい」が最も多く、3割以上となっている。また、学年が上がるにつれて「中高生を対象とした取組を充実してほしい」が多くなる傾向がみられる。

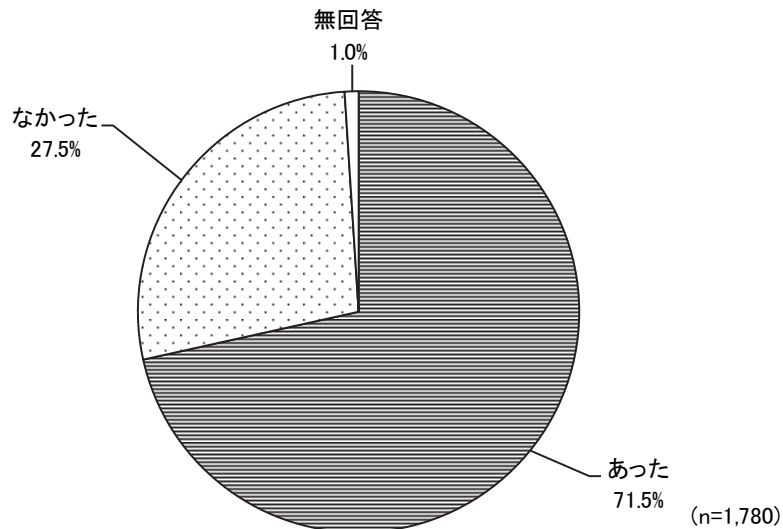
単位：%

	合 計	利用日を拡大してほしい	利用時間を見直してほしい	乳幼児親子のつどいの場の拡大や、子育てサークルの支援を充実してほしい	中高生を対象とした取組を充実してほしい	施設内の事業だけでなく、学校や地域等との地域活動を強化してほしい	現在のままでよい	児童館のことは知らない	その他	無回答
全体	1,780	5.9	4.9	3.7	9.3	9.6	38.1	20.9	15.6	5.1
1年	271	5.9	7.4	4.8	6.6	10.3	34.3	24.4	15.5	4.4
2年	302	8.3	5.0	4.0	6.0	9.9	36.4	24.5	15.6	4.6
3年	292	6.5	3.4	3.4	8.6	8.6	40.1	22.3	14.0	5.1
4年	280	7.1	5.4	4.6	8.6	11.1	40.7	16.4	19.6	3.2
5年	298	4.0	4.0	3.0	12.1	11.1	41.9	17.8	12.8	5.7
6年	291	4.5	4.5	3.1	14.4	7.6	37.8	18.2	15.8	5.5

5. 病気の際の対応について

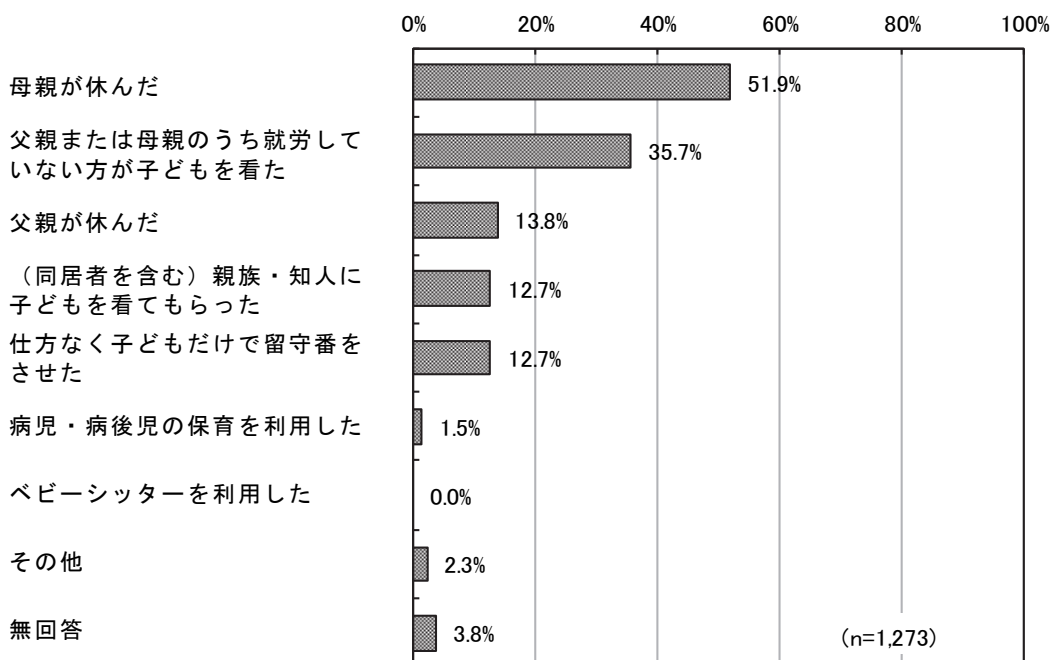
問 20 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことはありますか。(1つに○)

「あった」(71.5%)、「なかった」(27.5%)となっている。



問 21 問 20 で「1. あった」を選んだ方にうかがいます。
この1年間に行った対処方法としてあてはまる番号すべてに○をつけ、日数を()内にご記入ください(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください)。

「母親が休んだ」(51.9%)が最も多く、「父親または母親のうち就労していない方が子どもを看た」(35.7%)、「父親が休んだ」(13.8%)と続く。



【学年別】

すべての学年で「母親が休んだ」が最も多く、5割前後となっている。また、学年が上がるにつれて「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」が多くなる傾向がみられる。

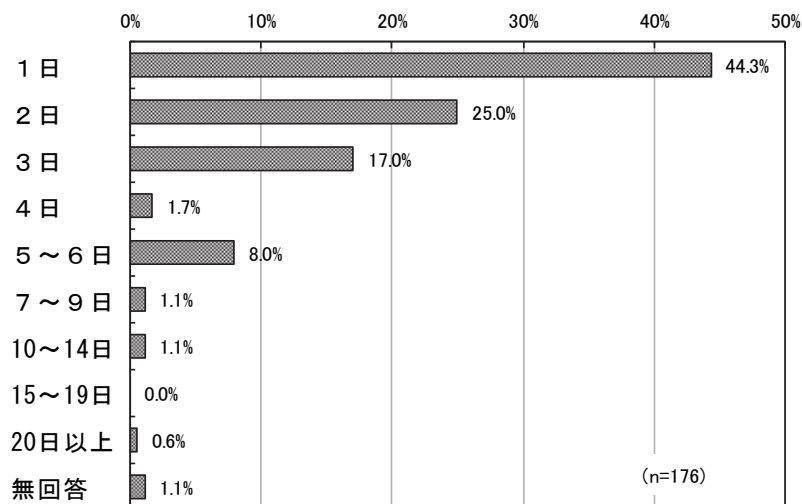
単位：%

	合計	父親が休んだ	母親が休んだ	父親または母親のうち就労していない方が子どもを見た	(同居者を含む)親族・知人に子どもを看てもらった	病児・病後児の保育を利用した	ベビーシッターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
全体	1,273	13.8	51.9	35.7	12.7	1.5	—	12.7	2.3	3.8
1年	178	19.1	49.4	42.1	15.2	4.5	—	4.5	2.2	1.7
2年	238	21.8	56.7	35.7	15.5	2.1	—	8.0	0.8	3.8
3年	222	11.7	50.9	38.7	11.3	0.5	—	11.7	0.9	5.0
4年	188	11.7	54.8	34.6	12.8	1.6	—	14.9	2.7	2.1
5年	212	9.9	49.1	31.6	13.7	0.9	—	18.9	2.8	4.2
6年	202	9.9	51.0	31.7	7.9	—	—	19.3	4.5	4.5

○ 1年間の対処日数

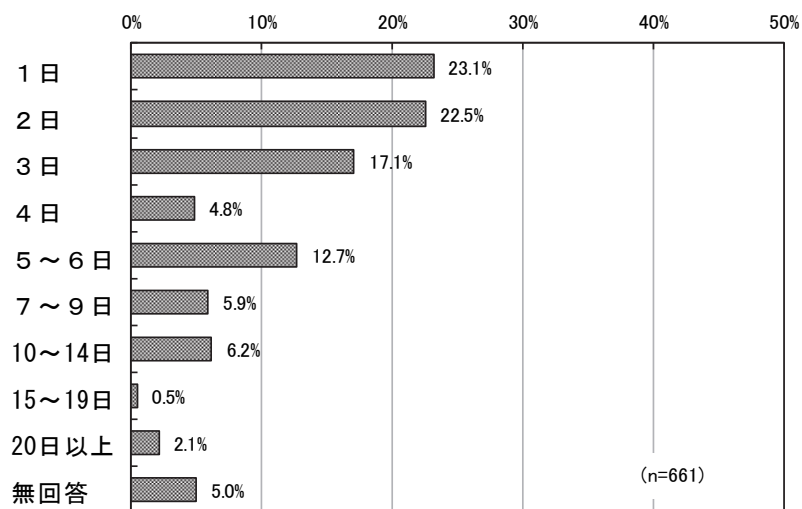
・ 父親が休んだ

「1日」(44.3%)が最も多く、「2日」(25.0%)、「3日」(17.0%)と続く。



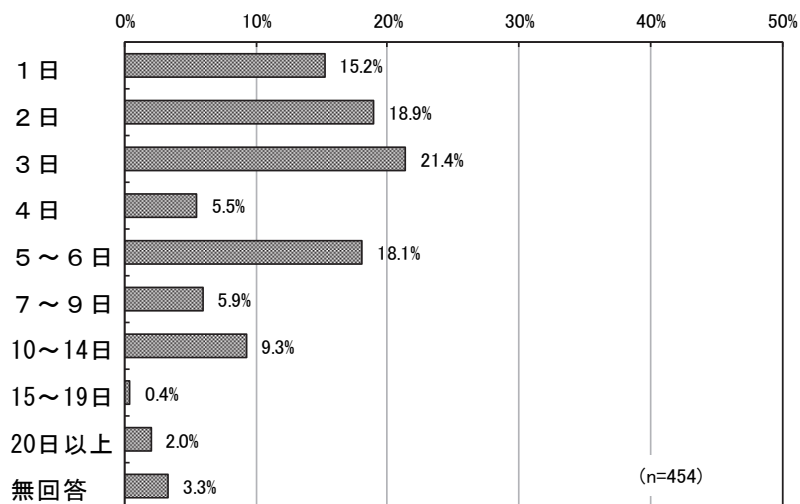
・ 母親が休んだ

「1日」(23.1%)が最も多く、「2日」(22.5%)、「3日」(17.1%)と続く。



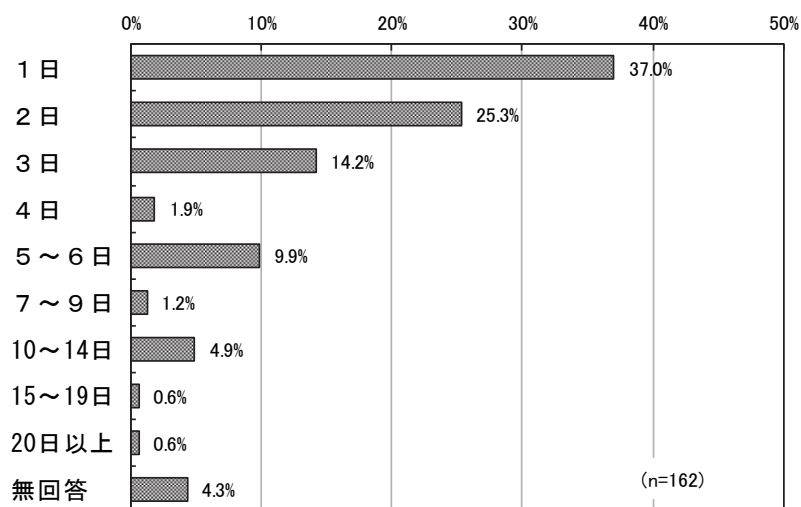
・ 父親または母親のうち就労していない方が子どもを見た

「3日」(21.4%)が最も多く、「2日」(18.9%)、「5～6日」(18.1%)と続く。



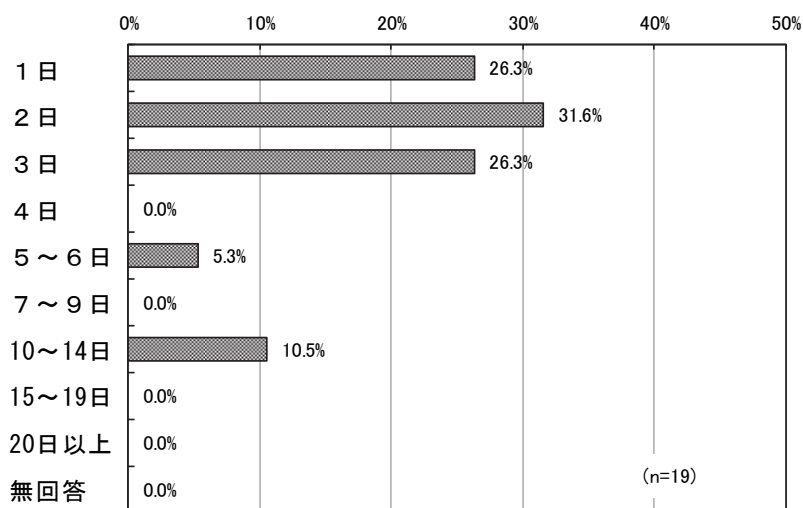
・ (同居者を含む) 親族・知人に子どもを看てもらった

「1日」(37.0%)が最も多く、「2日」(25.3%)、「3日」(14.2%)と続く。



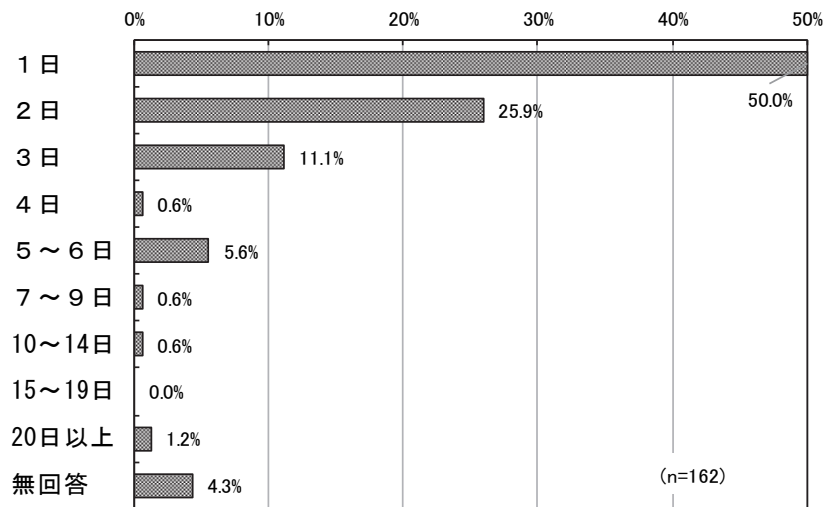
・ 病児・病後児の保育を利用した

「2日」(31.6%)が最も多く、「1日」「3日」(それぞれ26.3%)と続く。



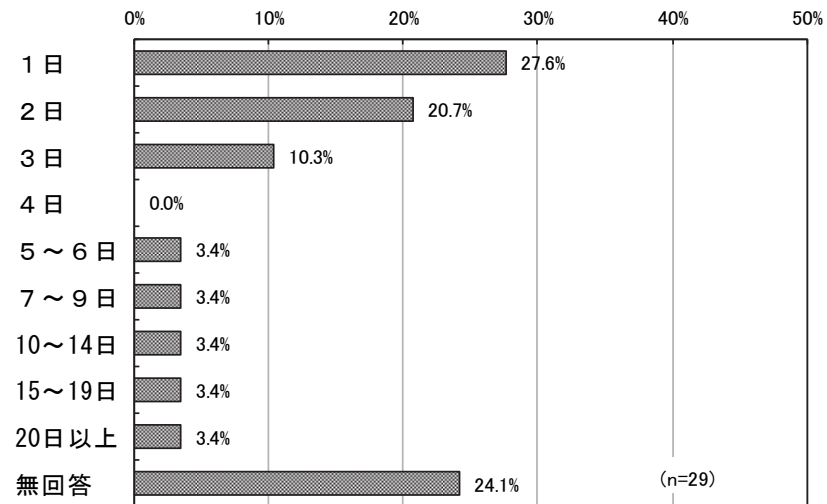
・仕方なく子どもだけで留守番をさせた

「1日」(50.0%)が最も多く、「2日」(25.9%)、「3日」(11.1%)と続く。



・その他

「1日」(27.6%)が最も多く、「2日」(20.7%)、「3日」(10.3%)と続く。



【全体・学年別 病気の際の1年間の平均対処日数】

“1年”は「(同居者を含む)親族・知人に子どもを看てもらった」が5.7日となっており、他の学年と比べて多くなっている。“2年”は「病児・病後児の保育を利用した」が5.0日となっており、他の学年と比べて多くなっている。

また、“3年”～“5年”は「父親または母親のうち就労していない方が子どもを看た」が最も多く、“6年”は「その他」が最も多くなっている。

なお、「その他」では「在宅で仕事をした」が多くなっている。

単位：日

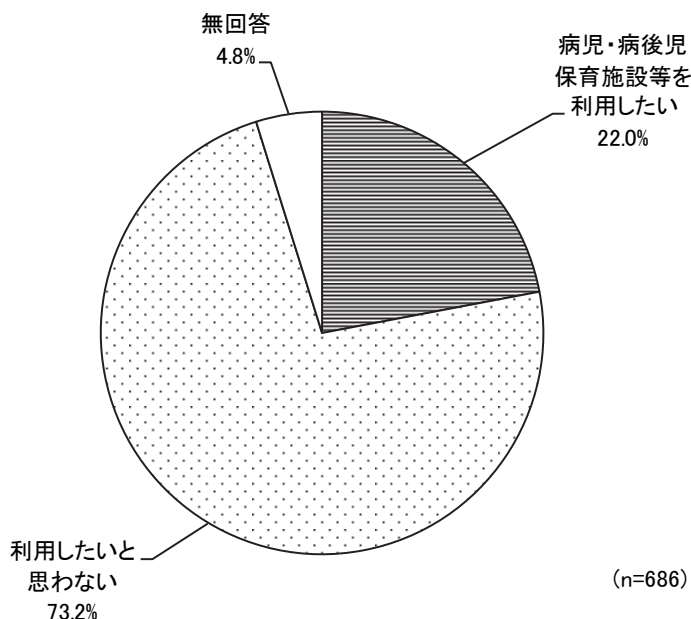
	父親が休んだ	母親が休んだ	父親または母親のうち就労していない方が子どもを看た	(同居者を含む)親族・知人に子どもを看てもらった	病児・病後児の保育を利用した	ベビーシッターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他
全体	2.3	3.8	4.5	3.1	3.1	—	2.2	7.1
1年	2.8	4.3	4.1	5.7	2.5	—	2.0	5.0
2年	2.2	4.3	5.3	2.8	5.0	—	1.3	3.0
3年	2.0	3.9	5.0	2.5	1.0	—	2.0	1.5
4年	2.4	3.9	4.2	2.7	2.7	—	1.7	1.7
5年	1.8	3.0	4.6	2.5	2.0	—	2.5	4.6
6年	2.4	3.4	3.7	1.8	—	—	2.8	16.8

問22 問21で「1.」または「2.」を選んだ方にうかがいます。

その際、「仕事を休まないで済むように、病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思いましたか。あてはまる番号を1つ選び、【望ましいと思う事業形態】・【利用したいと思わない理由】のいずれかから、あてはまるものすべてに○をつけてください。「1.」を選んだ方は、日数も（ ）内にご記入ください。

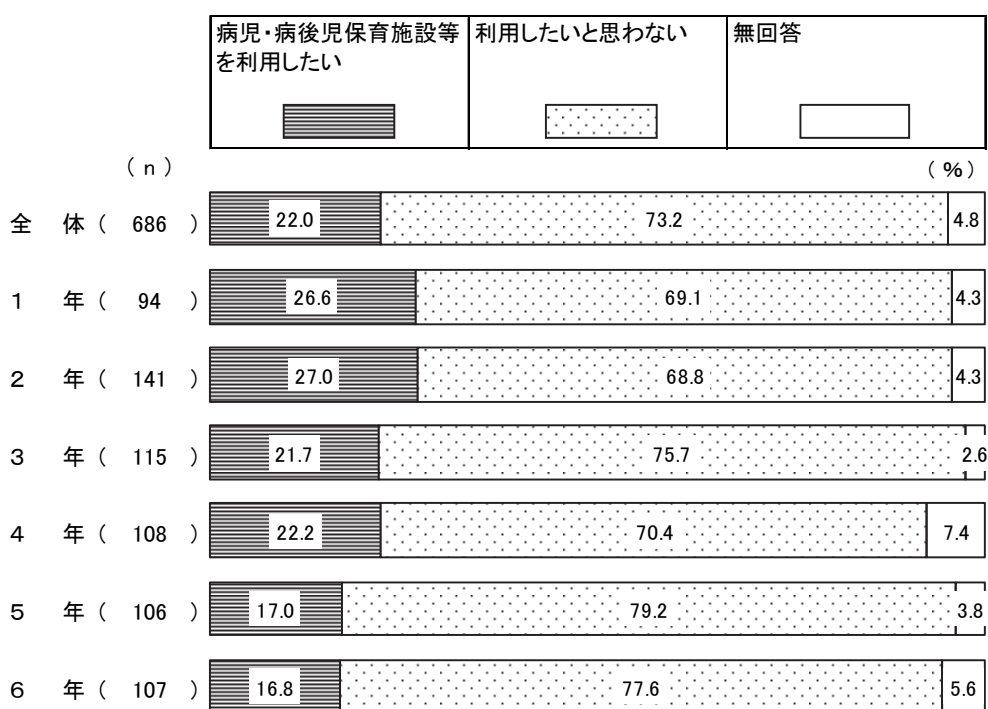
なお、事業の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

「利用したいと思わない」(73.2%)、「病児・病後児保育施設等を利用したい」(22.0%)となっている。



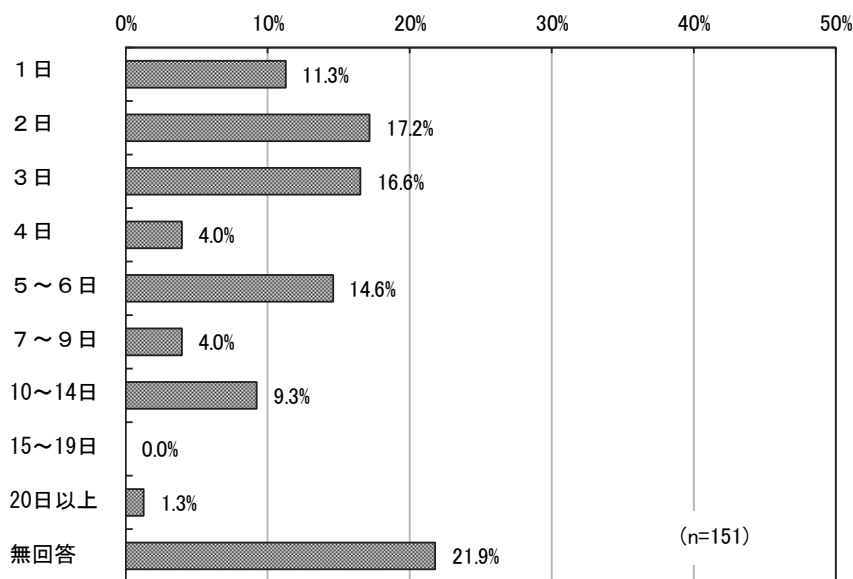
【学年別】

すべての学年で「利用したいと思わない」が最も多くなっている。



○ 1年間の利用希望日数

「2日」(17.2%)が最も多く、「3日」(16.6%)、「5～6日」(14.6%)と続く。



【全体・学年別 1年間の平均利用希望日数】

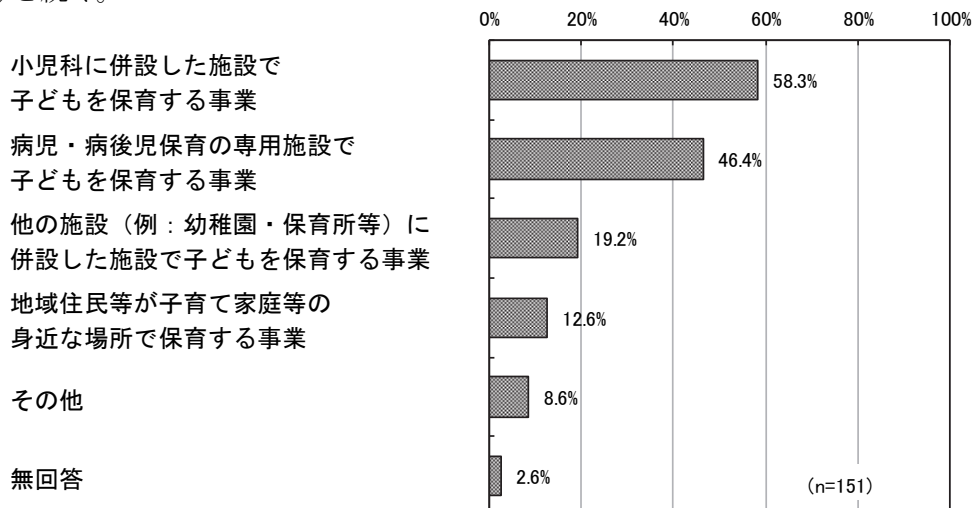
「1年」(5.8日)が最も多く、「4年」(2.8日)が最も少なくなっている。平均は4.3日となっている。

単位：日

	全体	1年	2年	3年	4年	5年	6年
平均	4.3	5.8	4.0	4.8	2.8	4.1	4.8

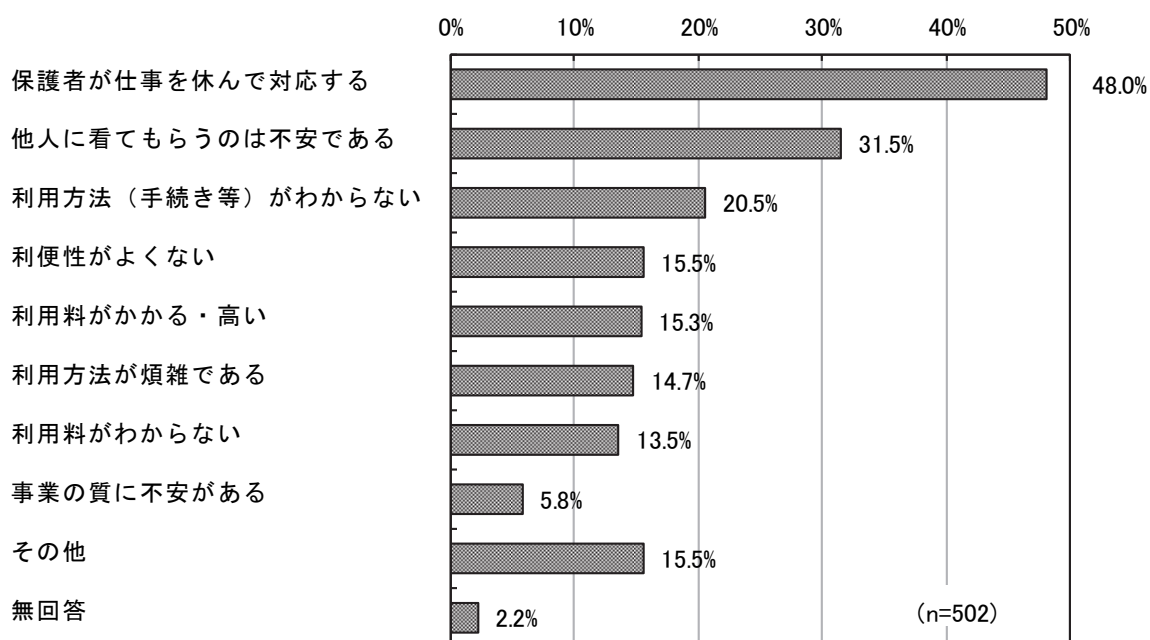
○望ましい事業形態

「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」(58.3%)が最も多く、「病児・病後児保育の専用施設で子どもを保育する事業」(46.4%)、「他の施設(例：幼稚園・保育所等)に併設した施設で子どもを保育する事業」(19.2%)、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業」(12.6%)と続く。



○利用したいと思わない理由

「保護者が仕事を休んで対応する」(48.0%)が最も多く、「他人に看てもらうのは不安である」(31.5%)、「利用方法(手続き等)がわからない」(20.5%)と続く。



【学年別】

すべての学年で「保護者が仕事を休んで対応する」が最も多くなっている。

単位：%

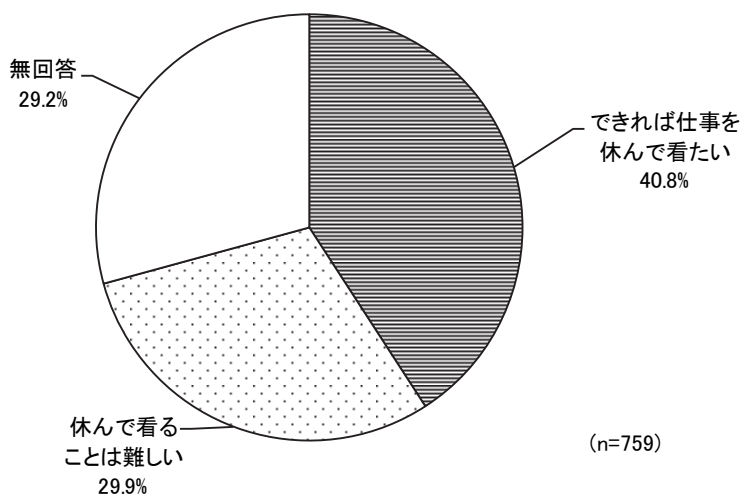
	合計	他人に看 てもら うのは不安 である	事業の質 に不安が ある	利便性が よくない	利用料が かかる・ 高い	利用料が わから ない	保護者が 仕事を休 んで対応 する	利用方法 (手続き 等)がわか らない	利用方法 が煩雑で ある	その他	無回答
全体	502	31.5	5.8	15.5	15.3	13.5	48.0	20.5	14.7	15.5	2.2
1年	65	30.8	6.2	23.1	10.8	13.8	41.5	27.7	20.0	18.5	1.5
2年	97	41.2	5.2	14.4	17.5	12.4	45.4	19.6	17.5	13.4	1.0
3年	87	32.2	6.9	14.9	20.7	14.9	42.5	17.2	17.2	13.8	2.3
4年	76	30.3	5.3	15.8	11.8	13.2	52.6	22.4	7.9	18.4	—
5年	84	29.8	3.6	13.1	17.9	13.1	56.0	13.1	14.3	16.7	3.6
6年	83	21.7	6.0	13.3	9.6	15.7	50.6	24.1	12.0	15.7	2.4

問 23 問 21 で「3.」～「8.」のいずれかを選んだ方にうかがいます。

その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思いましたか。(1つに○)

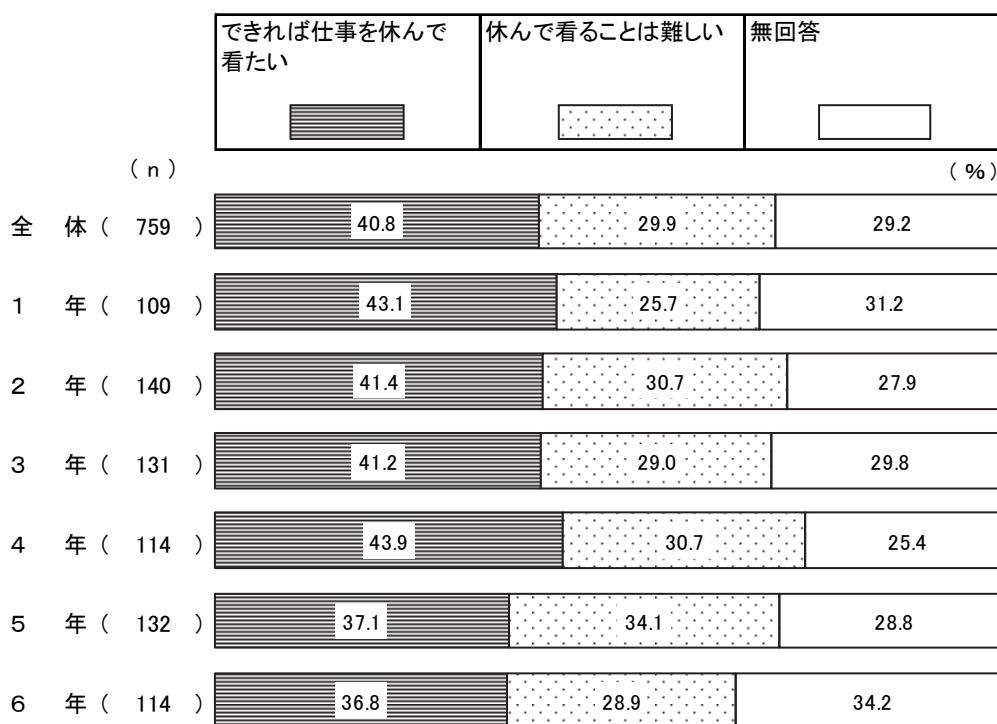
また、「1.」を選んだ方は、問 21 で答えた日数のうち、仕事を休んで見たかった日数をご記入ください。「2.」を選んだ方は、【休んで看ることが難しい理由】のうち、あてはまるものすべてに○をつけてください。

「できれば仕事を休んで看たい」(40.8%)、「休んで看ことは難しい」(29.9%)となっている。



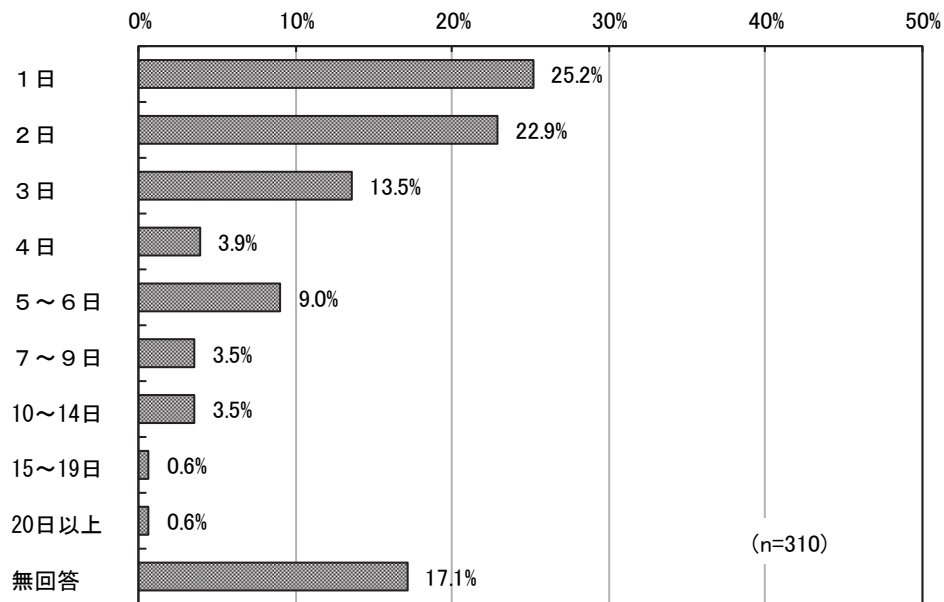
【学年別】

すべての学年で「できれば仕事を休んで看たい」が最も多くなっている。



○仕事を休んで見たかった日数

「1日」(25.2%)が最も多く、「2日」(22.9%)、「3日」(13.5%)と続く。平均は3.5日となっている。



【全体・学年別 仕事を休んで見たかった平均日数】

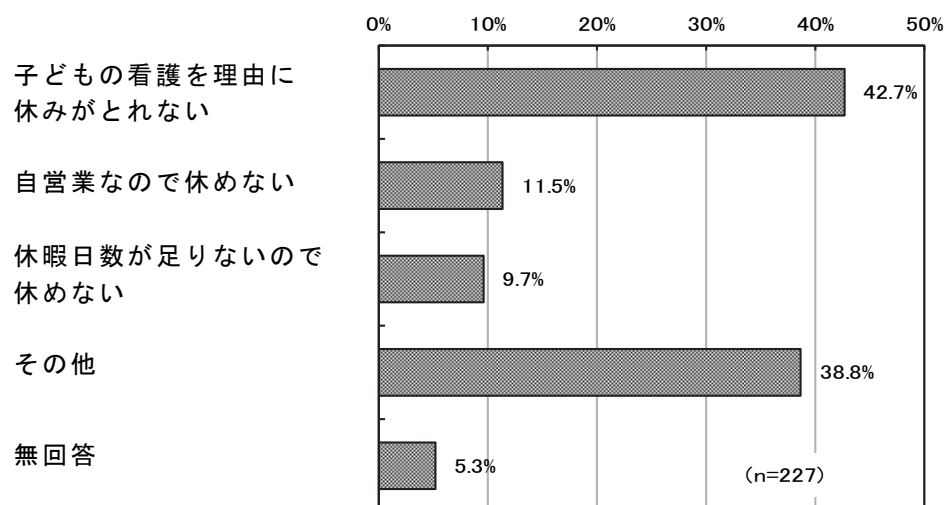
「6年」(4.3日)が最も多く、「5年」(2.4日)が最も少なくなっている。

単位：日

	全体	1年	2年	3年	4年	5年	6年
平均	3.5	3.6	3.5	3.9	2.8	2.4	4.3

○休んで看ることが難しい理由

「子どもの看護を理由に休みがとれない」(42.7%)が最も多く、「自営業なので休めない」(11.5%)、「休假日数が足りないので休めない」(9.7%)となっている。



【学年別】

すべての学年で「子どもの看護を理由に休みがとれない」が最も多くなっている。

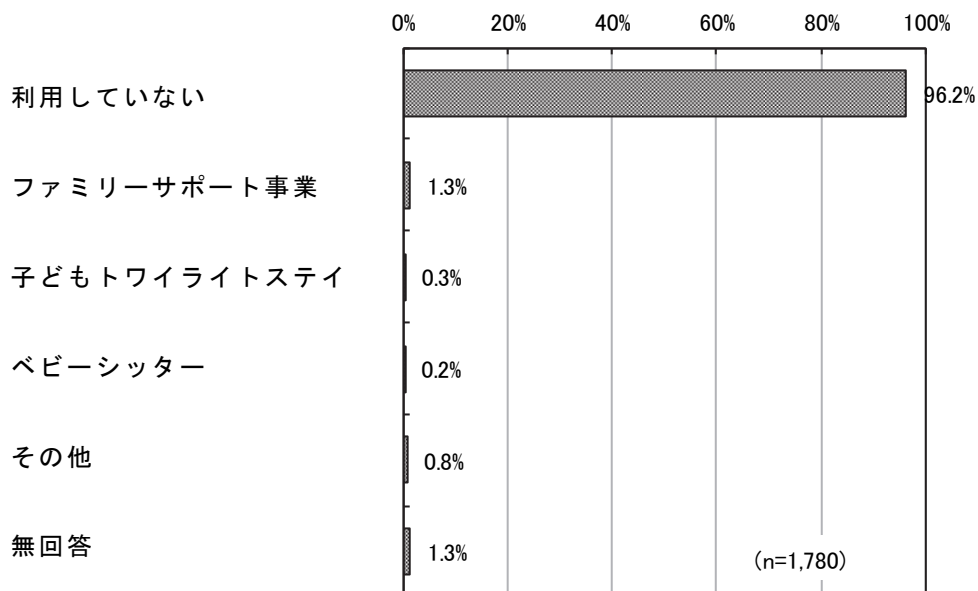
単位：%

	合 計	子どもの看護 を理由に休み がとれない	自営業なので 休めない	休暇日数が足 りないので休 めない	その他	無回答
全体	227	42.7	11.5	9.7	38.8	5.3
1年	28	46.4	10.7	21.4	25.0	7.1
2年	43	48.8	2.3	9.3	39.5	7.0
3年	38	39.5	15.8	10.5	36.8	2.6
4年	35	42.9	8.6	5.7	40.0	5.7
5年	45	37.8	17.8	8.9	42.2	4.4
6年	33	45.5	12.1	6.1	45.5	—

6. 不定期に利用したり、宿泊を伴って利用する事業について

問 24 日中の定期的な保育（学童クラブ等）や病気のため以外に、あて名のお子さんが保護者の私用・通院・不定期の就労等の目的で、不定期に利用している事業はありますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、この1年間のおおよその利用日数も（ ）内にご記入ください。

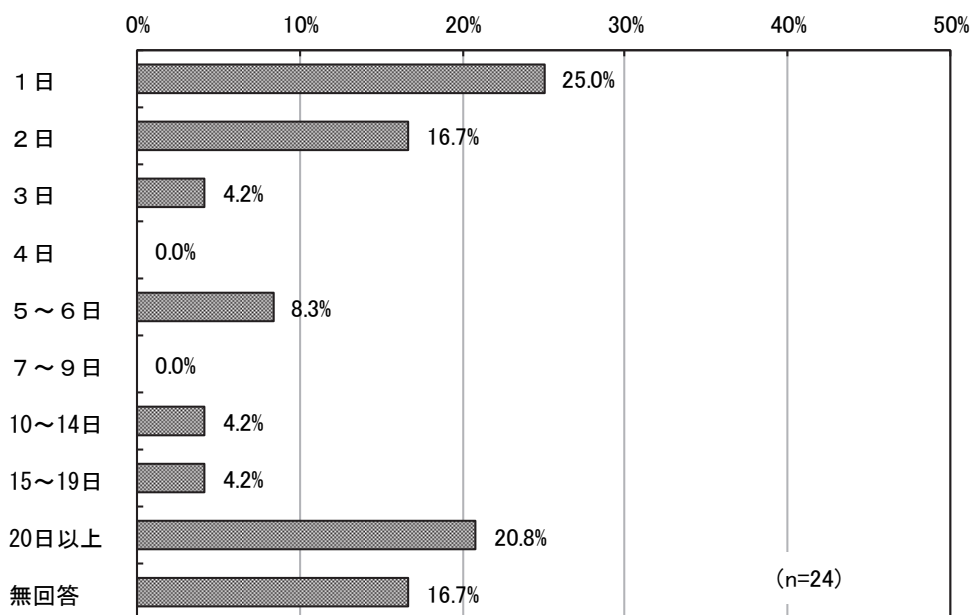
「利用していない」（96.2%）が最も多くなっている。



○ 1年間の利用日数

・ファミリーサポート事業

「1日」（25.0%）が最も多く、「20日以上」（20.8%）、「2日」（16.7%）と続く。平均は10.2日となっている。



・子どもトワイライトステイ

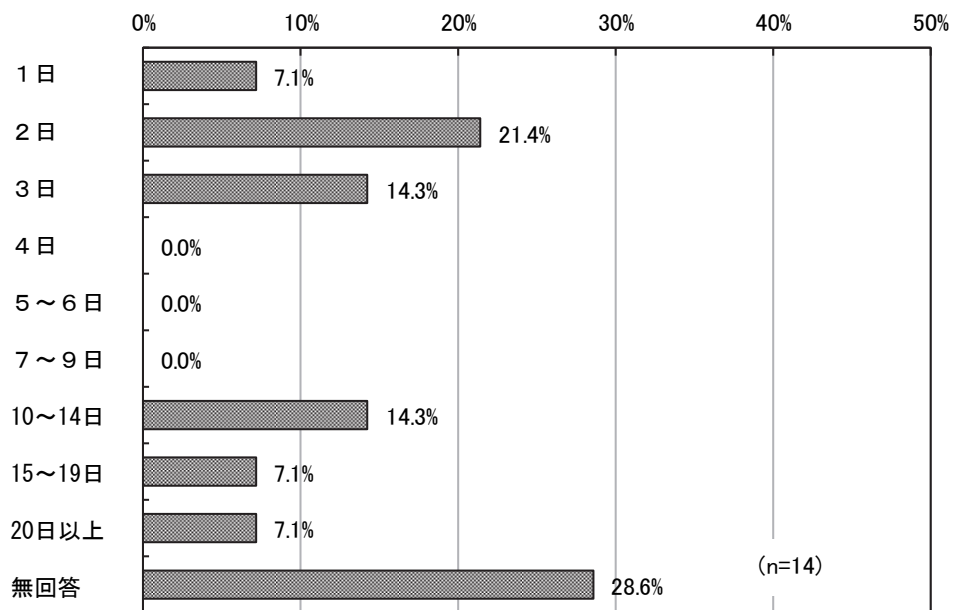
「3日」(3件)が最も多く、「2日」(1件)と続く。

・ベビーシッター

「1日」(2件)が最も多く、「20日以上」(1件)と続く。

・その他

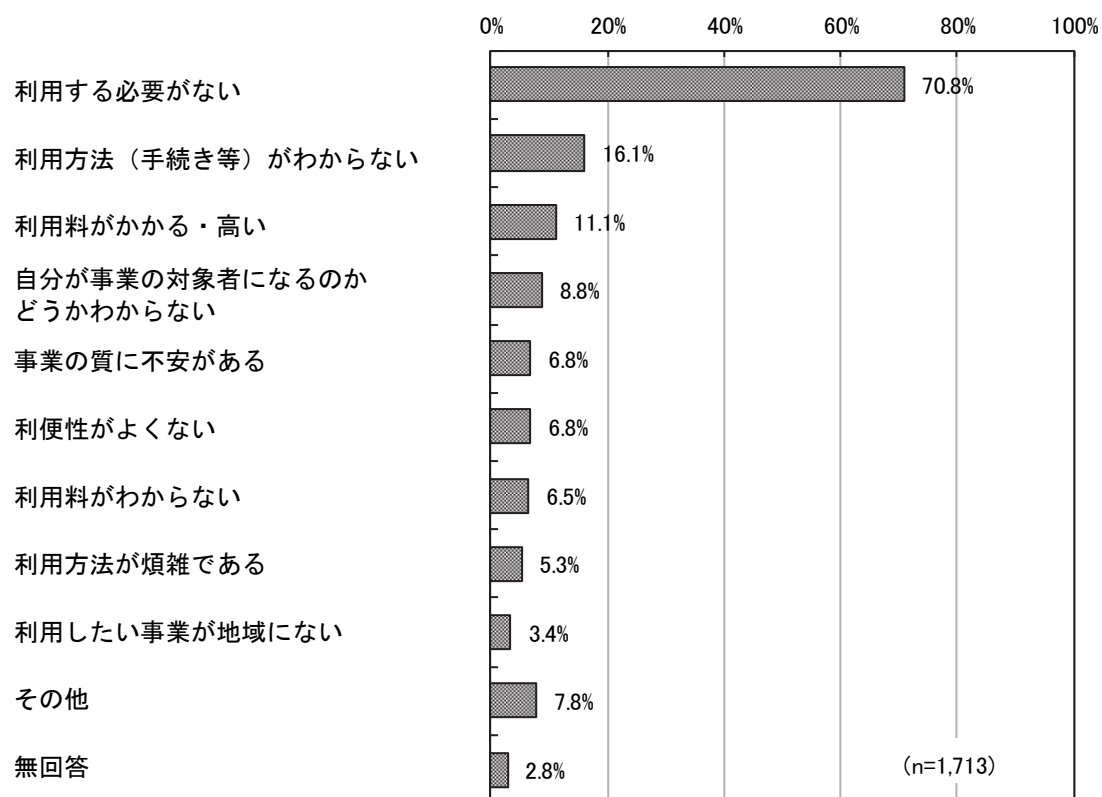
「2日」(21.4%)が最も多く、「3日」「10~14日」(それぞれ14.3%)と続く。平均は7.1日となっている。



問 25 問 24 で「5. 利用していない」を選んだ方にうかがいます。

利用していない理由は何ですか。(いくつでも○)

「利用する必要がない」(70.8%)が最も多く、「利用方法(手続き等)がわからない」(16.1%)、「利用料がかかる・高い」(11.1%)と続く。



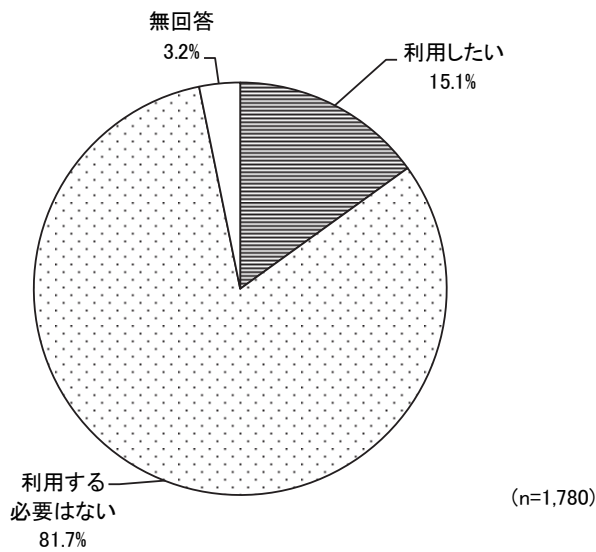
問 26 あて名のお子さんについて、保護者の私用・通院・不定期の就労等の目的で、問 24 の事業を利用したいですか。利用希望の有無について、いずれかの番号に○をつけてください。

また、利用したい場合は、年間で利用したい日数を（ ）内にご記入ください（利用したい日数の合計と、内訳の日数をご記入ください。）。なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります※。

※ファミリーサポート事業：平日 1 時間 800 円（土・日曜、祝日、年末年始 1 時間 900 円）

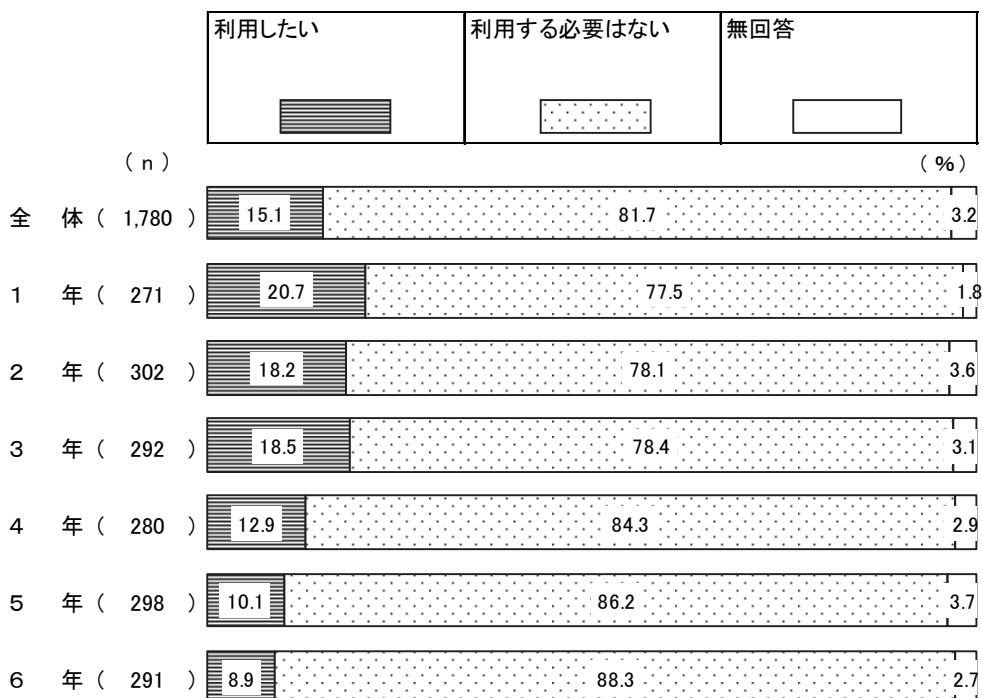
子どもトワイライトステイ：1 回 2,000 円

「利用する必要はない」（81.7%）、「利用したい」（15.1%）となっている。



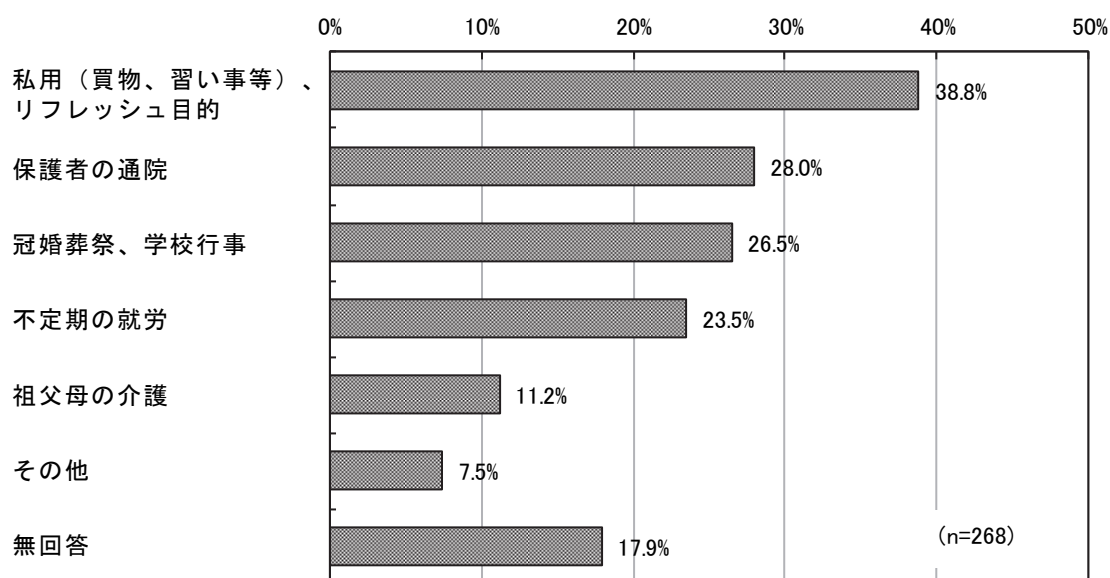
【学年別】

すべての学年で「利用する必要はない」が最も多く、学年が上がるにつれて多くなる傾向がみられる。



○利用したい理由

「私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的」（38.8%）が最も多く、「保護者の通院」（28.0%）、「冠婚葬祭、学校行事」（26.5%）と続く。



【学年別】

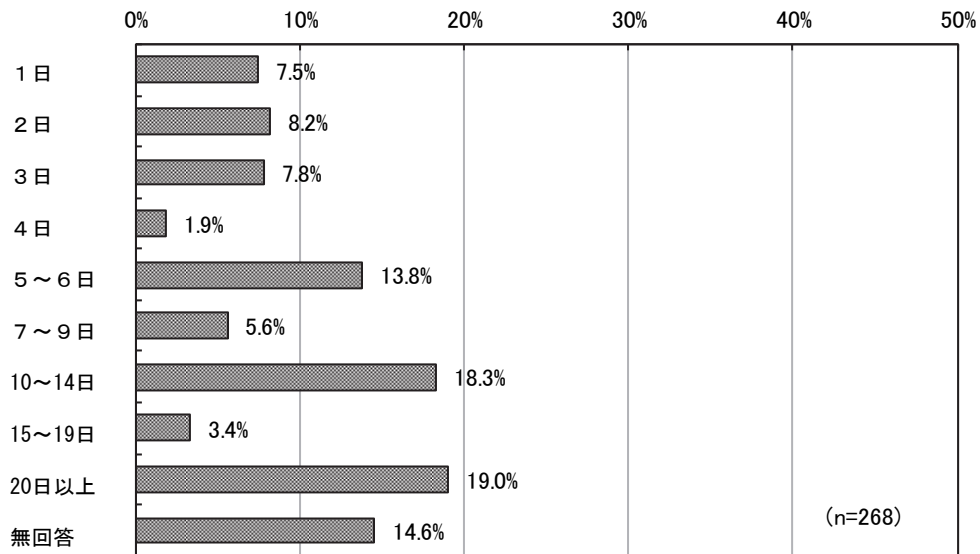
“4年”を除いて「私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的」が最も多く、“4年”は「保護者の通院」（30.6%）が最も多くなっている。“6年”では「保護者の通院」も多くなっている。

単位：%

	合計	私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的	冠婚葬祭、学校行事	保護者の通院	祖父母の介護	不定期の就労	その他	無回答
全体	268	38.8	26.5	28.0	11.2	23.5	7.5	17.9
1年	56	37.5	33.9	30.4	12.5	32.1	10.7	10.7
2年	55	34.5	30.9	25.5	1.8	20.0	7.3	21.8
3年	54	46.3	20.4	25.9	14.8	18.5	3.7	20.4
4年	36	27.8	13.9	30.6	11.1	16.7	5.6	19.4
5年	30	46.7	26.7	23.3	13.3	26.7	—	13.3
6年	26	34.6	30.8	34.6	19.2	23.1	15.4	19.2

○ 1年間の利用希望日数

「20日以上」(19.0%)が最も多く、「10～14日」(18.3%)、「5～6日」(13.8%)と続く。



【全体・学年別 1年間の平均利用希望日数】

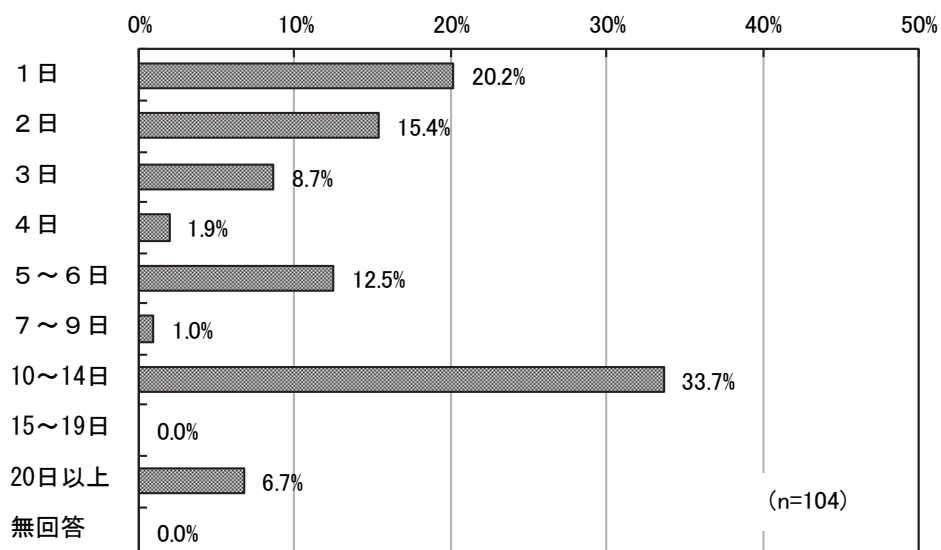
「6年」(23.6日)が最も多く、「4年」(11.9日)が最も少なくなっている。平均は17.0日となっている。

単位：日

	全体	1年	2年	3年	4年	5年	6年
平均	17.0	15.2	15.8	18.7	11.9	14.3	23.6

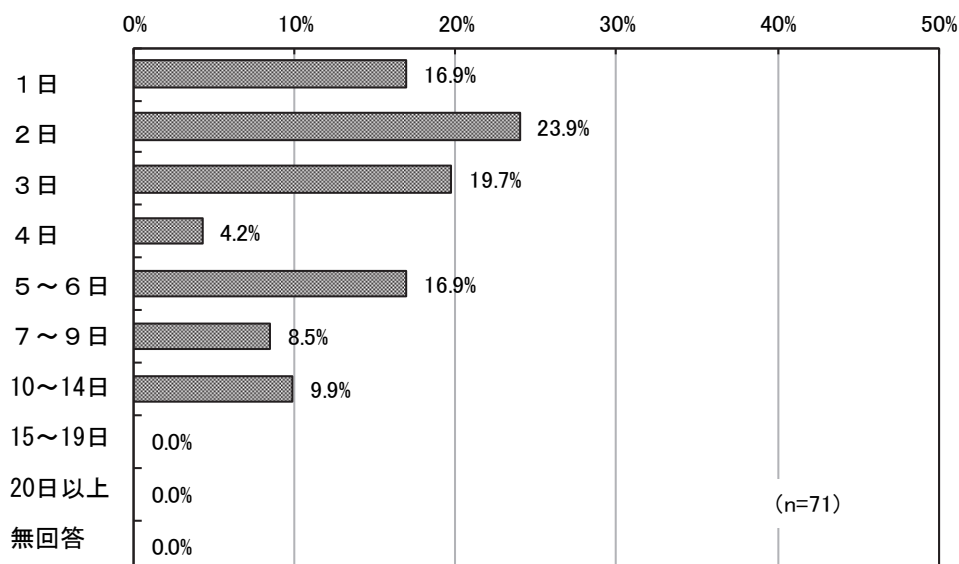
・私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的

「10～14日」(33.7%)が最も多く、「1日」(20.2%)、「2日」(15.4%)と続く。平均は8.1日となっている。



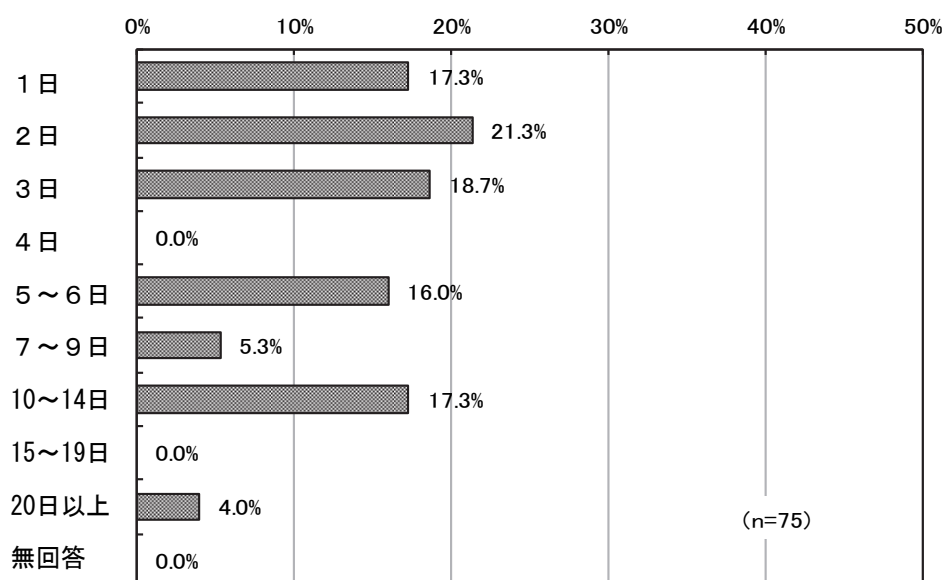
・冠婚葬祭、学校行事

「2日」(23.9%)が最も多く、「3日」(19.7%)、「1日」「5～6日」(それぞれ16.9%)と続く。
平均は3.9日となっている。



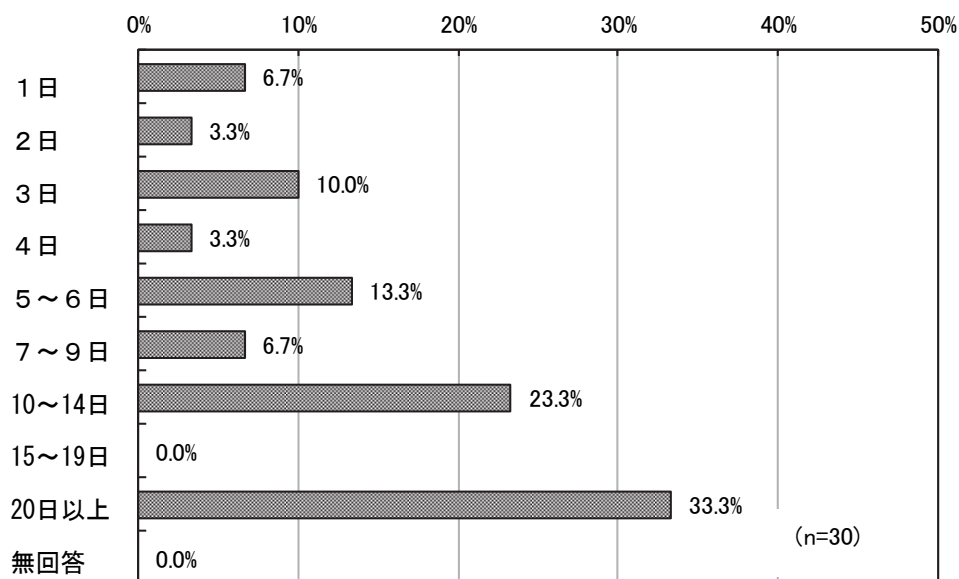
・保護者の通院

「2日」(21.3%)が最も多く、「3日」(18.7%)、「1日」「10～14日」(それぞれ17.3%)と続く。
平均は5.6日となっている。



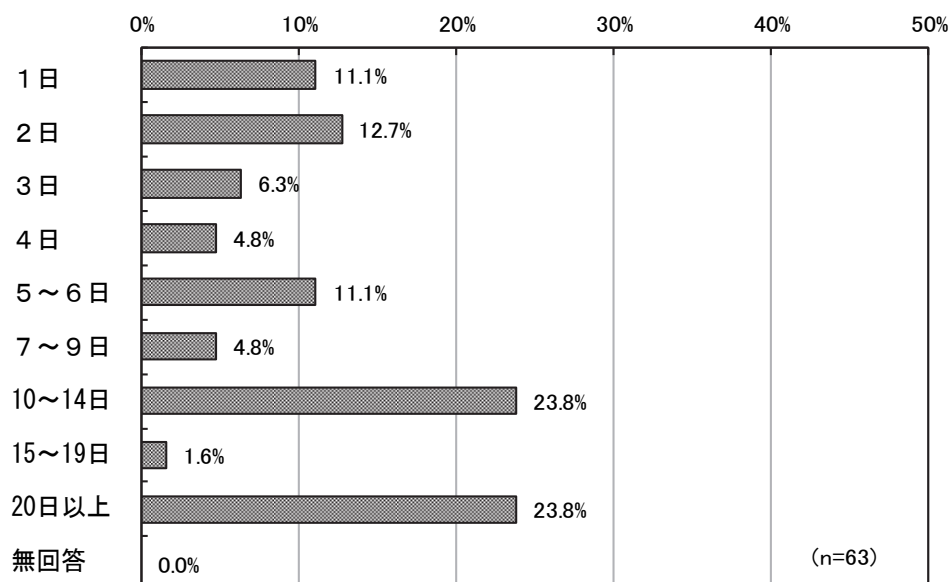
・ 祖父母の介護

「20 日以上」(33.3%)が最も多く、「10～14 日」(23.3%)、「5～6 日」(13.3%)と続く。平均は 20.1 日となっている。



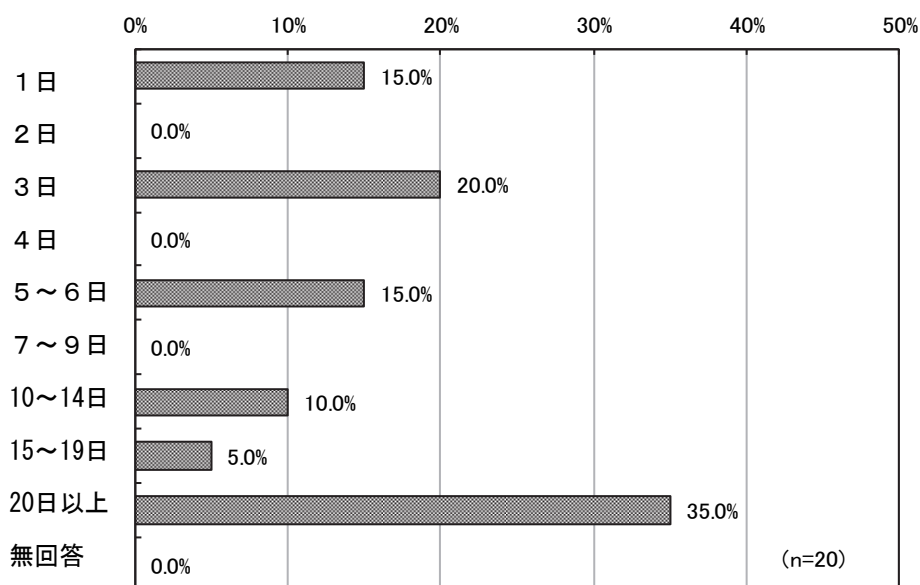
・ 不定期の就労

「10～14 日」「20 日以上」(それぞれ 23.8%)が最も多く、「2 日」(12.7%)、「1 日」「5～6 日」(それぞれ 11.1%)と続く。平均は 19.4 日となっている。



・その他

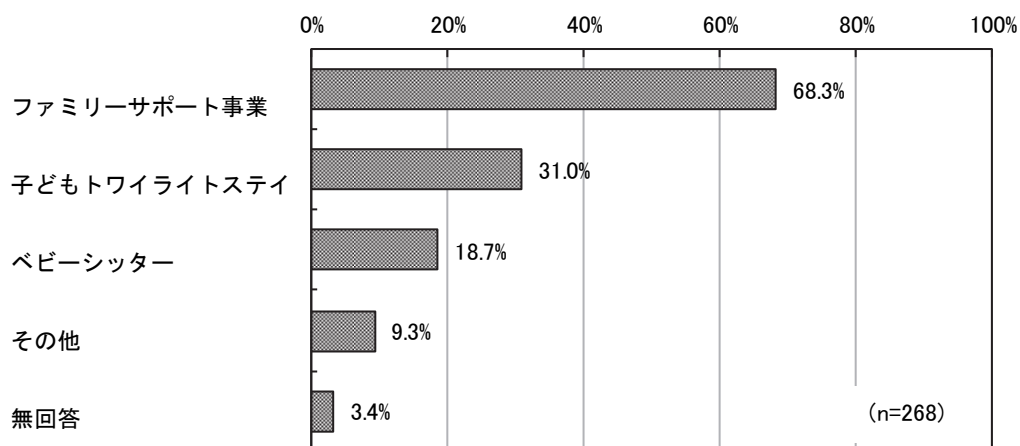
「20日以上」(35.0%)が最も多く、「3日」(20.0%)、「1日」「5～6日」(それぞれ15.0%)と続く。平均は22.3日となっている。



問 27 問 26 で「1. 利用したい」を選んだ方にうかがいます。

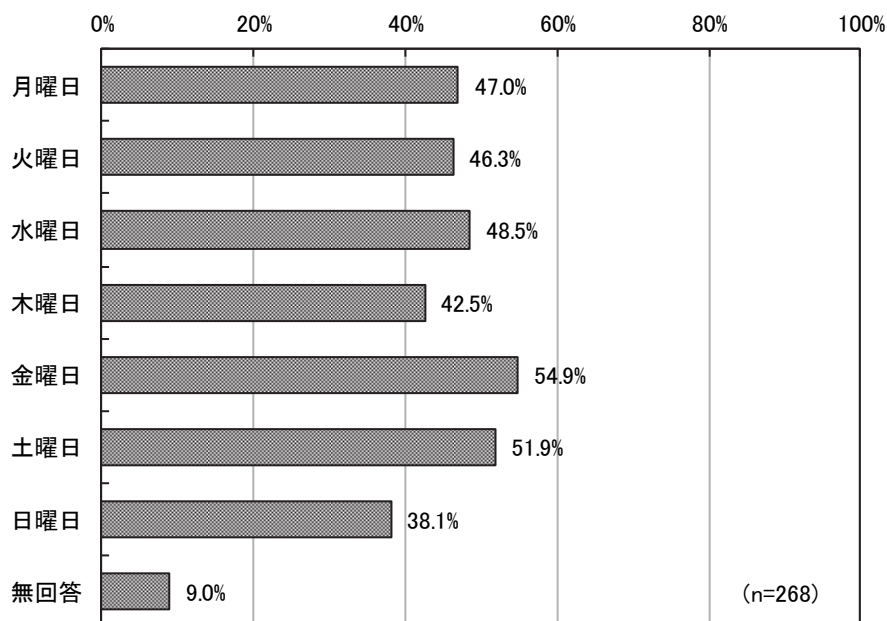
問 26 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思いますか。(いくつでも○)。

「ファミリーサポート事業」(68.3%)が最も多く、「子どもトワイライトステイ」(31.0%)、「ベビーシッター」(18.7%)と続く。



問 28 利用したい曜日はいつですか。(いくつでも○)

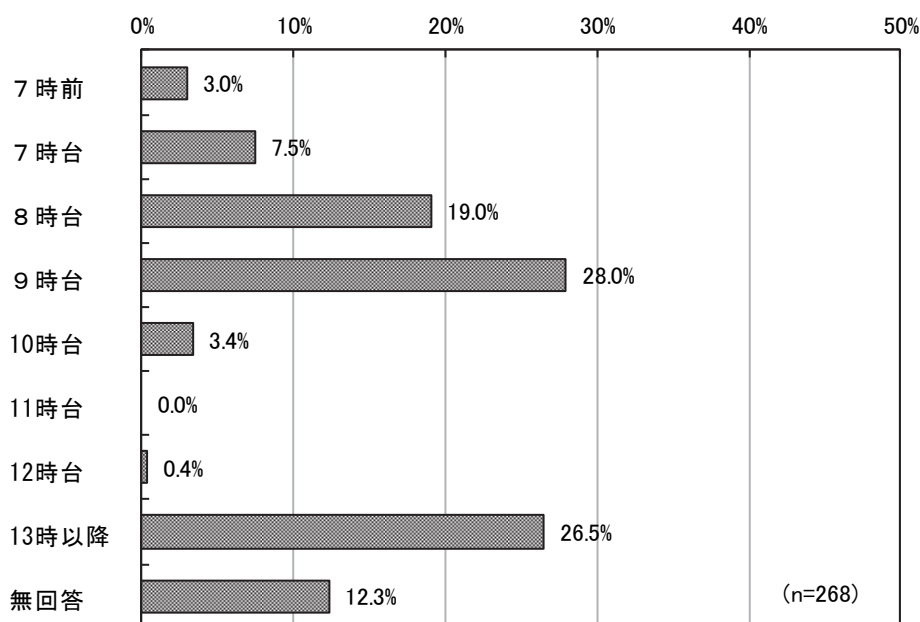
「日曜日」を除いて4割以上となっている。



問 29 利用したい時間帯を、() 内に 24 時間制でご記入ください (例：9 時 00 分～18 時 00 分)。

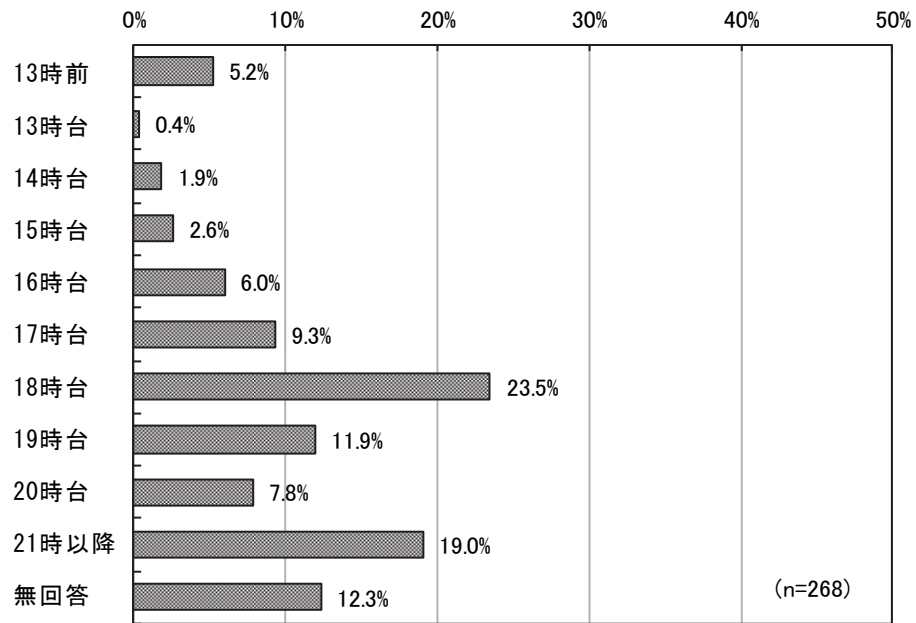
○希望の開始時刻

「9 時台」(28.0%)が最も多く、「13 時以降」(26.5%)、「8 時台」(19.0%)と続く。平均は 10 時 38 分となっている。



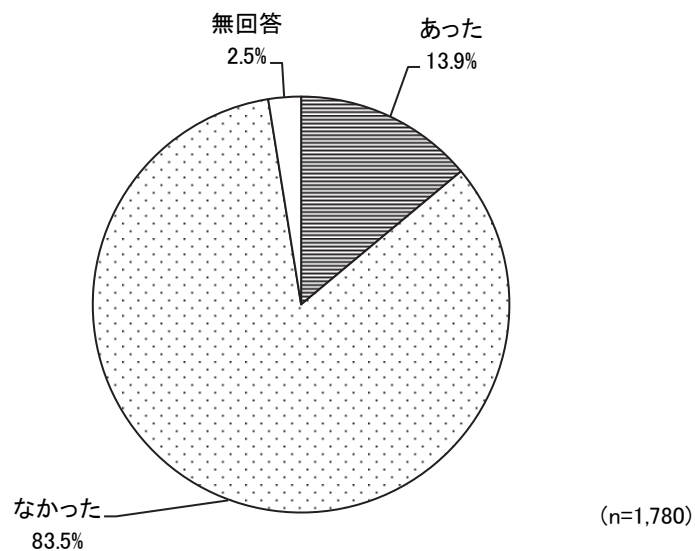
○希望の終了時刻

「18時台」(23.5%)が最も多く、「21時以降」(19.0%)、「19時台」(11.9%)と続く。平均は17時58分となっている。



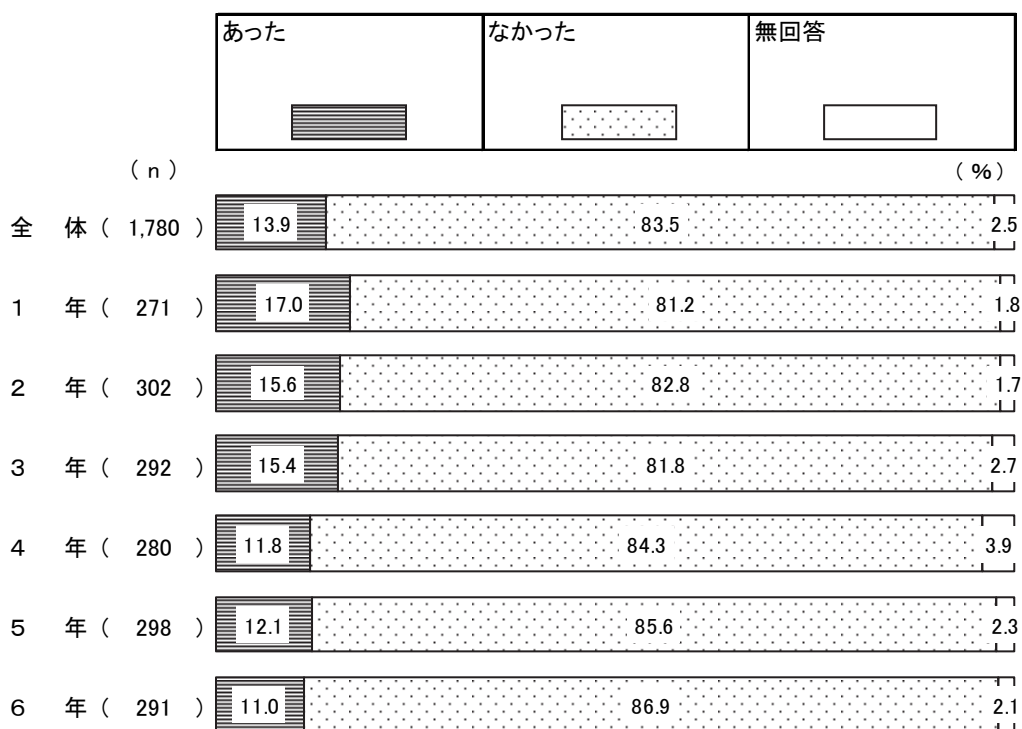
問 30 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊まりがけで家族以外にみてもらったことはありましたか。いずれかの番号に○をつけ、日数を（ ）内にご記入ください。

「なかった」(83.5%)、「あった」(13.9%)となっている



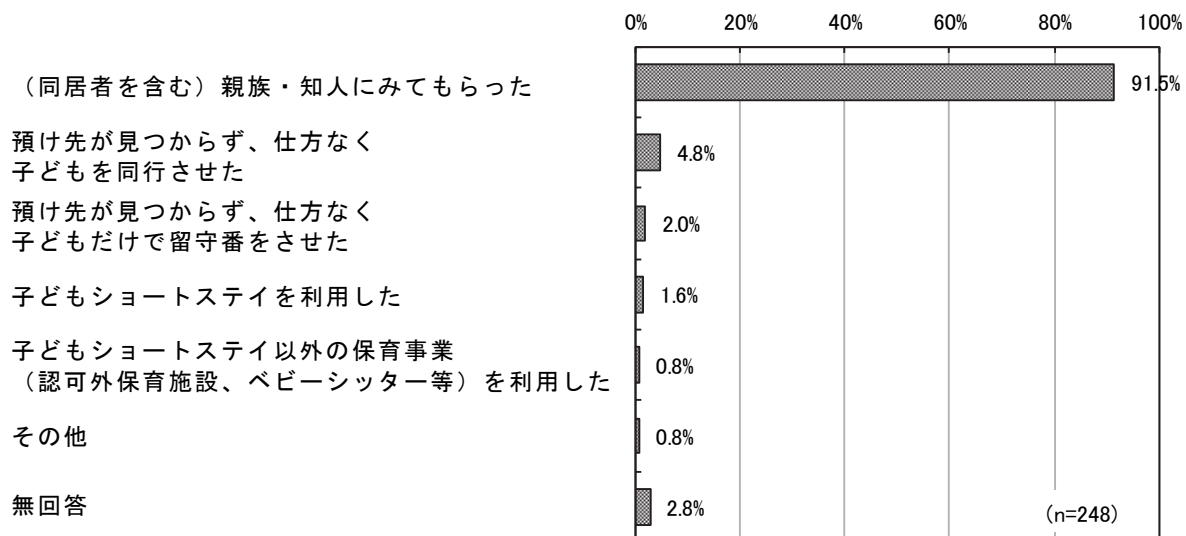
【学年別】

すべての学年で「なかった」が最も多く、学年が上がるにつれて多くなる傾向がみられる。



○ 1年間の対処方法

「（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」（91.5%）が最も多くなっている。



【学年別】

すべての学年で「（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」が最も多く、8割以上となっている。

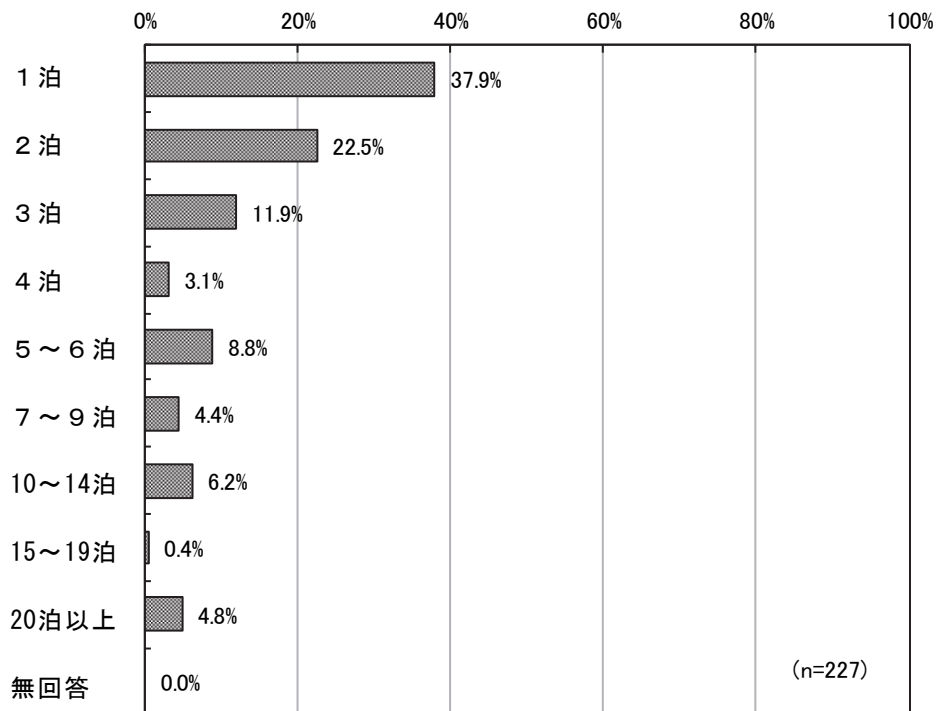
単位：%

	合計	（同居者を含む）親族・知人にみてもらった	子どもショートステイを利用した	子どもショートステイ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	預け先が見つからず、仕方なく子どもを同行させた	預け先が見つからず、仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
全体	248	91.5	1.6	0.8	4.8	2.0	0.8	2.8
1年	46	93.5	—	2.2	4.3	—	—	2.2
2年	47	95.7	4.3	2.1	4.3	4.3	2.1	—
3年	45	93.3	2.2	—	6.7	2.2	—	2.2
4年	33	97.0	—	—	3.0	—	—	—
5年	36	88.9	2.8	—	5.6	5.6	—	—
6年	32	81.3	—	—	6.3	—	3.1	9.4

○ 1年間の対処日数

・(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった

「1泊」(37.9%)が最も多く、「2泊」(22.5%)、「3泊」(11.9%)、「5～6泊」(8.8%)と続く。



・子どもショートステイを利用した

「1泊」(2件)が最も多く、「2泊」「3泊」(それぞれ1件)と続く。

・子どもショートステイ以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した

「1泊」が2件となっている。

・預け先が見つからず、仕方なく子どもを同行させた

「2泊」(6件)が最も多く、「1泊」(5件)、「3泊」(1件)と続く。

・預け先が見つからず、仕方なく子どもだけで留守番をさせた

「1泊」が5件となっている。

・その他

「1泊」「3泊」がそれぞれ1件となっている。

【全体・学年別 保護者の用事による際の1年間の平均対処日数】

すべての学年で「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」が多くなっており、「2年」(5.2日)が最も多く、「4年」(3.2日)が最も少なくなっている。

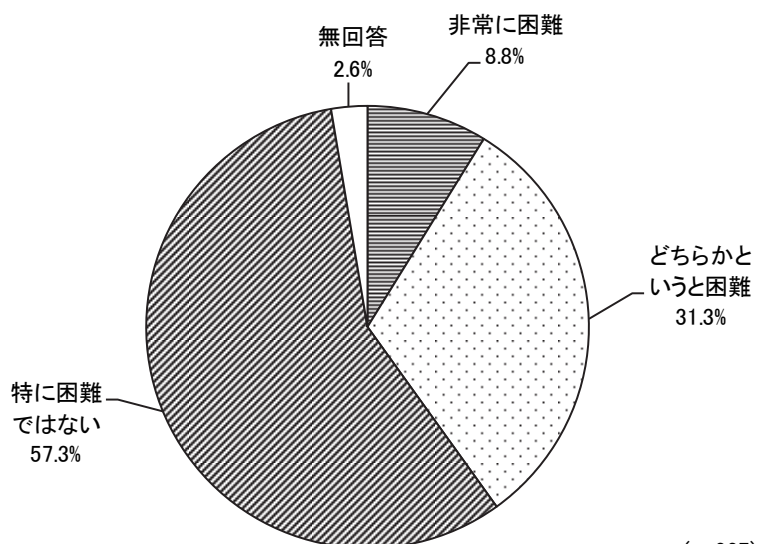
単位：日

	(同居者を含む)親族・知人にみてもらった	子どもショートステイを利用した	子どもショートステイ以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した	預け先が見つからず、仕方なく子どもを同行させた	預け先が見つからず、仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他
全体	4.2	1.8	1.0	1.7	1.0	2.0
1年	4.4	—	1.0	2.0	—	—
2年	5.2	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
3年	4.1	1.0	—	2.3	1.0	—
4年	3.2	—	—	1.0	—	—
5年	3.4	2.0	—	1.5	1.0	—
6年	3.5	—	—	1.5	—	3.0

問31 問30で「1. あった」のうち、「ア. (同居者を含む)親族・知人にみてもらった」を選んだ方にうかがいます。

その場合の困難度はどの程度でしたか。(1つに〇)

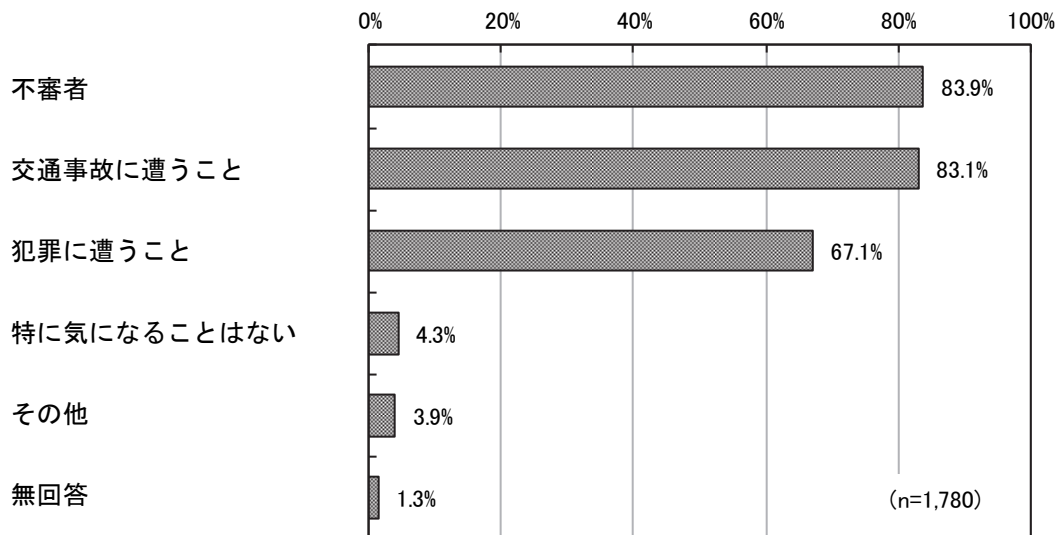
「特に困難ではない」(57.3%)が最も多く、「どちらかという困難」(31.3%)、「非常に困難」(8.8%)と続く。



7. 安全、防犯対策について

問 32 あなたは、通学路の安全について気になることがありますか。(いくつでも○)

「不審者」(83.9%)、「交通事故に遭うこと」(83.1%)、「犯罪に遭うこと」(67.1%)、「特に気になることはない」(4.3%)と続く。



【学年別】

すべての学年で「不審者」「交通事故に遭うこと」が多くなっている。

単位：%

	合計	交通事故に 遭うこと	不審者	犯罪に遭う こと	その他	特に気になる ことはない	無回答
全体	1,780	83.1	83.9	67.1	3.9	4.3	1.3
1年	271	88.2	87.8	73.4	4.1	2.2	0.4
2年	302	83.8	87.4	74.5	4.3	2.3	1.3
3年	292	84.2	85.6	68.8	2.7	3.8	1.4
4年	280	83.2	81.1	62.1	3.6	5.4	1.1
5年	298	80.5	82.9	62.1	4.4	6.0	1.0
6年	291	79.0	78.0	61.2	4.5	6.9	1.7

【居住地区別】

すべての居住地区で「不審者」「交通事故に遭うこと」が多くなっている。

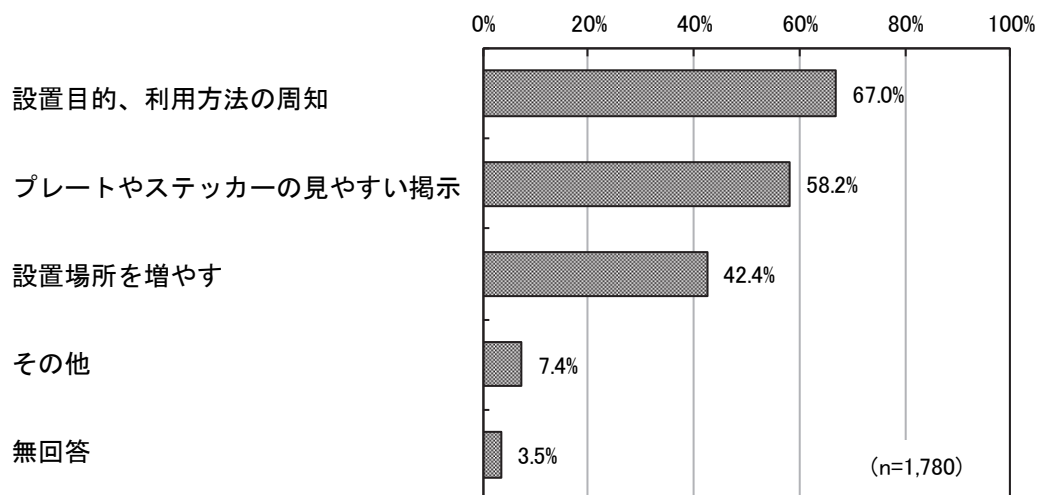
単位：％

	合 計	交通事故に 遭うこと	不審者	犯罪に遭う こと	その他	特に気になる ことはない	無回答
全体	1,780	83.1	83.9	67.1	3.9	4.3	1.3
練馬	357	77.0	82.1	65.5	2.8	7.0	2.2
光が丘	505	80.4	85.1	67.9	4.8	3.6	0.6
石神井	514	87.2	85.4	67.9	4.1	3.9	1.0
大泉	374	87.2	82.4	66.6	3.5	3.7	1.1

問 33 あなたは、緊急避難場所※に関して、今後何が必要だと考えますか。(いくつでも○)

※緊急避難場所：区の各地域には子どもが犯罪に巻き込まれそうになったときのかけこみ場所として、「ひまわり 110 番」、「こども 110 番」などの名称で約 5,300 か所の緊急避難場所が設置されています。区では表示図柄を統一した「ひまわり 110 番」のプレートやステッカーを配布しています。

「設置目的、利用方法の周知」(67.0%)が最も多く、「プレートやステッカーの見やすい掲示」(58.2%)、「設置場所を増やす」(42.4%)と続く。



【学年別】

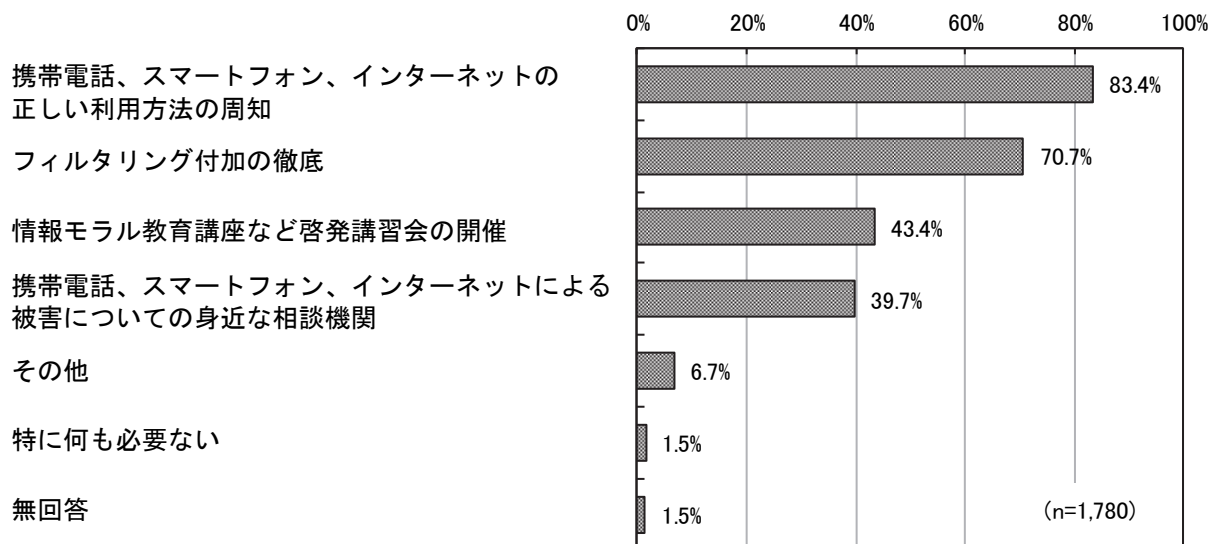
すべての学年で「設置目的、利用方法の周知」が最も多く、6割以上となっている。

単位：%

	合 計	設置目的、利用方法の周知	設置場所を増やす	プレートやステッカーの見やすい掲示	その他	無回答
全体	1,780	67.0	42.4	58.2	7.4	3.5
1年	271	70.5	42.4	59.4	8.1	3.3
2年	302	66.9	45.7	64.9	6.0	2.6
3年	292	69.9	38.7	57.9	8.2	3.1
4年	280	63.6	40.4	56.1	8.2	3.2
5年	298	68.1	44.0	56.0	7.7	4.0
6年	291	62.2	43.0	55.7	6.9	3.8

問 34 あなたは、携帯電話やインターネット利用に関して、有害情報から子どもを守る取組として何が必要だと考えますか。(いくつでも○)

「携帯電話、スマートフォン、インターネットの正しい利用方法の周知」(83.4%)が最も多く、「フィルタリング付加の徹底」(70.7%)、「情報モラル教育講座など啓発講習会の開催」(43.4%)、「携帯電話、スマートフォン、インターネットによる被害についての身近な相談機関」(39.7%)と続く。



【学年別】

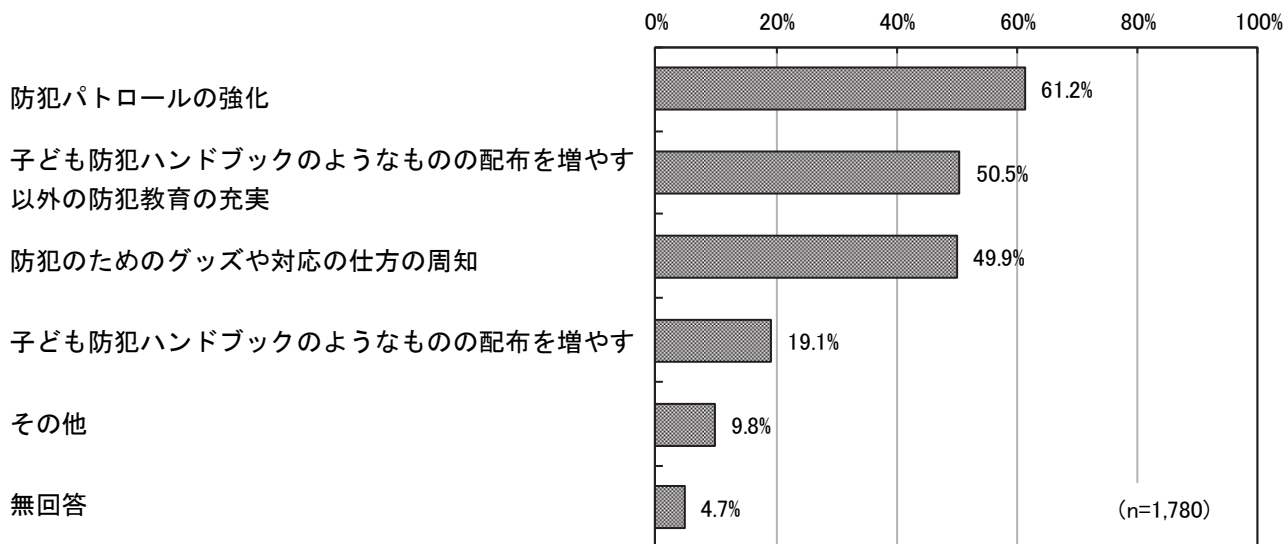
すべての学年で「携帯電話、スマートフォン、インターネットの正しい利用方法の周知」が最も多く、8割以上となっている。

単位：%

	合 計	携帯電話、スマートフォン、インターネットの正しい利用方法の周知	フィルタリング付加の徹底	情報モラル教育講座など啓発講習会の開催	携帯電話、スマートフォン、インターネットによる被害についての身近な相談機関	その他	特に何も必要ない	無回答
全体	1,780	83.4	70.7	43.4	39.7	6.7	1.5	1.5
1年	271	81.5	66.8	46.1	41.0	5.5	1.1	1.5
2年	302	87.1	73.2	39.4	39.1	5.3	2.0	1.0
3年	292	81.8	74.0	36.6	38.4	6.2	1.0	2.1
4年	280	86.1	69.6	46.1	42.1	6.8	0.7	0.7
5年	298	82.9	70.5	48.0	40.3	8.4	2.0	1.3
6年	291	82.1	69.4	46.4	36.8	7.9	2.4	1.0

問 35 子どもの防犯に関して、今後何が必要だと考えますか。(いくつでも○)

「防犯パトロールの強化」(61.2%)が最も高く、「子ども防犯ハンドブックのようなものの配布を増やす以外の防犯教育の充実」(50.5%)、「防犯のためのグッズや対応の仕方の周知」(49.9%)、「子ども防犯ハンドブックのようなものの配布を増やす」(19.1%)と続く。



【学年別】

すべての学年で「防犯パトロールの強化」が最も多くなっている。また、「子ども防犯ハンドブックのようなものの配布を増やす以外の防犯教育の充実」「防犯のためのグッズや対応の仕方の周知」も約5割と多くなっている。

単位：%

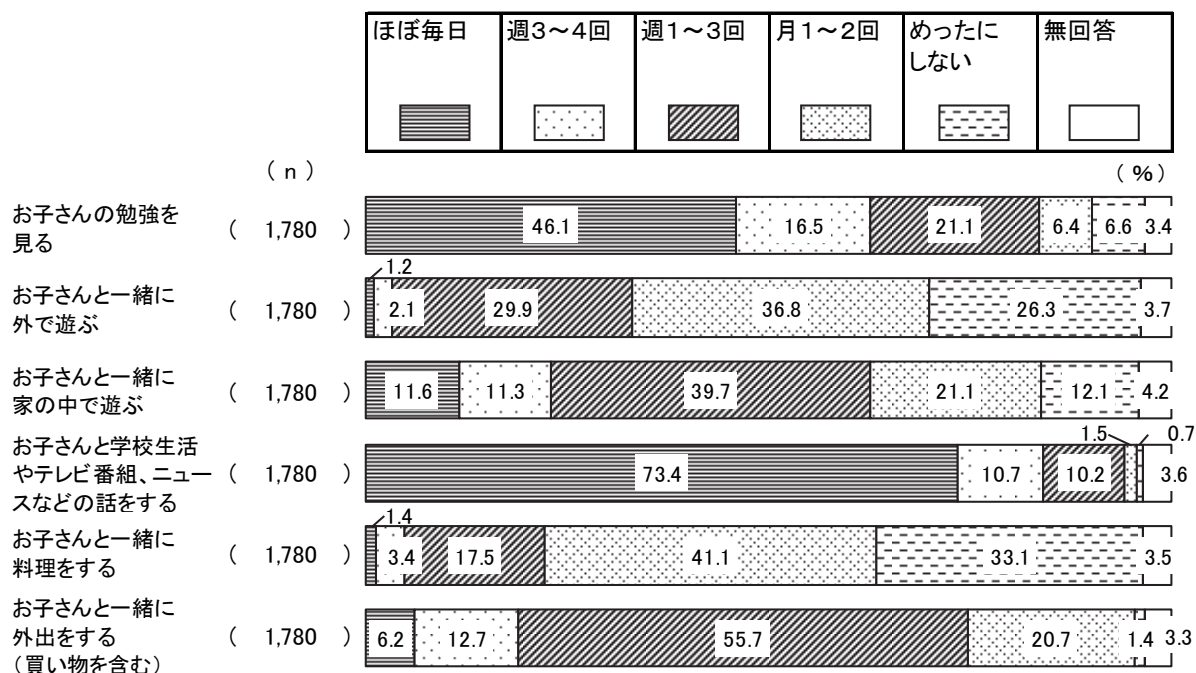
	合 計	子ども防犯ハンドブックのようなものの配布を増やす	子ども防犯ハンドブックのようなものの配布を増やす以外の防犯教育の充実	防犯のためのグッズや対応の仕方の周知	防犯パトロールの強化	その他	無回答
全体	1,780	19.1	50.5	49.9	61.2	9.8	4.7
1年	271	24.0	53.5	49.1	65.3	11.8	3.3
2年	302	17.9	49.0	51.0	64.2	7.9	4.6
3年	292	19.2	50.0	54.8	57.2	9.6	3.4
4年	280	15.0	46.4	48.2	62.9	11.4	5.7
5年	298	19.5	50.0	49.7	55.4	9.1	6.4
6年	291	17.9	52.2	45.7	64.3	10.3	4.5

8. 家庭での生活について

問 36 この1年間に、日常的にあて名のお子さんとなつぎのようなことをしましたか。(それぞれ1つに○)

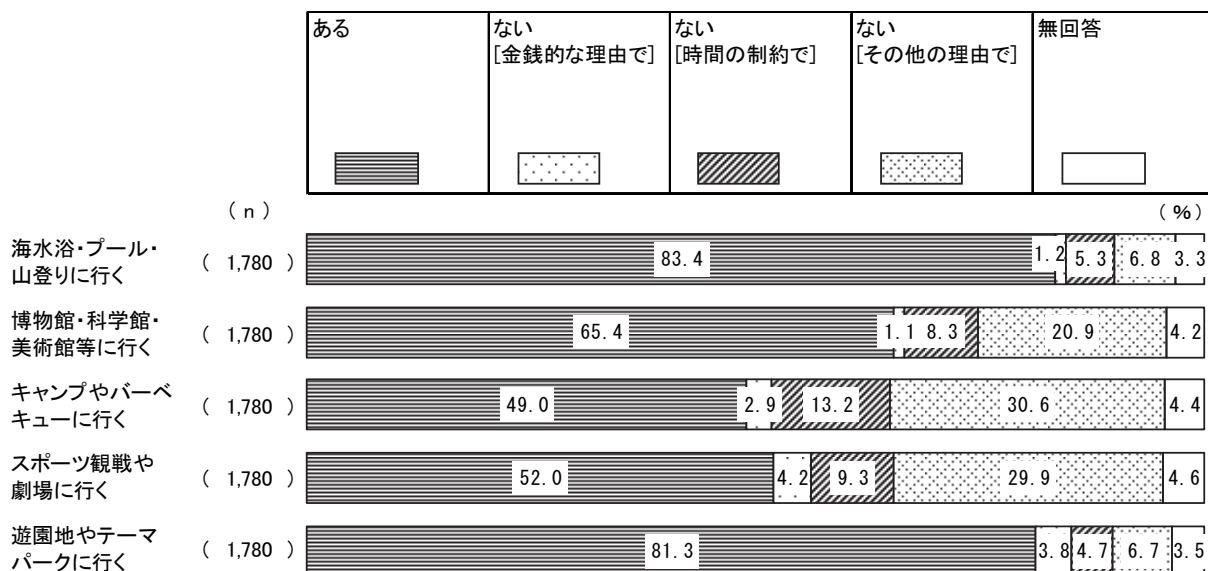
“お子さんの勉強をみる” “お子さんと学校生活やテレビ番組、ニュースなどの話をする” では「ほぼ毎日」が最も多く、“お子さんと一緒に外で遊ぶ” “お子さんと一緒に料理をする” では「月1～2回」が最も多くなっている。

また、“お子さんと一緒に家の中で遊ぶ” “お子さんと一緒に外出をする（買い物を含む）” では「週1～3回」が最も多くなっている。



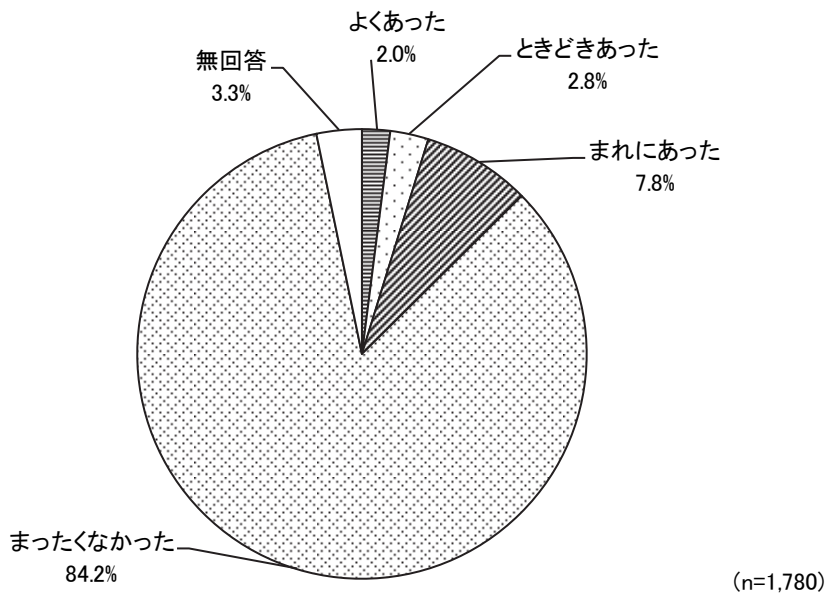
問 37 この1年間に、あて名のお子さんとなつぎのような体験をしましたか。(それぞれ1つに○)

すべての項目で「ある」が最も多くなっている。



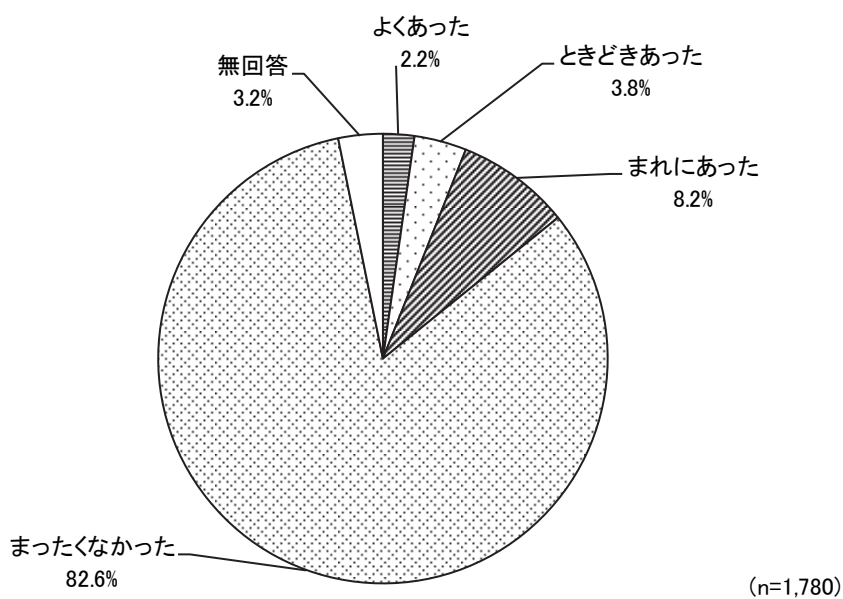
問 38 この1年間に、お金が足りず、家族が必要とする食料を買えないことがありましたか。
(1つに○)

「まったくなかった」(84.2%)が最も多く、「まれにあった」(7.8%)、「ときどきあった」(2.8%)、「よくあった」(2.0%)と続く。



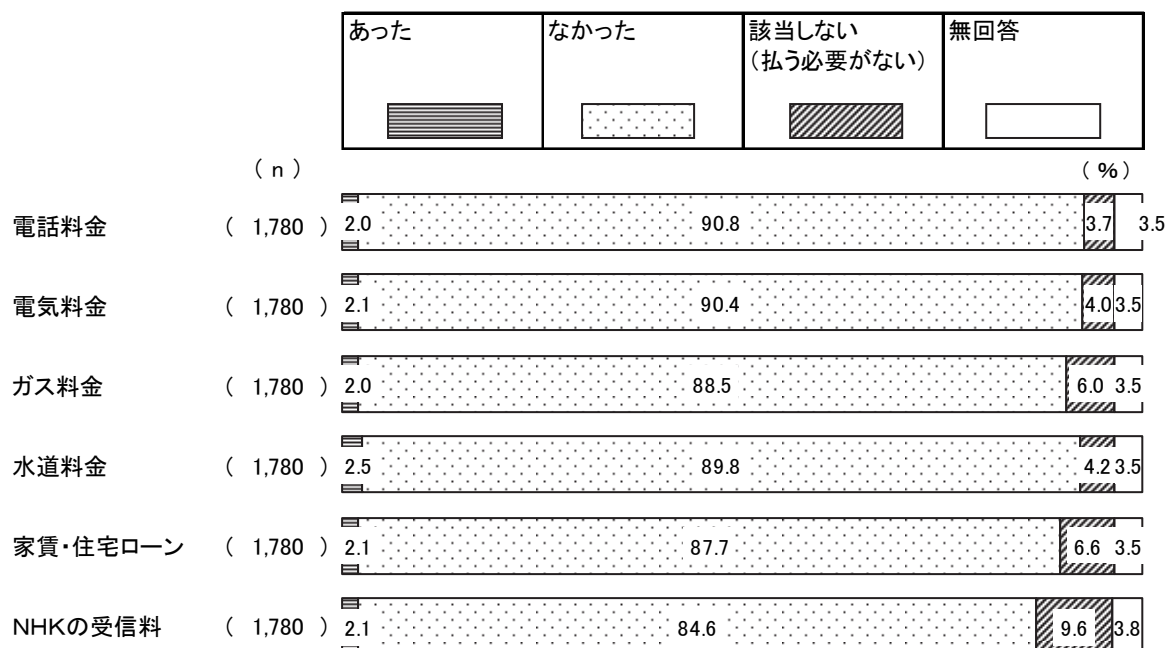
問 39 この1年間に、お金が足りず、家族が必要とする衣類が買えないことがありましたか。
(1つに○)

「まったくなかった」(82.6%)が最も多く、「まれにあった」(8.2%)、「ときどきあった」(3.8%)、「よくあった」(2.2%)と続く。



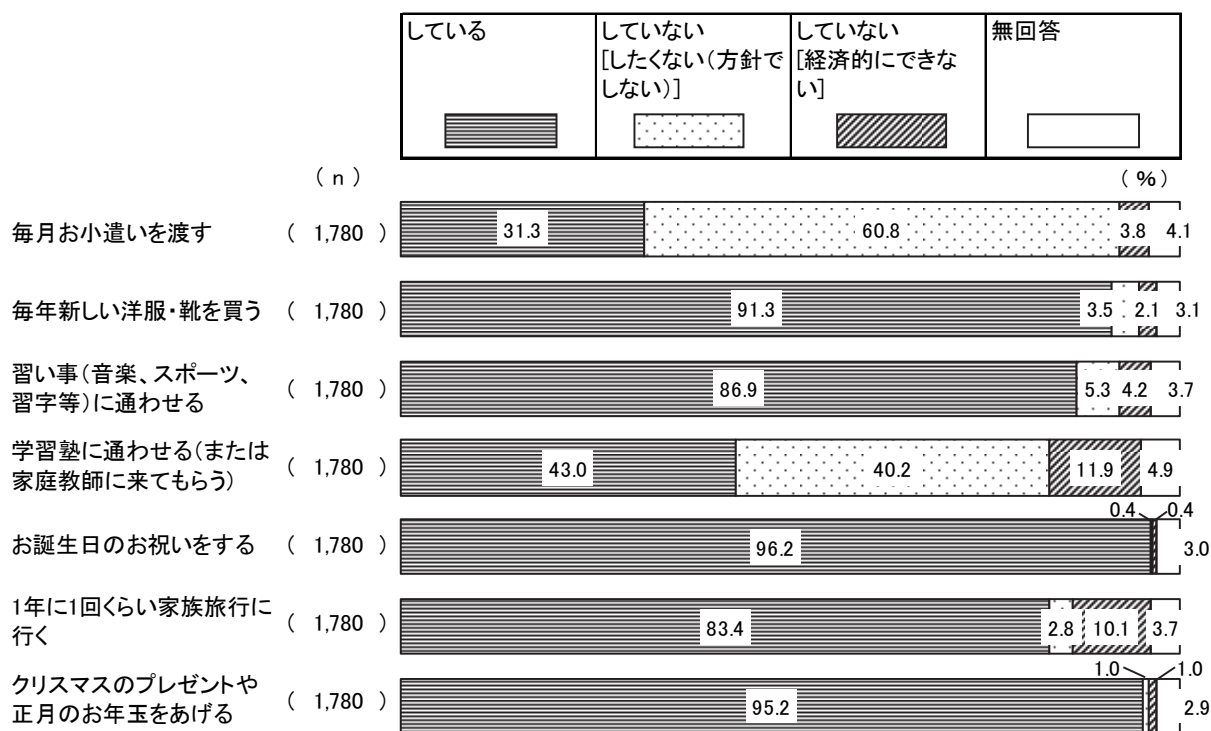
**問 40 この1年間に、経済的な理由で、以下の料金を支払えないことがありましたか。
(それぞれ1つに○)**

すべての項目で「なかった」が最も多く、8割以上となっている。



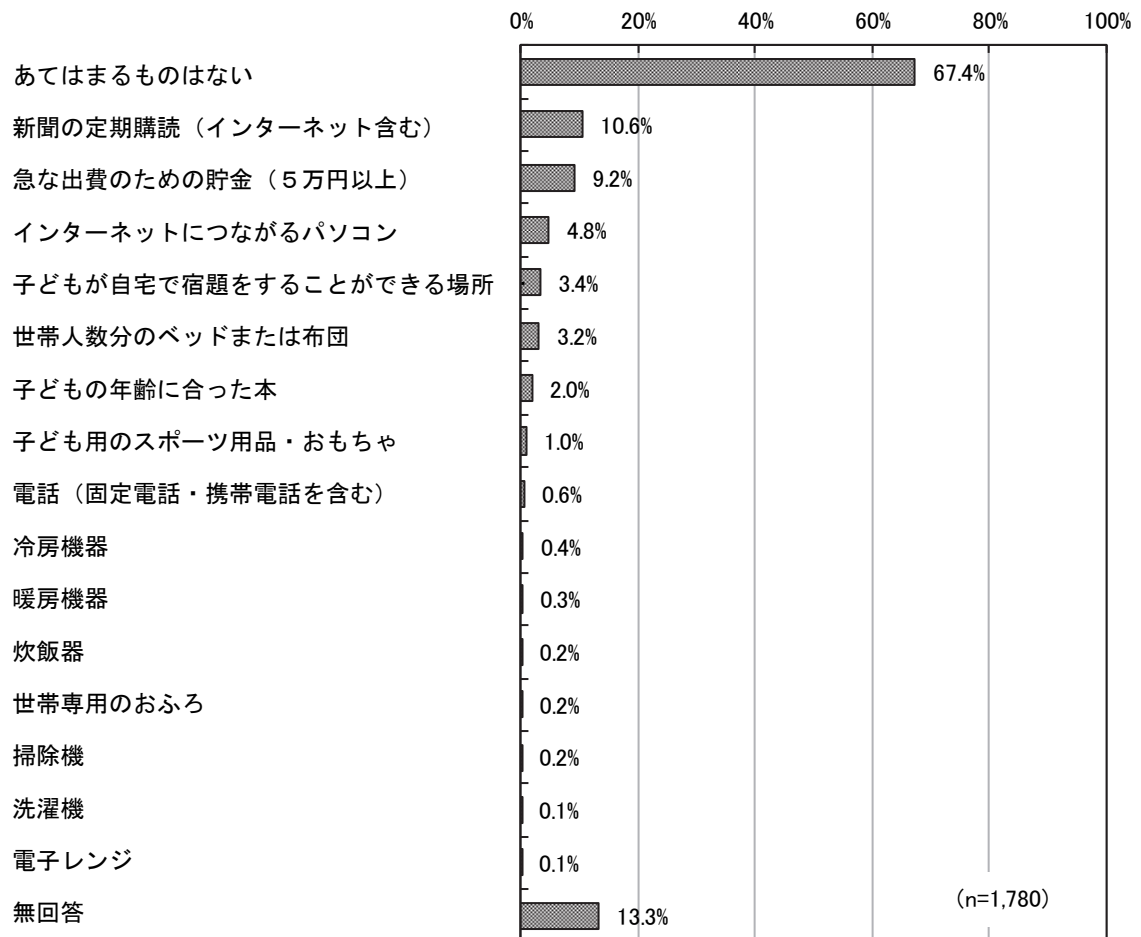
問 41 あて名のお子さんにつぎのようなことをしていますか。(それぞれ1つに○)

“毎月お小遣いを渡す”は「していない[したくない(方針でしない)]」(60.8%)が最も多く、それ以外の項目では「している」が最も多くなっている。



問 42 つぎのうち、経済的理由のためにあなたの家庭にないものがありますか。(いくつでも○)

「あてはまるものはない」(67.4%)が最も多く、「新聞の定期購読(インターネット含む)」(10.6%)、「急な出費のための貯金(5万円以上)」(9.2%)と続く。

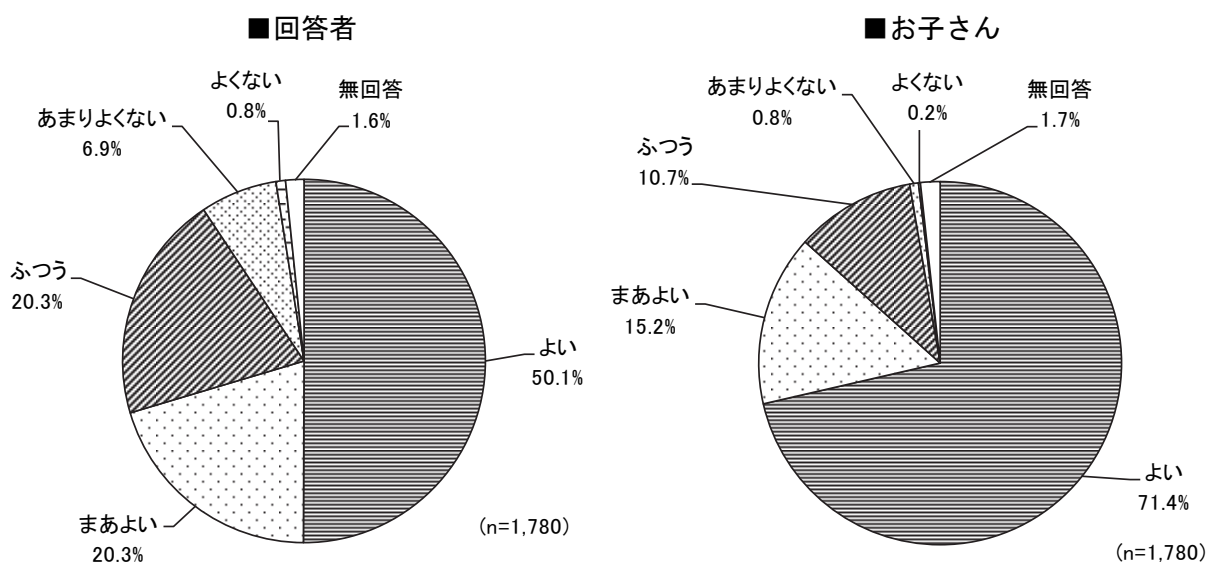


9. 食事・健康について

問 43 あなたとあて名のお子さんの健康状態についてうかがいます。(それぞれ、最も近い番号1つに○)

回答者は、「よい」(50.1%)が最も多く、「まあよい」「ふつう」(それぞれ20.3%)、「あまりよくない」(6.9%)と続く。

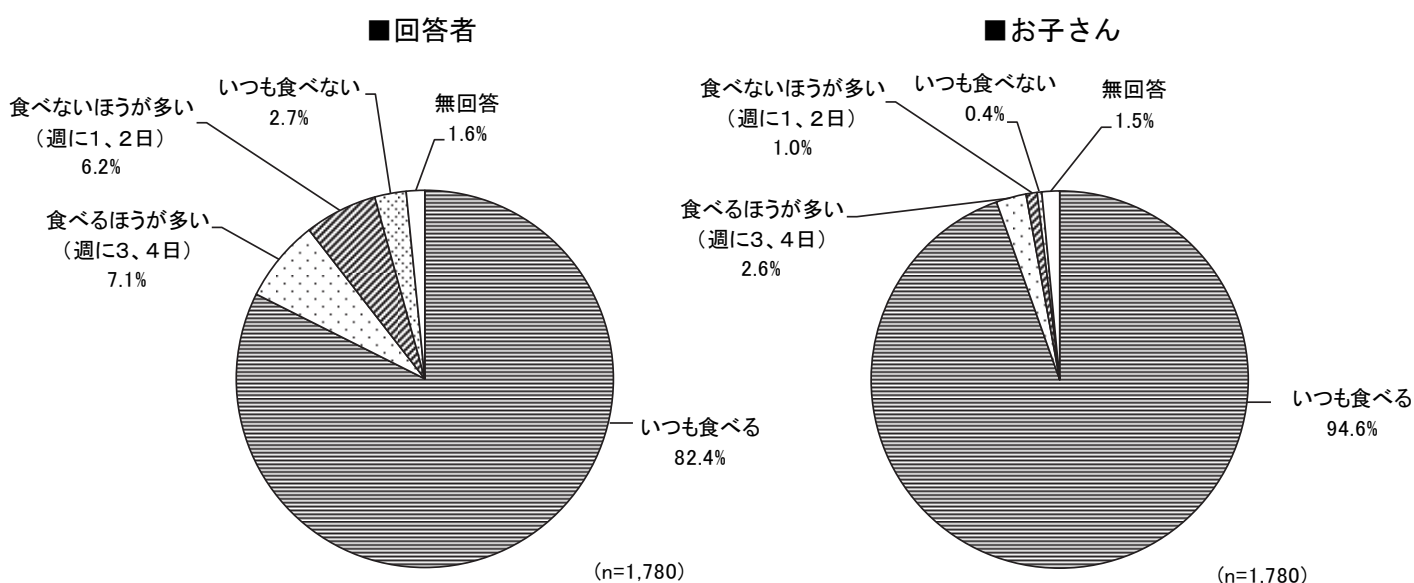
お子さんは、「よい」(71.4%)が最も多く、「まあよい」(15.2%)、「ふつう」(10.7%)と続く。



問 44 あなたとあて名のお子さんは、平日に毎日、朝ごはんを食べますか。(1つに○)

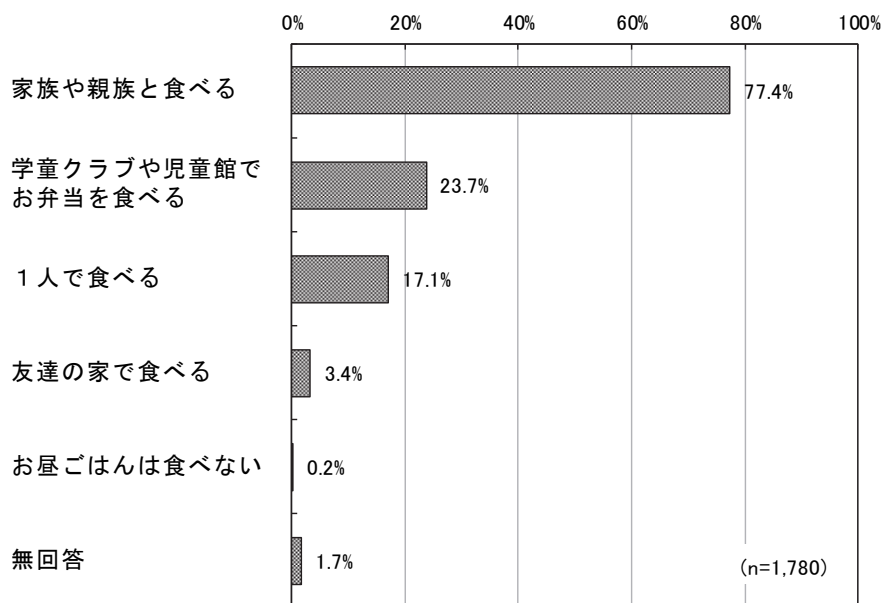
回答者は、「いつも食べる」(82.4%)が最も多く、「食べるほうが多い(週に3、4日)」(7.1%)、「食べないほうが多い(週に1、2日)」(6.2%)、「いつも食べない」(2.7%)と続く。

お子さんは、「いつも食べる」(94.6%)が最も多く、「食べるほうが多い(週に3、4日)」(2.6%)、「食べないほうが多い(週に1、2日)」(1.0%)、「いつも食べない」(0.4%)と続く。



問 45 あて名のお子さんは、夏休みなどの長期休業期間にお昼ごはんをどのように食べますか。(いくつでも○)

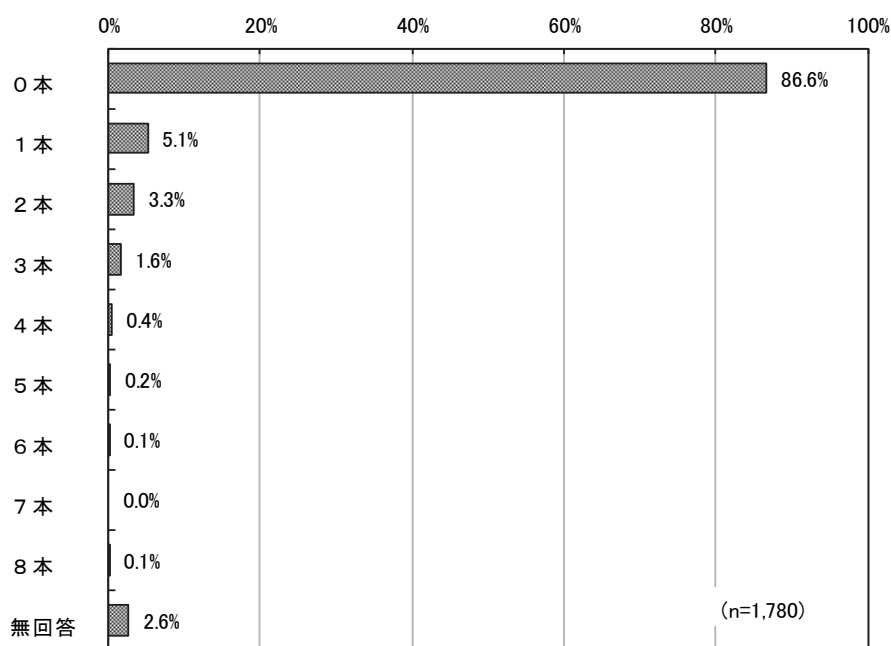
「家族や親族と食べる」(77.4%)が最も多く、「学童クラブや児童館でお弁当を食べる」(23.7%)、「1人で食べる」(17.1%)と続く。



問 46 あて名のお子さんには、今、虫菌が何本くらいありますか。治療中のものも含み、数字でお答えください。

※虫菌がない場合は、0本とご記入ください。治療が終わったものは数えません。

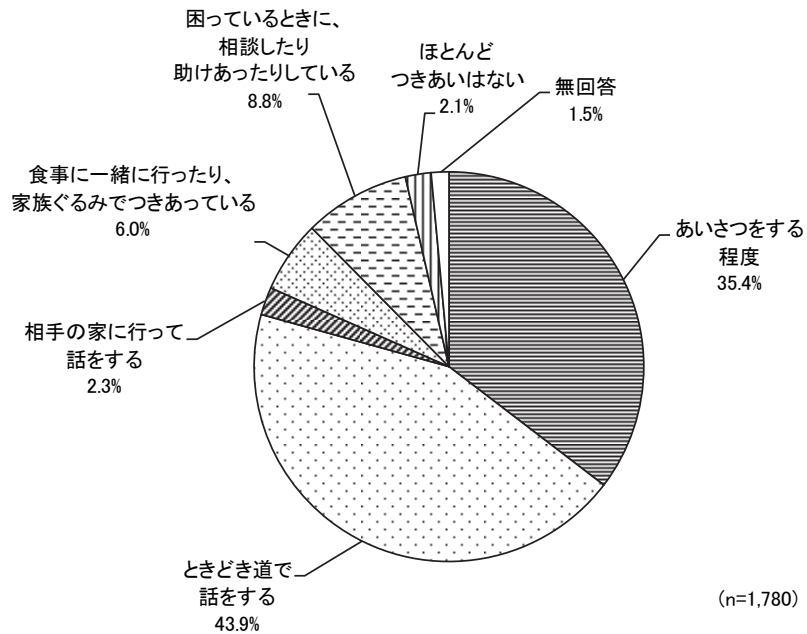
「0本」(86.6%)が最も多く、「1本」(5.1%)、「2本」(3.3%)と続く。



10. 地域との交流について

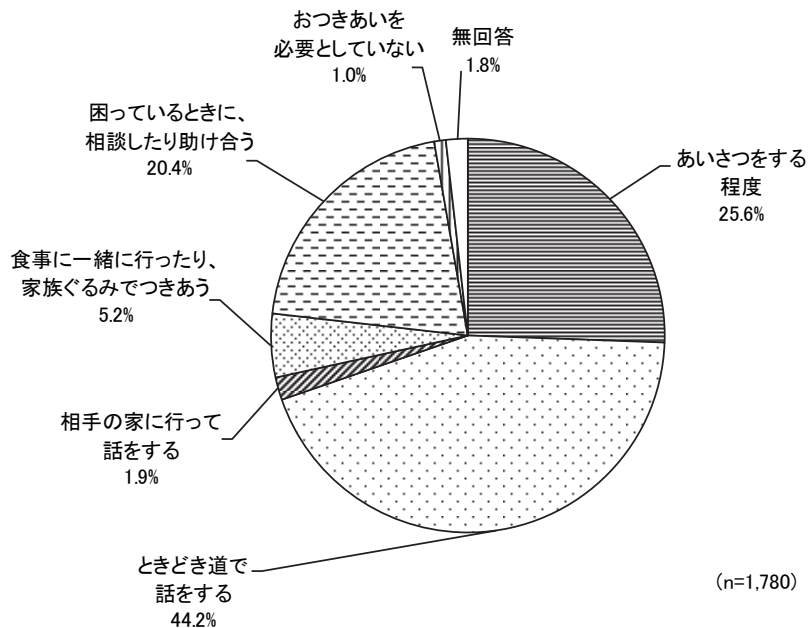
問 47 あなたの近所とおつきあいの程度についてお答えください。(1つに〇)

「ときどき道で話をする」(43.9%)が最も多く、「あいさつをする程度」(35.4%)、「困っているときに、相談したり助けあったりしている」(8.8%)と続く。



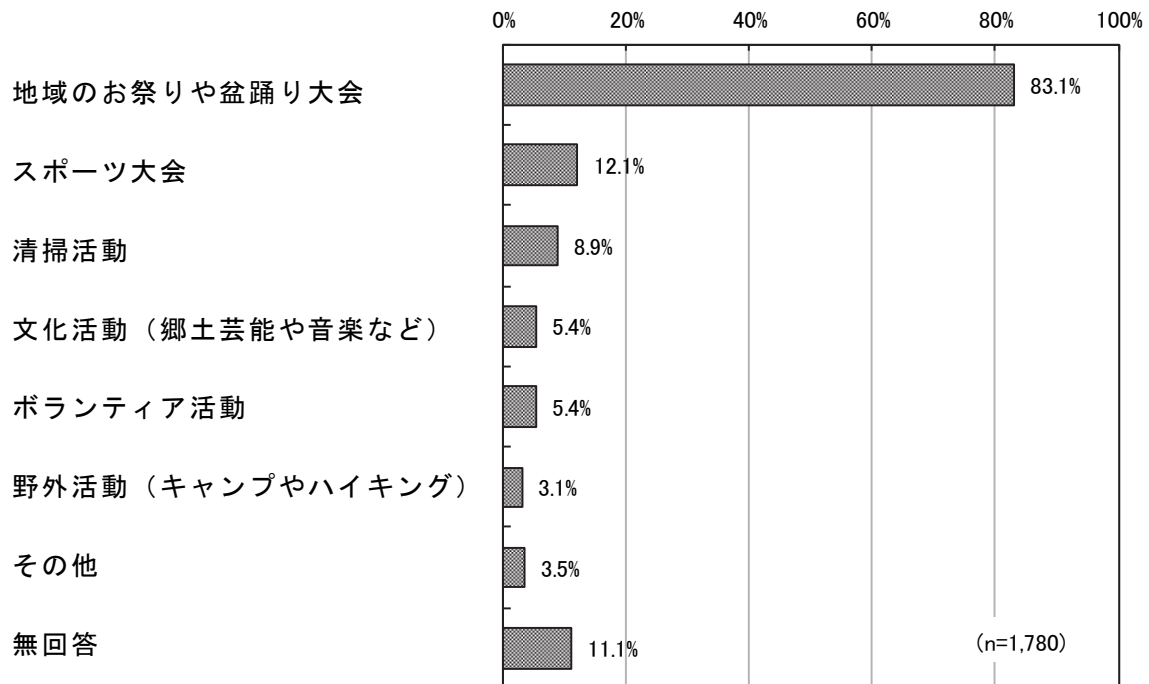
問 48 あなたは、近所とおつきあいをどの程度望んでいますか。(1つに〇)

「ときどき道で話をする」(44.2%)が最も多く、「あいさつをする程度」(25.6%)、「困っているときに、相談したり助け合う」(20.4%)と続く。



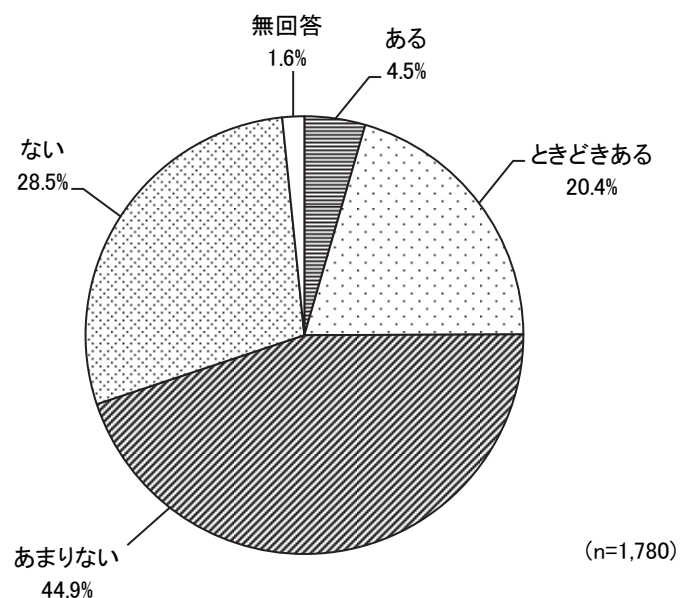
問 49 あなたは、地域で行っている行事に参加したことがありますか。(いくつでも○)

「地域のお祭りや盆踊り大会」(83.1%)が最も多く、「スポーツ大会」(12.1%)、「清掃活動」(8.9%)と続く。



問 50 あなたは、子育てに関して孤立感を感じることはありますか。(1つに○)

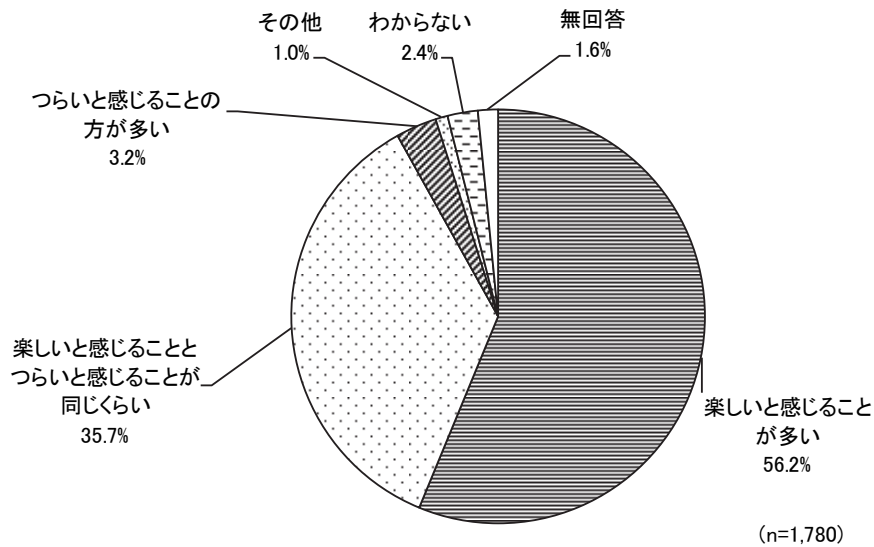
「あまりない」(44.9%)が最も多く、「ない」(28.5%)、「ときどきある」(20.4%)、「ある」(4.5%)と続く。



11. 子育て全般について

問 51 あなたは、子育てを楽しんでいることが多いですか。(1つに○)

「楽しいと感じることが多い」(56.2%)が最も多く、「楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい」(35.7%)、「つらいと感じることの方が多い」(3.2%)と続く。



【学年別】

すべての学年で「楽しいと感じることが多い」が最も多く5割以上となっている。

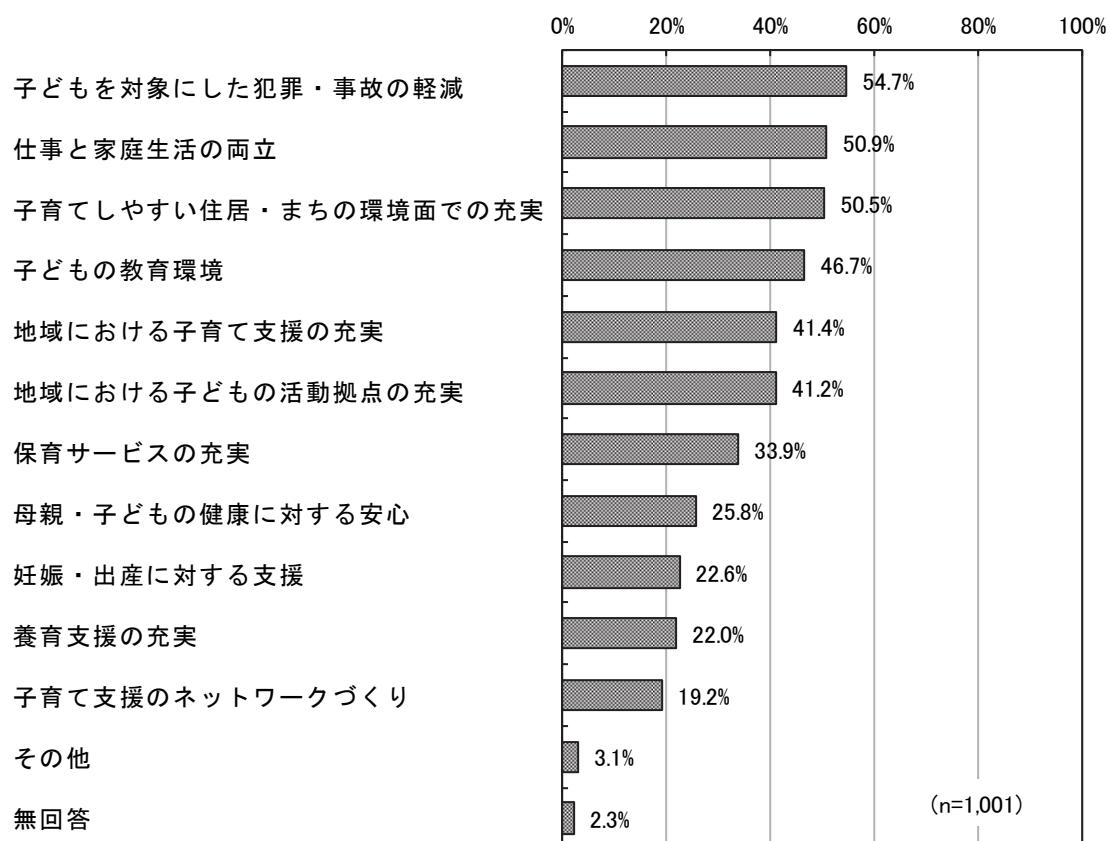
単位：%

	合 計	楽しいと感じることが多い	楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい	つらいと感じることの方が多い	その他	わからない	無回答
全体	1,780	56.2	35.7	3.2	1.0	2.4	1.6
1年	271	57.2	36.9	2.2	1.1	1.1	1.5
2年	302	58.6	34.1	2.0	0.3	2.6	2.3
3年	292	54.1	32.5	5.5	2.1	3.4	2.4
4年	280	52.5	39.3	4.3	0.4	2.5	1.1
5年	298	56.7	38.6	1.7	1.3	1.0	0.7
6年	291	58.8	33.0	3.8	0.7	3.1	0.7

問 52 問 51 で「1. 楽しいと感じることが多い」を選んだ方にうかがいます。

子育てをする中でどのような支援・対策が有効と感じていますか。(いくつでも○)

「子どもを対象にした犯罪・事故の軽減」(54.7%)が最も多く、「仕事と家庭生活の両立」(50.9%)、「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」(50.5%)、「子どもの教育環境」(46.7%)、「地域における子育て支援の充実」(41.4%)と続く。



【学年別】

“1年” “3年”を除いて「子どもを対象にした犯罪・事故の軽減」が最も多く、“1年” “3年”は「仕事と家庭生活の両立」が最も多くなっている。なお、“4年”では「仕事と家庭生活の両立」も多くなっている。また、他の学年と比べて、“2年”で「子どもを対象にした犯罪・事故の軽減」「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」が多くなっている。

単位：％

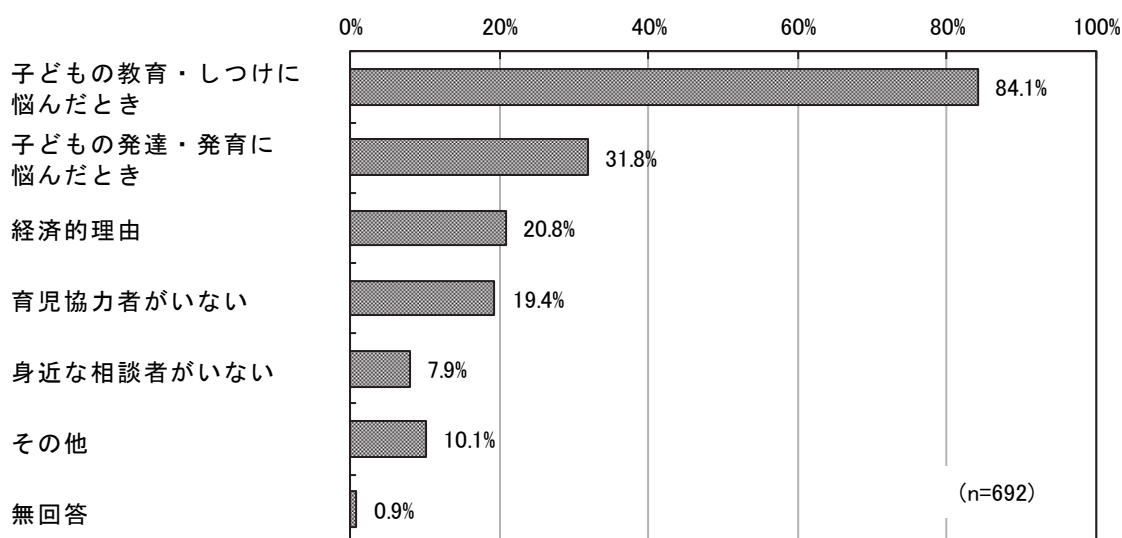
	合 計	地域における子育て支援の充実	保育サービスの充実	子育て支援のネットワークづくり	地域における子どもの活動拠点の充実	妊娠・出産に対する支援	母親・子どもの健康に対する安心
全体	1,001	41.4	33.9	19.2	41.2	22.6	25.8
1年	155	38.1	40.0	18.1	45.2	18.1	21.3
2年	177	43.5	48.6	22.6	47.5	27.1	29.4
3年	158	43.7	32.9	18.4	39.9	24.7	26.6
4年	147	44.9	29.3	20.4	46.9	25.9	29.3
5年	169	39.6	29.6	16.6	35.5	21.9	28.4
6年	171	38.0	23.4	19.3	32.7	19.3	20.5

	子どもの教育環境	子育てしやすい住居・まちの環境面での充実	仕事と家庭生活の両立	子どもを対象にした犯罪・事故の軽減	養育支援の充実	その他	無回答
全体	46.7	50.5	50.9	54.7	22.0	3.1	2.3
1年	47.7	47.7	53.5	51.0	20.0	1.9	1.3
2年	49.7	59.9	55.4	61.6	20.9	2.8	1.7
3年	52.5	52.5	53.2	50.0	20.9	1.9	2.5
4年	38.8	50.3	56.5	56.5	22.4	4.8	3.4
5年	45.0	46.2	43.2	53.3	23.1	5.3	2.4
6年	46.8	47.4	45.0	54.4	24.6	1.8	2.9

問 53 問 51 で「2. 」または「3. 」を選んだ方にうかがいます。

あなたは、どんなことに子育てのつらさを感じますか？（いくつでも○）

「子どもの教育・しつけに悩んだとき」(84.1%)が最も多く、「子どもの発達・発育に悩んだとき」(31.8%)、「経済的理由」(20.8%)と続く。



【学年別】

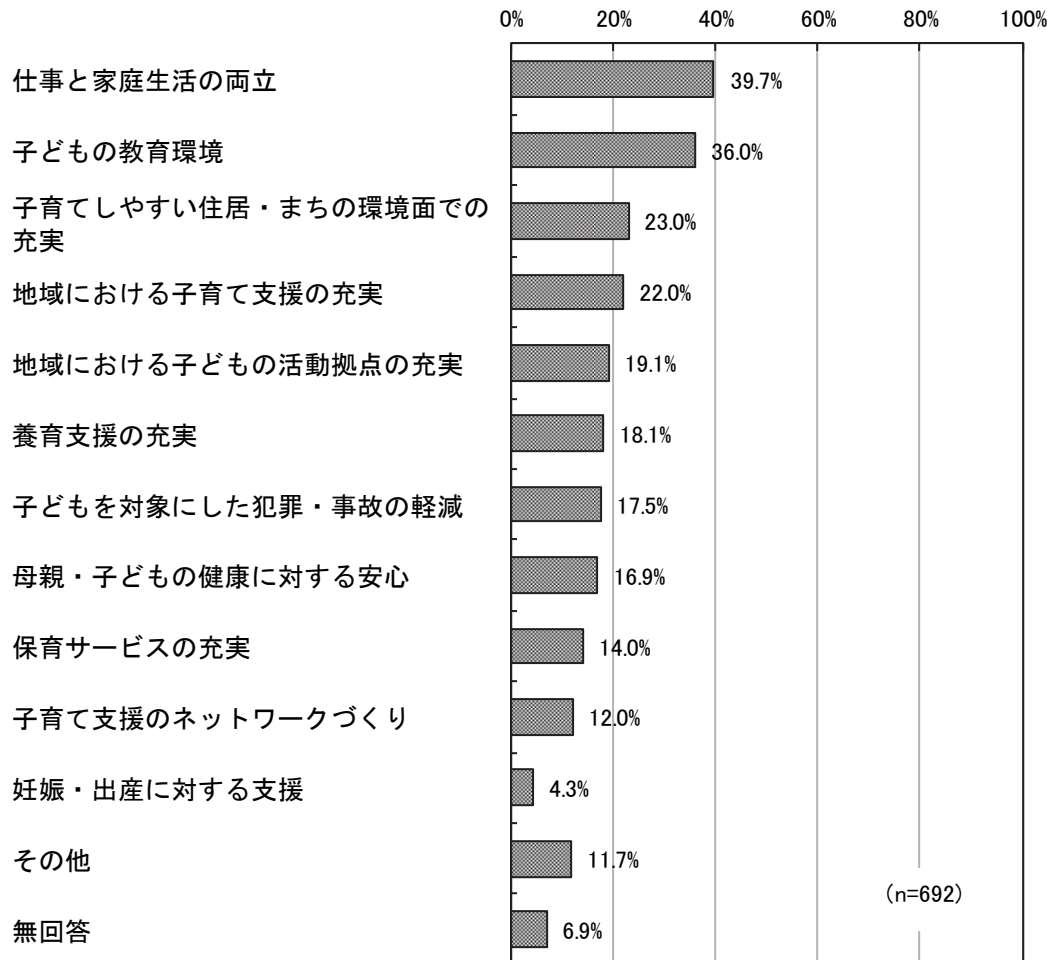
すべての学年で「子どもの教育・しつけに悩んだとき」が最も多くなっている。

単位：%

	合計	子どもの発達・発育に悩んだとき	子どもの教育・しつけに悩んだとき	育児協力者がいない	身近な相談者がいない	経済的理由	その他	無回答
全体	692	31.8	84.1	19.4	7.9	20.8	10.1	0.9
1年	106	27.4	90.6	21.7	7.5	16.0	20.8	—
2年	109	22.9	78.0	19.3	4.6	20.2	12.8	1.8
3年	111	31.5	85.6	18.0	9.9	21.6	8.1	0.9
4年	122	33.6	89.3	17.2	7.4	12.3	3.3	0.8
5年	120	37.5	88.3	17.5	9.2	29.2	9.2	0.8
6年	107	39.3	73.8	19.6	9.3	26.2	8.4	0.9

問 54 つらさを解消するために必要と思うことは何ですか。(いくつでも○)

「仕事と家庭生活の両立」(39.7%)が最も多く、「子どもの教育環境」(36.0%)、「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」(23.0%)、「地域における子育て支援の充実」(22.0%)、「地域における子どもの活動拠点の充実」(19.1%)と続く。



【学年別】

“6年”を除いて「仕事と家庭生活の両立」が最も多く、“6年”は「子どもの教育環境」が最も多くなっている。なお、“2年”では「子どもの教育環境」も多くなっている。

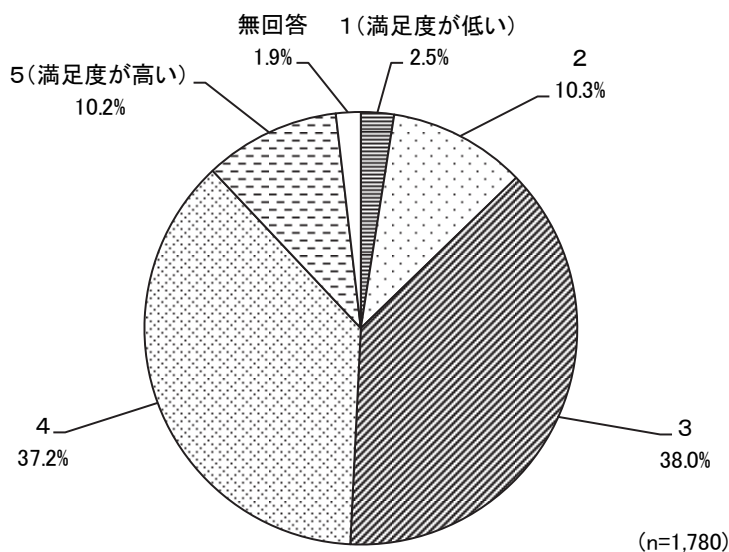
単位：%

	合計	地域における子育て支援の充実	保育サービスの充実	子育て支援のネットワークづくり	地域における子どもの活動拠点の充実	妊娠・出産に対する支援	母親・子どもの健康に対する安心
全体	692	22.0	14.0	12.0	19.1	4.3	16.9
1年	106	29.2	25.5	15.1	20.8	6.6	23.6
2年	109	22.0	15.6	7.3	20.2	4.6	16.5
3年	111	23.4	13.5	10.8	18.9	6.3	14.4
4年	122	25.4	11.5	15.6	19.7	1.6	15.6
5年	120	14.2	8.3	12.5	15.0	5.0	15.8
6年	107	16.8	7.5	11.2	17.8	1.9	15.0

	子どもの教育環境	子育てしやすい住居・まちの環境面での充実	仕事と家庭生活の両立	子どもを対象にした犯罪・事故の軽減	養育支援の充実	その他	無回答
全体	36.0	23.0	39.7	17.5	18.1	11.7	6.9
1年	34.0	31.1	40.6	25.5	11.3	16.0	4.7
2年	38.5	22.0	38.5	16.5	16.5	13.8	6.4
3年	36.0	19.8	48.6	16.2	24.3	10.8	7.2
4年	34.4	20.5	36.9	18.9	13.9	6.6	5.7
5年	33.3	24.2	40.0	17.5	17.5	15.0	5.8
6年	40.2	18.7	34.6	8.4	24.3	8.4	12.1

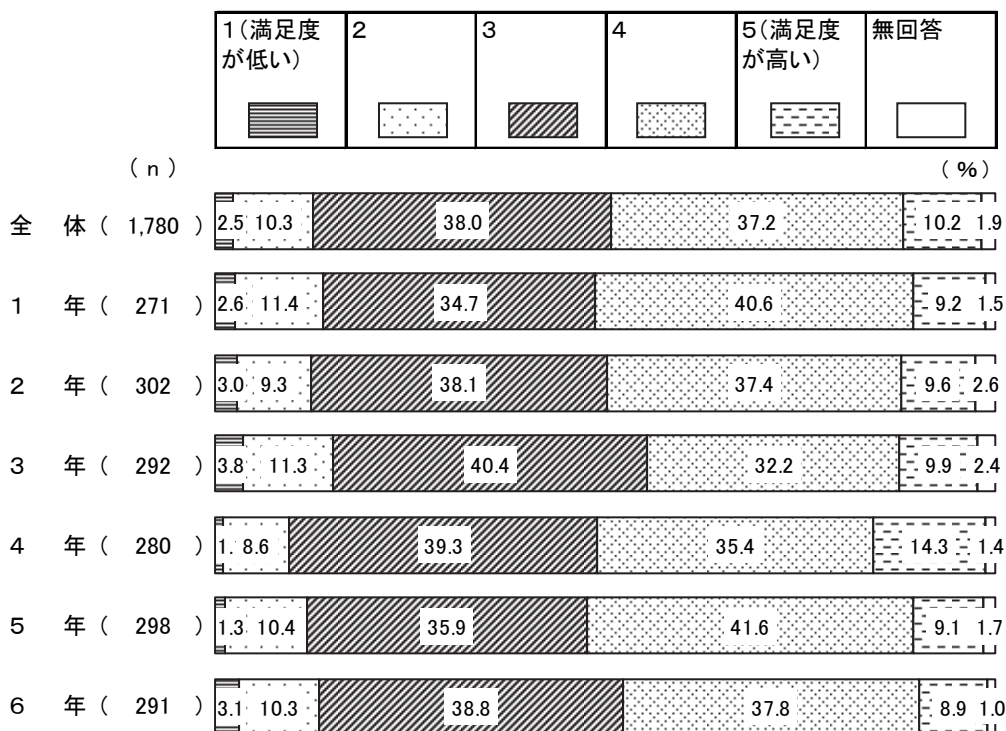
問 55 練馬区における子育ての環境や支援への満足度をお答えください。(1つに○)

「3」(38.0%)が最も多く、「4」(37.2%)、「2」(10.3%)、「5(満足度が高い)」(10.2%)、「1(満足度が低い)」(2.5%)と続く。平均は3.43となっている。



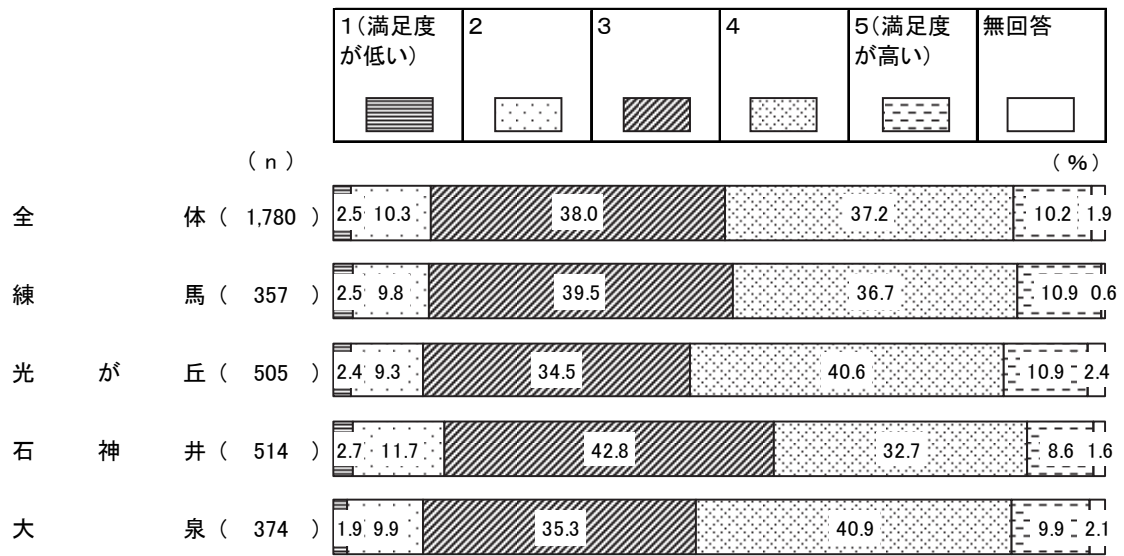
【学年別】

すべての学年で「4」と「5(満足度が高い)」を合わせた満足度の高い割合が、4割以上となっている。



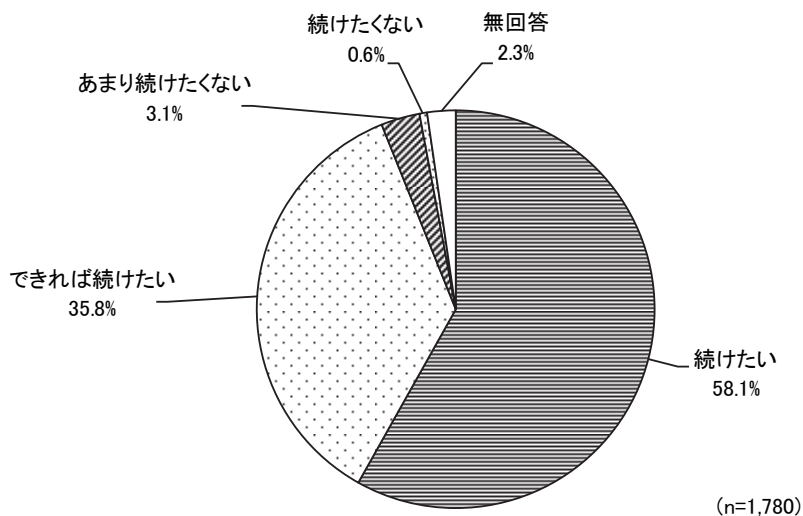
【居住地区別】

すべての居住地区で「4」と「5(満足度が高い)」を合わせた満足度の高い割合が、4割以上となっている。



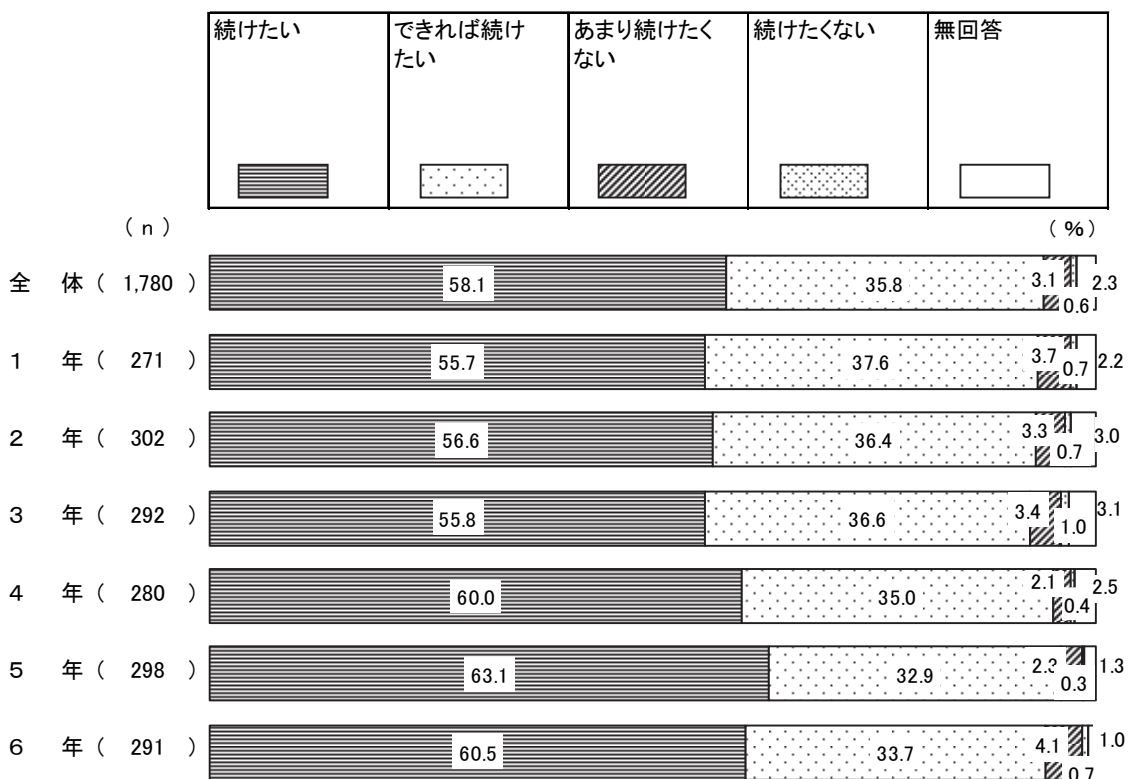
問 56 あなたは、今後も練馬区で子育てを続けたいですか。(1つに○)

「続けたい」(58.1%)が最も多く、「できれば続けたい」(35.8%)、「あまり続けたくない」(3.1%)、「続けたくない」(0.6%)と続く。



【学年別】

すべての学年で「続けたい」が最も多く、約6割となっている。



12. 自由回答

【保育所・幼稚園等】(34件)

- ・ 幼稚園によっては環境が整っているが、幼稚園に通わせても働ける環境が普通になれば、働きやすくなると思う。
- ・ 兄弟で同じ保育所に入園できる対策をしてほしい。
- ・ 保育所の民営化が進んでいるが、直営の保育所をできるだけ残してほしい。また、保育所を増やすだけでなく、保育の質を重視してほしい。

【学童クラブ、学校応援団ひろば事業】(121件)

- ・ 保育所と同等の保育時間の延長など、学童クラブの内容の充実を望む。小学校に上がった際、仕事との調整が難しい。
- ・ 学童クラブの保育時間の延長や高学年の学童クラブ受入の拡大をぜひお願いしたい。
- ・ 学校内に学童クラブが設置されておらず、校外の学童クラブは家から遠いので利用しづらい。ぜひ、学校内でねりっこクラブを実施してほしい。
- ・ 長期休業期間の時にだけ預けられる学童クラブがほしい。
- ・ 学童クラブへ入る際、親の就労が日曜を含む場合、平日休みが多く不利になってしまうので考慮してほしい。
- ・ 毎日子どもが学校に行っている時間だけ仕事をしているが、学童クラブには入れないため学校の長期休み時の預け先に困っている。学校応援団ひろば事業があると本当に助かる。

【児童館】(21件)

- ・ 児童館を学校の近くに増やし、子どもの居場所を増やしてほしい。
- ・ 私学に通う子ども向けの児童館等の利用案内がほしい。
- ・ 児童館や学校開放、図書館など、子どもだけで行っても、大人がいて安心して過ごせる場所であり、とても助かっている。子ども向けのイベントなども嬉しいため、もっと多くの場所にあると良い。
- ・ 小学校4～6年生が安心して遊べる場所が少ない。児童館や学校応援団ひろば事業なども、低学年中心でつまらないと子どもは行きたがらない。長期休業期間などは1人で留守番をしたり、友人と預けあったりするなどしてやりくりしている。どうにかならないかといつも考えている。

【小学校】(87件)

- ・ 学校の先生と子どもが、信頼関係を築けるようにする環境を整えてほしい。先生の人数を増やし、精神的にも肉体的にも余裕が持てて、心豊かに子どもと接することができる学校であってほしい。
- ・ 学校や先生は、もっと子どもに向き合ってほしい。子どもが悩んでいたら、手を差し伸べ、見て見ぬ振りをせず1人1人大切に、大事に向き合うことが一番だと思う。
- ・ 発達に関わる療育や学校での支援を、手軽に利用できるようになると助かる。
- ・ 特別支援学級を設けている学校が少ない。療育について、専門知識を持つ学校教員を増や

し、気軽に相談できる環境を整備してほしい。

- ・ 学校の校庭を地域の交流の場として活用できると良い。例えば、プレーパークとして利用できるようにするなど、様々な人が利用できるシステムになっていければ良い。

【各種保育サービス(ファミリーサポート事業、一時預かり、病児保育等)】(6件)

- ・ ファミリーサポートを定額で利用できれば利用しやすいと思う。自宅訪問でなく、施設に行く方法でも良い。大きな児童館やその中での一時預かりなどがあると良い。
- ・ 病児保育を増やしてほしい。幼児(小学生)も預かってほしい。急な時(特に朝)に対応してもらえると助かる。
- ・ 保護者が入院する際、子どもの預け先がなく困る。そういった場合のサポートがあるならば、広く周知してほしい。

【地域の子育て広場等】(6件)

- ・ 子育て中の親が会おう場の提供と利用促進が必要である。メールではなく対面で相談できたり、話せることが大切だと思う。
- ・ 子育てが分からない保護者へのサポートが必要なのではないか。産後、保健師のサポートも終わってから悩んで苦しんでいる人が多い。外に出ていくのが苦手な保護者は孤独になりやすいため、フォローが必要だと思う。

【遊び場】(53件)

- ・ ボールを使って遊べる公園や、一輪車など体を動かして遊べる安全な施設を作してほしい。学校の施設も外部の習い事で使用されており、遊ぶ所が近くに無い。
- ・ 公園でできることが年々少なくなっている。子どもたちが野球やサッカーなどの球技をできる場所や、夏の酷暑の中でも家の外で友達と遊べる場所を増やしてほしい。
- ・ 子どもが自由に遊べる場所が少なすぎる。もっと自由にのびのびと過ごさせてあげたいが、禁止事項が多く、ゲームをやるしかないのではないかと思う。

【医療体制】(12件)

- ・ 医療費助成は助かっているが、インフルエンザの予防接種も助成してほしい。会社に勤務していない親の健康診断も充実してほしい。子育てをしているとどうしても自分の事は後回しになりがちなので、行きたいと思うような細かな健診を設けてほしい。
- ・ 18歳まで医療費無償にしていただけたら、子育て世代が練馬区に増えると思う。

【ひとり親支援】(8件)

- ・ ひとり親家庭に対する支援の充実を望む。
- ・ ひとり親家庭の状況を考え、手当等を増してほしい。
- ・ ひとり親家庭で軽度の病気を発症しているため、子育てスタート応援券のようなものがあると嬉しい。

【障害児支援】(26件)

- ・ 発達障害への世の中での理解が低すぎる。特別支援学級や通級等の施設支援は広がっているが、周囲の知識がないため、差別に繋がっている面もある。学校の先生の知識や技量も低く、国として考え直してほしい。「発達障害」という名前だけ広まっているが、学校の道徳の時間等にきちんとした知識を子どもにも教え、差別のないようにしてほしい。普通学級にもグレーゾーンや親や先生の理解が得られず苦しんでいる子どもがいるが、そのような子どもも救ってほしい。
- ・ 子どもが特別支援学級に通っており、支援が必要である。特別支援学級がある小学校では、図工や音楽の講師の時間数が減っている。障害がある子どもにも専門的な指導は必要のため、未来のある子どものためにも特別支援教育を見直していただきたい。
- ・ 放課後デイサービスの数が十分でなく待機児童がたくさんいる。良い療育機関やデイサービスは数年待ちの現状なのでどうかしてほしい。必要な時にきちんとした療育や教育が受けられないのは子どもの将来のためにも困る。障害児教育にもっと力を入れてほしい。

【地域における子育て支援】(222件)

- ・ 子どもが幼稚園に入るまでの時期は、身内が遠方のため一人で育児に追われて孤独に感じるが多かった。出産後から幼稚園に入るまでの母親交流の場があると良い。
- ・ こんにちは赤ちゃん訪問の時のことをよく覚えている。近くに親族がいない家庭は、子どもの悩みを相談できる機会が増えると助かると思う。
- ・ 子育てに息詰まったり、困っている方の手助けになれる地域になることを願う。地域で子育てできる環境になると良いと思う。
- ・ 地域の中で子どもが育つ環境になれば良いと思う。人と人が繋がることの大切さや良さが子どもに伝わり、ここにいて心地良いと思える地域であってほしい。
- ・ 小学校入学前は、子どもの発達や健康、育児について地区担当の保健師に相談していたが、入学後はどこに相談すれば良いかわからず、とても悩んでいる。学校のカウンセラーに相談できるのかもしれないが、学校に知られたくないこともあるので、できれば学校とは違うところに相談したい。

【子育てしやすい職場環境づくり】(6件)

- ・ 職場の理解がなく、子どもが病気の時ですら休みづらい。母親が働きやすい環境にはなっていない。
- ・ 子どもの具合が悪い時に休める職場環境が社会の共通認識になってほしい。仕事の都合で子どもを1人または2人で夜間に留守番させざるを得ないことが多く、気が気ではない。

【経済的支援】(36件)

- ・ 幼児教育への補助金よりも、お金がかかるような中学・高校・大学への補助金を出してほしい。
- ・ 育児手当が支給されるようになって本当に助かっている。子ども医療費助成もとてもありがたい。安心して子どもを医療機関に連れていくことができる。引き続き、子育てをする保護者への手厚い支援をお願いしたい。
- ・ 子どもにはたくさんの才能や学業の可能性がある。親の経済力によって私立に通えないなど

の選択肢が狭くならないように、私立小学校・中学校・高校の無償化も必要だと思う。

【情報提供】(19件)

- ・ いろいろな相談窓口・機関があると思うが、日々の子育てで感じるちょっとした悩みや迷い、不安のようなものをもっと気軽に相談できる場があると良い。子どもが小さい時は子育てのひろばがあったが、子どもが大きくなるとあまり無いように感じる。子どもが成長すると親には違った悩みや不安が出てくる。
- ・ 欲しい情報を簡単に入手できるように、区のホームページの充実を望む。見やすく、わかりやすくしてほしい。

【その他】(47件)

- ・ このようなアンケートは評価するが、保育所や幼稚園や小学校で配布、回収して、もっと保護者の意見を聞いて支援に力を注いでほしい。
- ・ 子どもが9月から不登校で毎日家にいるため、在宅ワークをしながら母親と一緒に過ごしている。学校が合わない子どもが安心でき、楽しく自分に合った学び方で学べる場がもっとあれば良いと思う。